



H.264 / H.265 Video Compression

AHD・TVI 4.0/3.0/2.0/1.0/アナログ対応ハイブリッドデジタルレコーダー

VAP-0415R / VAP-0815R / VAP-1615L

取扱説明書

✓ PLUS.CO.LI

ご使用いただく前に

デジタルビデオレコーダー(以下DVR)をご購入頂きましてありがとうございます。
正しくDVRをお取り扱いするためこの取扱説明書をよくお読みの上、安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

本書で説明しているソフトウェア、ハードウェアは、著作権法により保護されています。
著作権法の中で一般的な使用のためにコピーする行為のほか、販売者の許可を受けずに、
取扱説明書の内容の一部または全部をコピー、編集、再印刷や他の言語に翻訳することはできません。
本仕様は、製品の性能向上のため予告なく変更されることがあります。

製品の保証および責任の制限

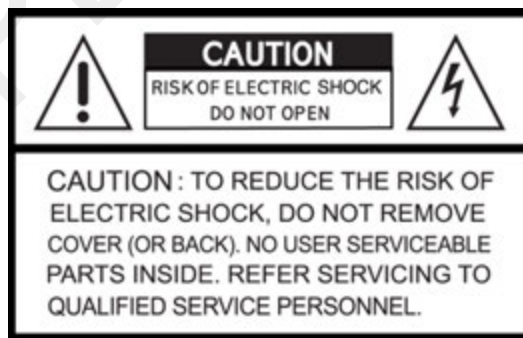
本製品の使用または本製品の不具合から生じるいかなる損害(データの損失、金銭等の損失、賠償等)
について製造メーカー及び、販売店は免責されるものといたします。
製品保証は、下記に起因する不具合、故障については保証期間中である場合でも
保証対象外とさせていただきます。

- ・ユーザーの取り扱い不注意による故障の場合
- ・ユーザーが故意に分解、部品等を交換した場合
- ・定格電源以外の電源を接続した場合
- ・自然災害による故障の場合(火災、洪水、津波など)

ここでの保証は、本製品の保証のみを意味します。
保証期間(1年)後の検証および修理はすべて有償となります。
また、保証期間中にも、上述した保証の範囲外の事項についての修理や調査は有償となります。
有償修理を希望する場合は、販売店にお問い合わせください。

注意事項

本書で表現されている記号は、危険レベルの意味を付与する記号です。
この記号は、危険の程度とリスクの可能性に基づいて区別されます。
製品を使用する前に、この警告記号を熟読、次の製品を使用してください。



記号の説明



この記号は、重要な操作および保守の案内文があることを意味します。



この記号は、本製品のケース内で発生する「危険な電圧」により感電、
特性および人命被害または死亡の危険性があることを意味します。



危険

メーカーの許可を受けていない変更または改造を行う事は大変危険です。製品の保証外となるほか、本製品火災や爆発の恐れがあります。

互換性がない電池を使用した場合、火災や爆発の恐れがございます。メーカーが推奨する電池、またはこれに相当する種類の電池と交換してください。使用した電池は、電池メーカーの指示に従って廃棄してください。

安全のために、以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

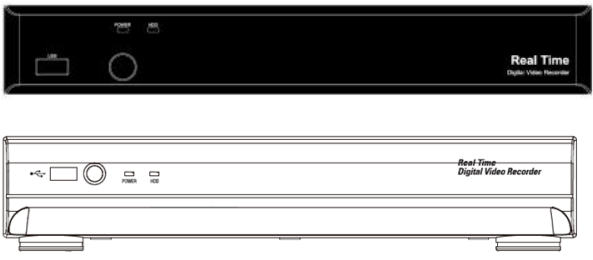





警告

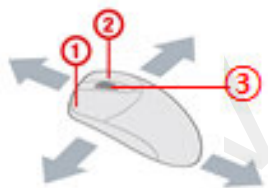
- 本製品が雨や湿気にさらされないようにしてください。感電する恐れがあります。
- 本製品から煙が出る場合は、本製品の使用を直ちに中止してください。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災や爆発の恐れがあります。
- 本製品の上に重いものや鋭利なものを置かないでください。故障の原因となります。
- 本製品をご使用する際には、平らな場所に設置してください。
- 本製品に衝撃や振動を与えないようにご使用ください。
- 本製品を設置する際には換気口を塞がないように壁などから離して設置してください。また、換気口に埃が溜まらないようにしてください。
- 本体内の空気の流れを妨げるような設置は避けてください。機器が破損する場合があります。
- 本製品の修理等については販売店やメーカーへご連絡ください。
- カメラや外部機器を接続する際には本製品の電源を切った状態で接続を行って下さい。
- 本製品を不適切に使用などにより発生した損害等についてはメーカー及び、販売店は免責されるものとします。
- ユーザーが故意に修理や改造を起因とする問題についてはいかなる場合でもメーカー及び販売店は免責されるものとします。

梱包品一覧

本製品をご使用いただく前に、付属品に不足がないか予めご確認ください。

DVR本体	
取扱説明書、ソフトウェアCD	
赤外線リモコン・USBマウス リモコンテスト用単三電池2本	
ACアダプタ・ACケーブル	 DC12V 5A

マウス使用時の操作方法



- ① 左ボタン：選択する際に使用します。
- ② 右ボタン：ポップアップメニュー表示の際に使用します。
- ③ ホイール：ドロップダウンメニューの変更に使用します

製品仕様

製品名		VAP-0415R	VAP-0815R	VAP-1615L	
製品概要		AHD・TVI 4.0/3.0/2.0/1.0・アナログ 960H 対応 DVR			
映像端子	入	映像入力端子数 (BNC)	4	8	16
	力	対応フォーマット	AHD・TVI・アナログ	AHD・TVI・アナログ・ネットワーク	
	出	メインモニタ側	HDMI×1 (映像のみ、最大解像度 1920×1080) VGA×1 (解像度最大 1920×1080)		HDMI×1 (映像のみ、最大解像度 3840×2160) VGA×1 (解像度最大 1920×1080)
		サブモニタ	CVBS (サブモニタ出力 or スポット出力選択式)		
音声端子	オーディオコーデック / 入力 / 出力		G. 711 / 4 / 1		
アラーム端子	センサー入力 / アラーム出力		4 / 1		
信号線端子	RS-485		1		
録画	映像圧縮方式		H. 264 / H. 265		
	AHD・TVI	4MP カメラ	1CH あたり最大 10fps	1CH あたり最大 12fps	
		2MP カメラ	1CH あたり最大 15fps		
		1MP カメラ	1CH あたり最大 30fps		
	アナログカメラ映	960H / D1 / CIF	1CH あたり最大 30fps		
	ネットワーク		非対応	1CH あたり最大 4MP 15fps	
	画質設定		5 段階		
	録画モード		常時録画 / モーション / モーション&常時 / センサー / センサー&常時 / スケジュール		
イベント前録画 / イベント後録画		最大 20 分 / 最大 60 秒			
再生	検索		日時指定 / イベント / カレンダー / クイックサーチ / モーションサーチ / ログ		
	同時再生数		1 / 4	1 / 4 / 8	1 / 4 / 9 / 16
	再生速度		x0.25, x0.5, x2, x4, x8, x16, x32, x64		
バックアップ	対応媒体		USB メモリ (FAT32・32GB まで)・USB ハードディスク (FAT32・2TB まで)		
	バックアップフォーマット		BMP・AVI・専用フォーマット (NSF)・EXE		
	大容量バックアップ対応		対応 (1 時間単位 最大 24 時間分、USB HDD は FAT32 形式 HDD 2TB まで)		
ストレージ	HDD	搭載可能 HDD	1 台 (1 台あたり最大 8TB まで)	2 台 (1 台あたり最大 8TB まで)	
	USB 端子	前面 / 背面	1 / 1		
入力機器	入力方式		リモコン・マウス・キーボードコントローラー (オプション)		
ネットワーク	ネットワーク対応方式		10/100 Base-T	10/100/1000 Base-TX	
	DDNS 機能 / サブストリーム		対応		
その他機能	サマータイム / NTP (Network Time)		対応		
	デジタルズーム / S.M.A.R.T / ビープ音 / 多国語表		対応		
ネットワーク接続	モバイルフォン対応 OS		iPad・iPhone・Android		
	インターネットブラウザ用 Web Viewer		Internet Explorer		
	パソコン用クライアントソフト		UMS Client / USM Multi Client (64 channels)		
	リモートセットアップ / アップグレード		対応		
電源	電圧・電流		DC 12V 2A	DC 12V 3A	DC 12V 5A
設置環境	動作時周辺温度 / 保管時周辺温度		5° C ~ 40° C / -10° C ~ 50° C		
湿度	動作時湿度		20% ~ 80% (結露状態ではないこと)		
寸法	外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行) mm		300 (W) x 53 (H) x 207 (D)	300 (W) x 53 (H) x 252 (D)	340 (W) x 63 (H) x 262 (D)
重量	本体重量 (HDD 未搭載時)		約 1Kg	約 1.5Kg	約 1.7Kg

注・本製品の形状や仕様は製品改善の為、予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

目次

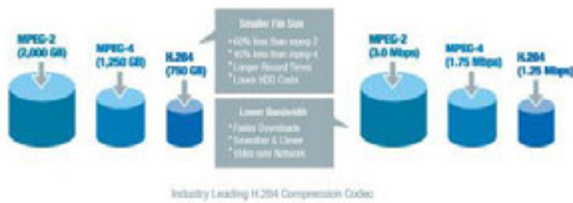
1. 製品概要	10
2. 機能説明	11
2-1. 本体正面	11
2-2. 本体背面	12
2-3. 赤外線リモコン	13
3. メニュー構造	14
4. ライブ画面	16
4-1. ログイン	18
4-2. デジタルズーム	18
4-3. ポップアップメニュー	19
4-4. 簡単設定	20
4-5. PTZカメラ操作	21
5. 検索・再生	22
5-1. 検索画面	22
5-2. クイックサーチ	23
5-3. モーションサーチ	24
5-4. タイムライン検索	26
5-5. イベント検索	27
5-6. 先頭映像検索	27
5-7. 最終映像検索	27
5-8. 日時指定検索	27
5-9. キャプチャーリスト	28
5-10. ログ	28
5-11. 再生	29
6. バックアップ	30
6-1. 静止画バックアップ	30
6-2. 動画バックアップ	30
6-3. キャプチャーリストを使用するバックアップ	32
6-4. バックアップ動画再生	33
7. 各種設定	34
7-1. 画面表示設定	34
7-2. 録画設定	36
7-2-1. スケジュール録画設定	38
7-3. デバイス設定	39
7-3-1. モーション検知領域設定	40
7-4. 録画装置設定	41
7-5. システム設定	42
7-6. セキュリティー設定	45
7-7. ネットワーク設定	47

7-8. 設定管理	49
7-9. IPカメラ	50
7-10. 簡単設定 IPカメラ	51
8. ネットワーククライアント概要	52
8-1. WEB Cliewntの特徴	53
8-2. WEB Clientへの接続	53
8-3. インストールと起動	54
8-4. WEB Clientの基本操作	55
8-4-1. ログイン	55
8-4-2. 操作ボタン	56
8-4-3. ポップアップメニュー	58
8-4-4. デジタルPTZ	58
8-5. 録画検索モード操作方法	59
8-5-1. 操作ボタン	59
8-6. 録画データ検索・再生・バックアップ	61
8-6-1. 録画データの検索と再生方法	61
8-6-2. ポップアップメニュー	62
8-6-3. デジタルPTZ	62
8-7. 録画データのバックアップ	63
8-8. Remote Log	64
9. WEB SETUP(遠隔設定)	65
9-1. DISPLAY	66
9-2. RECORD	66
9-3. DEVICE	66
9-4. STORAGE	67
9-5. SYSTEM	67
9-6. SECURITY	67
9-7. NETWORK	68
9-8. UPGRADE	68
9-9. INFORMATION	68
10. UMS Clientの特徴	69
10-1. UMS Clientのインストールと起動	69
10-1-1. UMS Clientのインストール	69
10-1-2. UMS Clientの起動	70
10-2. UMS Clientの設定	70
10-3. UMS Clientの基本操作	75
10-3-1. 操作ボタン	75
10-3-2. ポップアップメニュー	77
10-3-3. デジタルPTZ	77
10-4. 録画検索モード操作方法	78
10-4-1. 操作ボタン	78
10-5. 録画データ検索・再生・バックアップ	80

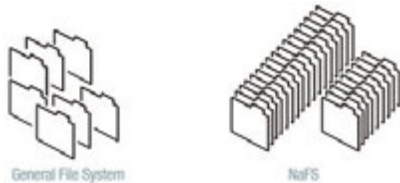
10-5-1. 録画データの検索と再生方法.....	80
10-5-2. ポップアップメニュー	81
10-5-3. デジタルPTZ.....	81
10-6. 録画データのバックアップ	82
10-7. Remote Log.....	83
11. UMS Multi Clientの特徴	84
11-1. UMS Multi Clientのインストールと起動.....	84
11-1-1. UMS Multi Client のインストール.....	84
11-1-2. UMS Multi Clientの起動.....	85
11-2. UMS Multi Clientの設定.....	85
11-3. UMS Multi Client の基本操作.....	89
11-3-1. 操作ボタン	89
11-3-2. DVR情報の登録方法	91
11-3-3. DVR情報の削除方法	91
11-3-4. DVR情報の修正とローカル検索.....	91
11-3-5. ポップアップメニュー	92
11-3-6. デジタルPTZ.....	92
11-4. 録画検索モード操作方法.....	93
11-4-1. 操作ボタン	93
11-4-2. 録画データ検索・再生・バックアップ.....	95
11-4-3. 録画データの検索と再生方法.....	96
11-4-4. ポップアップメニュー	97
11-4-5. デジタルPTZ.....	97
11-5. Remote Log	98
12. Android端末からの接続	99
12-1. iUMSへの登録、ライブ接続方法	99
12-2. 録画検索及び再生方法	101
13. iOS端末からの接続	102
13-1. iUMSへの登録、ライブ接続方法	102
13-2. 録画検索及び再生方法	103
付録. 保証書.....	106

1. 製品概要

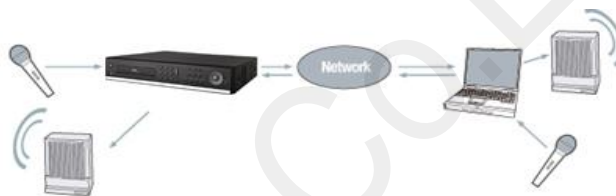
- AHD・TVI 4.0/3.0/2.0/1.0 映像・アナログ映像入力自動識別機能対応
- 高画質ながら高圧縮が可能な H.264 / H.265 映像圧縮方式対応(選択式)



- 信頼性の高いファイルシステム



- PENTA PLEX 機能 (録画、再生、ネットワーク、バックアップ、ライブ同時実装)
- VGA と HDMI、CVBS の同時利用が可能(CVBS 出力は SPOT 出力切換え対応)
- HDMI、VGA による高画質、高解像度表示 (最大解像度 1920×1080 対応、VAP-1615L は HDMI 4K 出力対応)
- AHD・TVI 4MP/3MP/2MP/1MP アナログ・ネットワーク(VAP-0815R・VAP-1615L)録画に対応
- 音声双方向に対応



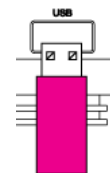
- 音声 4 系統入力及び、録音に対応(1~4ch)



- チャンネル毎に個別録画設定が可能

チャンネル	映像規格	映像サイズ	映像圧縮	音声規格	音声チャンネル	録画形式	録画時間
1	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
2	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
3	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
4	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
5	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
6	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
7	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
8	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
9	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
10	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
11	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
12	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
13	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
14	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
15	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分
16	H.265	1920 x 1080 30	LEVEL 5	MP3	2CH	MP4	200 分

- モーション検知機能
- 映像入力信号識別・映像ロス検知機能
- カメラ映像のカバー機能
- PTZ カメラ制御機能
- 簡単かつシンプルな操作性
- USB メモリ及び、ネットワークからのファームウェアアップグレード機能



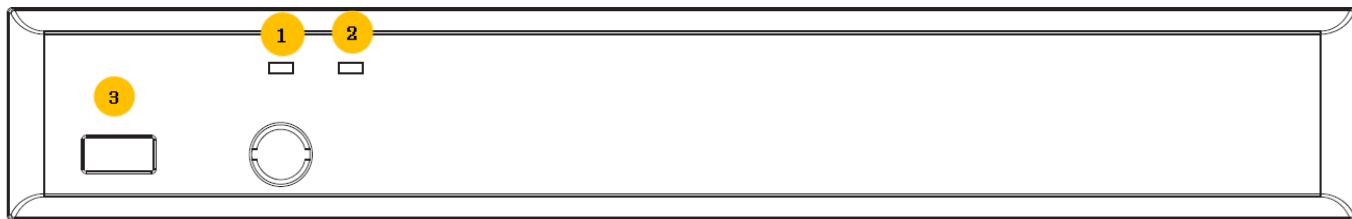
USB Flash Drive

- 簡単便利な USB メモリを利用したバックアップ機能
- 自動実行形式の EXE 方式や専用 NSF ファイル方式、AVI ファイル方式によるバックアップ
- インターネットブラウザ経由での Web Viewer・専用ソフトウェア UMS Client
複数拠点接続確認用の UMS Multi Client・スマートフォン向け Mobile Viewer(iUMS)
ネットワーククライアントソフトウェアによる多種多様なネットワーク接続方法
- ※ 最大同時接続数 4 クライアント(メインストリーム(録画データの再生含む)1、サブストリーム 3)
- ※ iOS、android 向けアプリ「iUMS」については有限のサービスとなります。
- 1 台あたり 8TB SATA ハードディスクに対応し、VAP-1615L は最大 16TB まで搭載可能
- メーカー提供による無償 DDNS(無償 DDNS は有限のサービスとなります。)

2. 機能説明

2-1. 本体正面

・ VAP-0415R / VAP-0815R



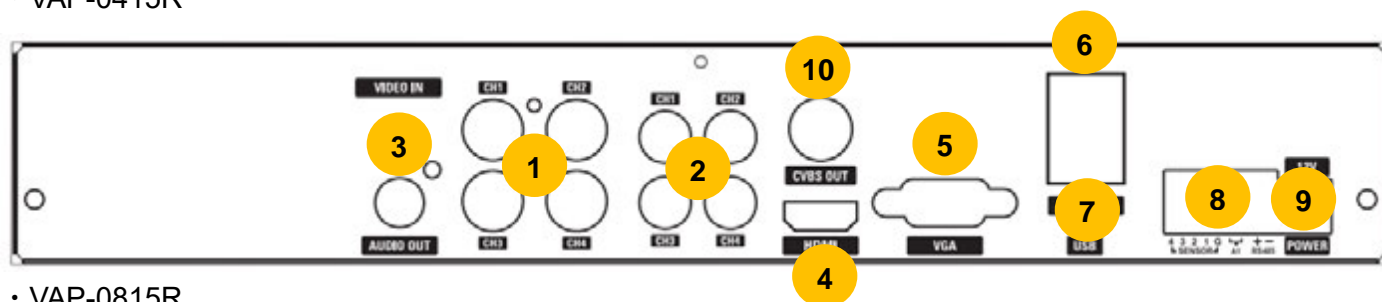
・ VAP-1615L



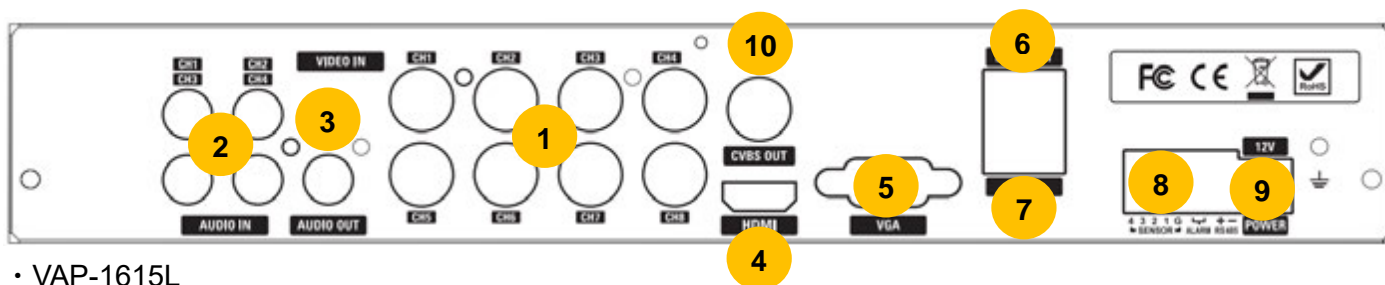
- ① **POWER LED:** レコーダー動作時に点灯します。
- ② **HDD LED:** レコーダーシステムがHDDアクセス時に点滅します。
- ③ **USB:** USBメモリやUSBハードディスクを使用する際のバックアップ及び、USBメモリを使用する際のファームウェアアップグレードの際に使用します。

2-2. 本体背面

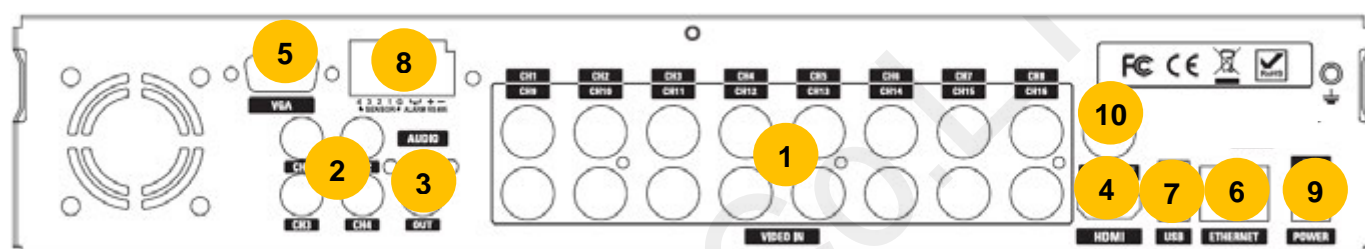
・ VAP-0415R



・ VAP-0815R

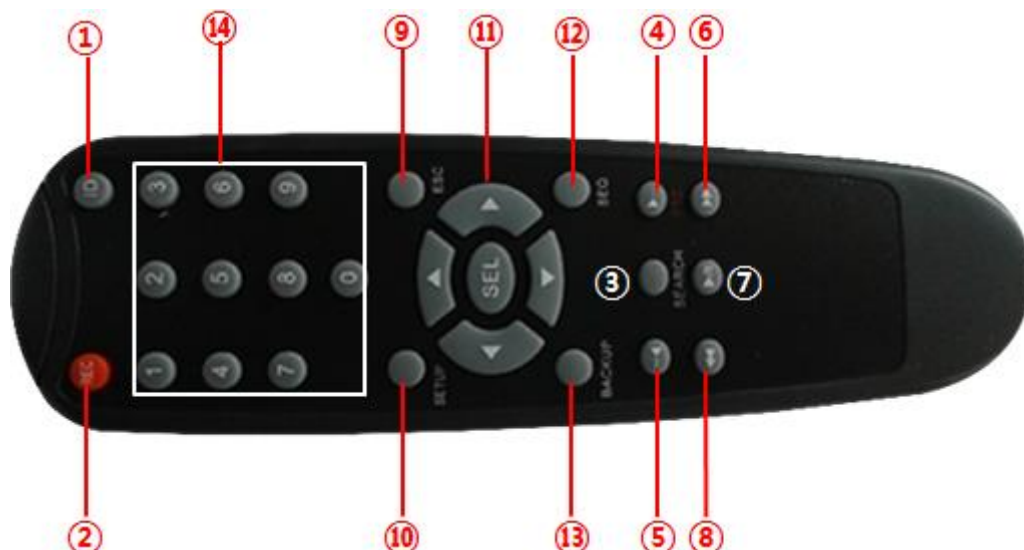


・ VAP-1615L



NO	名称	機能
1	映像入力端子	カメラからの映像信号入力端子です。
2	音声入力端子	音声入力用端子です。
3	音声出力端子	音声出力用端子です。
4	HDMI OUT	HDMI対応モニタとの接続に使用します。
5	VGA OUT	VGA対応モニタとの接続に使用します。
6	ネットワーク端子	LAN接続用のRJ-45コネクタ。遠隔監視等で使用します。
7	USBポート	USBメモリ、USBマウスなどで使用します。
8	センサー入力端子	センサーからの入力信号を受ける場合に使用します。
	アラーム出力端子	本機からアラーム信号を発する場合に使用します。 (0.5A/125V, 1A/30V)
	RS-485	RS-485 PTZカメラ制御用端子です。(+, -)
9	電源コネクタ	本製品添付のAVアダプター(DC12V 5A)をご使用ください。
10	CVBS	サブモニタとの接続に使用します。

2-3. 赤外線リモコン



- ① IDボタン: リモコンIDを変更する場合に使用します。
- ② RECボタン: 手動録画を開始/終了する場合に使用します。
- ③ SEARCHボタン: 録画データを検索する場合に使用します。
- ④ PTZボタン・F/ADV(先送り)ボタン:
 - ライブ時- PTZメニューを開きます。
 - 再生時 - 60秒先の地点に移動します。
 - 一時停止時 - 1フレーム次の映像を呼び出します。
- ⑤ F/REW(巻戻し):ボタン
 - 再生時 - 60秒前の地点に移動します。
 - 一時停止時 - 1フレーム前の映像を呼び出します。
- ⑥ FF(早送り): 再生時の映像を早送りにします。(早送り中に押すと倍率が変わります。)
- ⑦ PLAY/PAUSE: 再生または一時停止します。
- ⑧ REW(巻戻し): 再生時の映像を巻戻します。(巻き戻し中に押すと倍率が変わります。)
- ⑨ ESCボタン:
 - セットアップ時 - 現在の設定項目から戻る機能になります。
 - 再生時 - 再生モードを中止しライブ画面に戻ります
 - システムロック機能 -5秒間長押しするとシステムロックが有効になります。
 - システムロック解除 - システムロック時、5秒間長押しすると解除画面に移行します。
- ⑩ SETUPボタン: SETUP メニューを開きます。
- ⑪ 方向キー: 各メニュー内で項目を選択する際にカーソルを動かすために使用します。
- ⑫ SEQボタン: シーケンシャル(自動カメラCH切替え)機能を実行します。
- ⑬ BACKUPボタン: ライブ画面・再生時にバックアップメニューを表示する時に使用します。
- ⑭ 数字キー: カメラCHの選択や録画機の ID設定等で使用します。

※リモコンIDの変更方法

変更するリモコンID番号と同じ数字ボタン(一桁の場合は頭に0を付けます)を使用して押した後、IDボタンを押すことでリモコンIDが 変更されます。

例: リモコンIDをID2へ変更する場合、数字ボタンの0→2の順に押し最後にIDボタンを押します。

3. メニュー構造

- IPカメラ(HYBRID SETUP設定時のみ表示、VAP-0815R、VAP-1615Lのみ)
 - チャンネル
 - 製造元
 - スキャン
 - IPアドレス
 - WEBポート
 - プロトコル
 - IPアドレス
 - ID
 - パスワード
 - PROFILE
- 画面表示
 - OSD表示
 - OSD表示コントラスト
 - 画面自動切換え
 - 画面自動切換え周期
 - チャンネル
 - ネーム
 - 映像非表示
 - 映像調整
 - 映像出力
 - サブモニター出力
 - サブモニタータイプ
- 録画
 - チャンネル
 - 録画解像度
 - 録画フレーム
 - 画質
 - 録画モード
 - センサー録画
 - イベント前記録
 - イベント後記録
 - 音声
 - スケジュール
 - コーデックのタイプ
 - 日付/時刻
- デバイス
 - アラーム出力
 - コントローラー&PTZ
 - スポットモニター設定
 - チャンネル
 - モーション領域
 - モーション感度
 - マスキング
 - ボタン音
 - リモコン ID
 - センサー
 - タイプ
- 録画装置
 - 上書き
 - HDDフォーマット

- HDD情報
- 記録保存日数制限
 - 記録保存日数
- システム
 - DVR ID
 - システム情報
 - 言語
 - 日付の形式
 - 日時設定
 - クライアントアクセス
 - NTP
 - メール送信
 - システム再起動
 - システムイベント通知
 - HYBRIT SETUP(VAP-0815R、VAP-1615Lのみ)
- セキュリティー
 - 使用者権限
 - 使用者名変更
 - 使用者パスワード
 - データ検索権限
 - 遠隔監視権限
 - 遠隔再生時間制限
 - USB認証読込
 - DEBUG PORT
 - HTTPS使用
- ネットワーク
 - ポート番号
 - ネットワークオーディオポート
 - WEBポート
 - ネットワークタイプ
 - IPアドレス
 - サブネットマスク
 - ゲートウェイ
 - DNS (第1)
 - DNS (第2)
 - DDNS
 - ネットワークストリーム
 - プッシュイベント
 - P2P サービス
- 設定管理
 - USBへ設定保存
 - USBから設定読込
 - 使用者設定を戻す
 - 工場出荷初時に戻す
 - ファームウェアアップグレード

4. ライブ画面

録画機に電源が入ると、製品が起動し、下図のような画面が表示されます。

各チャンネルにカメラが接続されている場合は、画面には各カメラの映像が表示されます。

画面には、現在の製品の時間、各チャンネルの録画オプション、ネットワーク接続状態などに対するアイコンが表示されます。マウスやリモコンを使用して操作及び、メニュー設定をすることができます。

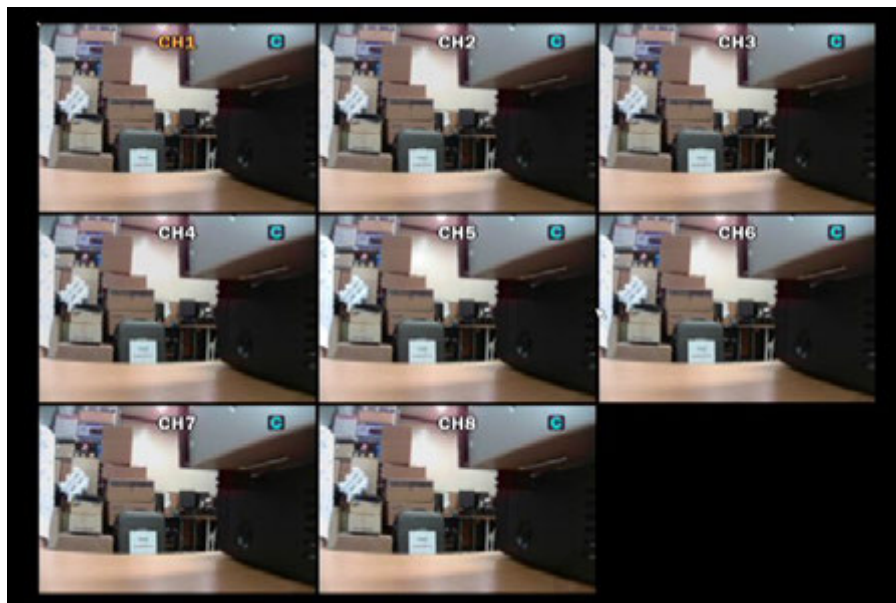













図 ライブ画面

表 メニュー及びアイコン説明


アイコン	説明
	電源ボタン: 電源ボタンを押して“はい”を選択した後、設定したパスワードを入力するとシステムが終了します。その後、ACアダプタを抜くことができます。
	ロックボタン: 管理者モードでパスワードを入力し録画機をロック状態に設定します。(システムロック後、管理者以外はアクセスできません)
	メニューボタン: 設定メニューが表示されます。(要ログイン)
	音声ボタン: 音声 OFF/ON切り替えボタン。
	検索ボタン: 録画データの検索メニューが表示されます。(要ログイン)
	バックアップボタン: ライブ画面をバックアップします。
	カメラPTZボタン: PTZ操作パネルを表示します。(要ログイン)

	シーケンシャルボタン: 各カメラのライブ画面を指定時間で自動的に切り替えます。アイコンを押すごとに右側のシーケンシャルアイコンが付いたり消えたりします。
	手動録画選択ボタン: 手動録画を選択するとメニューで設定された録画モードに関係なく常時録画に変更されます。解除には、手動録画をもう一度押し、IDとパスワードを入力すると解除されます。
	選択チャンネルを1画面表示にします。選択するごとに表示チャンネルが切替わりま す。 表示されているチャンネルを選択後、マウスでは左ボタンのダブルクリック、リモコンではSELボタンを押すと1画面表示に切替わります。
	アラーム出力ボタン: 選択するとアラーム出力を行います。停止する場合には再度選択します。
	分割画面で表示します。同じアイコンを選択するごとに選択した分割表示のまま表示チャンネルが切替わります。
	現在の年/月/日/時/分/秒が表示されます。
	現在のリモコンのID設定値が表示されます。 (デフォルトは“ALL”で IDを設定した場合は設定したIDが表示されます。)
	搭載されたハードディスクの使用容量をパーセント表示します。(0-99%) 上書き録画時は99%表示となります。
	セキュリティロック設定/解除の状態を表示します。 解除するにはログインが必要です。
	アラームボタンを選択した際に点灯表示されます。
	イベント発生（センサー、動作検知、入力信号の損失など）に応じたアラーム出力状態のときにライブ画面上にアイコンが点灯します。
	現在の音声出力の状態を表示します。 ※音声は音声が入力されているチャンネルを選択すると出力されます。  ライブ音声消音時に表示されます。  表示されているチャンネルの音声が出力されます。
	イベント発生（動作、センサーなど）に応じたアラーム出力時に点灯します。
	ネットワークアクセス時に接続表示が点灯します。
	シーケンシャルの実行時に点灯します。
	常時録画中表示されます。

	手動録画中に表示されます。
	モーション検知によるイベント録画中に表示されます。
	センサー検知によるイベント録画中に表示されます。
	アラーム設定に伴うイベント発生時にイベント録画表示とともに表示されます。

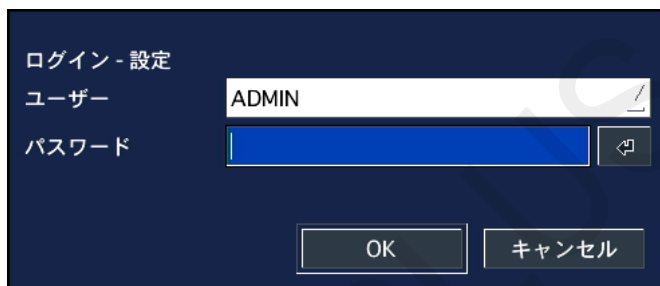
4-1. ログイン

本機種では設定や特定の操作については、第三者からの不正な操作を防ぐため ID、パスワードで保護されています。設定やカメラ PTZ などの操作を選択すると画面上にログイン画面が表示されます。

使用する権限者 ID を選択後、パスワードを入力する事で操作を行う事が出来ます。パスワードを入力するにはパスワード欄右側の  ボタンを選択または、リモコンカーソルをパスワードに合わせ、「SEL ボタン」を押すと画面上に仮想キーボードが表示されます。

表示されたキーボードを使用しパスワードを入力する事が出来ます。

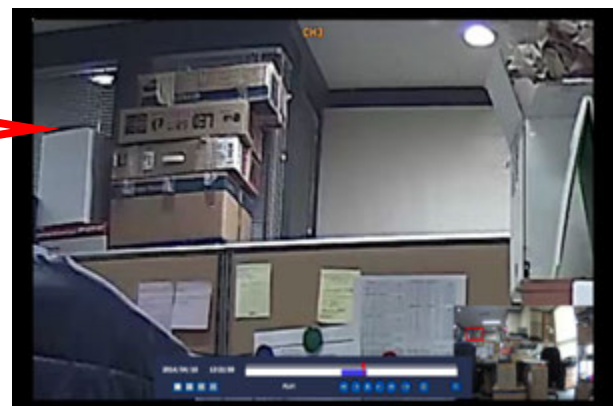
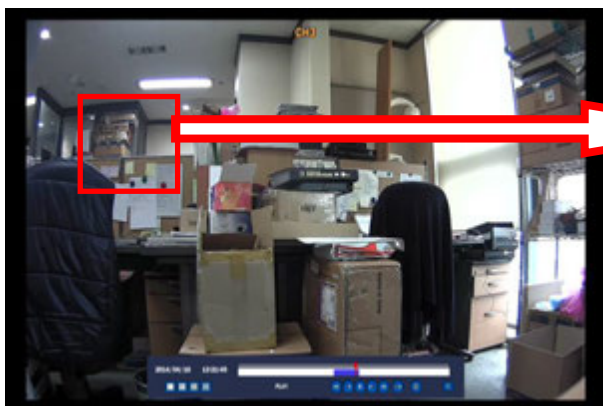
※全ての操作が行える管理者 ID 及び、パスワードの初期値は「ID : ADMIN、パスワード : 1111」です。



4-2. デジタルズーム

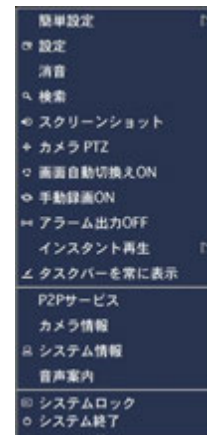
ライブ中や録画再生中に1画面表示へ変更後、マウスの左ボタンをクリックしながらマウスを動かす事で画面上に赤枠が表示されます。範囲の大きさを選択後、左ボタンを離すことで選択した範囲をデジタルズームします。

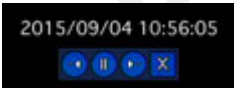

デジタルズームを終了するには再度、マウスの左ボタンをクリックします。

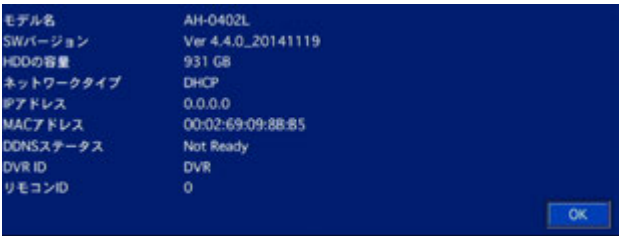


4-3. ポップアップメニュー

本機に USB マウスが接続されている場合、ライブ画面中にマウスの右ボタンを押すことでポップアップメニューを表示させることができます。



簡単設定	ネットワークやIPカメラ設定メニューが表示されます。(VAP-0815R、VAP-1615Lのみ)
設定	設定メニューが表示されます。(要ログイン)
消音	選択すると音声出力を停止します。消音中は右側に V が表示されます。 音声出力を行うには消音ボタンを再度選択し、音声入力のあるチャンネルを選択します。
検索	録画データの検索メニューが表示されます。(要ログイン)
スクリーンショット	ライブ画面のバックアップ(静止画保存)を行います。
カメラPTZ	PTZカメラ接続時PTZ操作を行う操作パネルを表示します。(要ログイン)
画面自動切り替えON	各カメラのライブ画面を指定時間で自動的に切り替えます。
手動録画ON	手動録画を選択すると設定された録画モードに関係なく常時録画に変更されます。解除には、手動録画をもう一度押し、IDとパスワードを入力すると解除されます。
アラーム出力OFF	選択することでアラーム出力のON/OFFが選択できます。
インスタント再生	選択したチャンネルの録画データを選択したチャンネル画面上で再生します。再生は10秒前/20秒前/30秒前/60秒前から選択できます。 インスタント再生中は画面上に時刻と操作ボタンが表示されます。  再生中は一時停止と一時停止中の1秒戻し/1フレーム進み、終了のみ操作が可能です。 注意：インスタント再生では音声出力はされません。
タスクバーを常に表示	選択するとタスクバーを常に表示します。 タスクバーを自動的に隠す場合は「タスクバーを自動隠し」を選択します。
P2P サービス	QRコードでの遠隔設定の際のQRコードを表示します。(要ネットワーク設定・ログイン)
カメラ情報	選択したチャンネルの情報を表示します。 

<p>システム情報</p>	<p>現在のシステム情報を表示します。</p> 
<p>システムロック</p>	<p>管理者モードでパスワードを入力し録画機をロック状態に設定します。 (システムロック後、管理者以外はアクセスできません)</p>
<p>システム終了</p>	<p>システム終了を押して“はい”を選択した後、設定したパスワードを入力するとシステムが終了します。その後、ACアダプタを抜くことができます。</p>

4-4.簡単設定

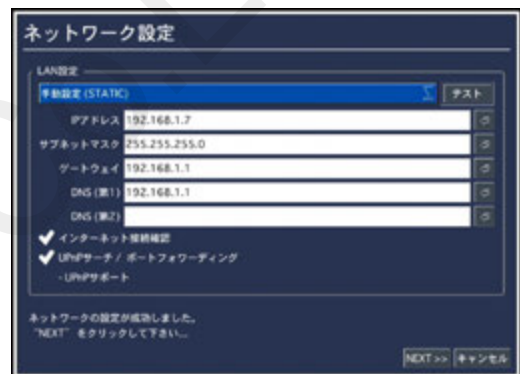
簡単設定を選択すると下図のネットワーク設定画面が表示されます。

項目から使用するネットワークタイプ「自動設定(DHCP)」

または「手動設定(STATIC)」を選択します。

※「手動設定(STATIC)」では「IP アドレス」

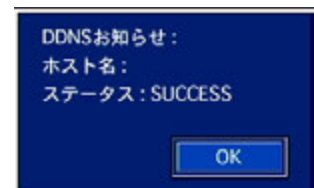
「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「DNS(第1)」「DNS(第2)」を入力します。




選択後、「テスト」ボタンを選択します。

ボタン選択後、現在のネットワーク接続状態を機器が自動的に確認し、

確認終了後、「NEXT」ボタンが選択可能になります。「NEXT」ボタンを選択後、DDNS 設定画面が表示されます。



DDNS を登録するには「DDNS TYPE」を「サーバー-3」に変更し、「オート」ボタンまたは  ボタンを押し、表示されるキーボードを使用し、使用されるドメイン名(A~Z、0~9)を入力し「完了」ボタンを選択します。

完了ボタン選択後、メニューが終了し、上記の図の通りにメッセージが表示されます。



DDNS が正常に登録されると「SUCCESS」、登録できない場合は「FAIL」が表示されます。

「FAIL」が表示された場合、別のドメイン名で再度登録を行って下さい。

4-5.PTZカメラ操作

カメラ PTZ を選択すると接続された PTZ カメラの操作を行う操作パネルを表示します。

※カメラ PTZ 機能を使用する際にはログインが必要です。

カメラPTZ	名称	説明
	CH	PTZ操作を行うチャンネルを選択します。
	初期化	選択したカメラのPTZ設定を初期化します。
	パン/チルト	選択すると、方向ボタンでカメラをパン(左右)、チルト(上下)動作させることができます。
	ズーム/フォーカス	選択すると方向ボタンが切り替わり上下ボタンでカメラのレンズをズーム/ワイド動作をさせることができます。左右のボタンでカメラのフォーカス調整ができます。
	確定/ESC OSD表示/	カメラ側のOSDメニューを表示、選択、戻る、メニュー終了の設定が行えます。
	オートスキャン	選択するとオートスキャンを開始します。再度押すとオートスキャンを停止します。
	プリセット	※プリセットに対応したカメラのみ対応 カメラの向き登録および、登録した向きへ移動させます。登録するにはカメラの向きを変更後、プリセットボタンを押し、数字ボタン(1~255)を選択し、設定の保存を押してください。移動させる場合には数字ボタンを選択し、移動ボタンを押すことで カメラが登録された向きへ移動します。
	ツアー	※ツアーに対応したカメラのみ対応 カメラ側でツアーグループが設定されている場合、設定されている数字ボタンを押し、開始ボタンを押すことでツアーを開始します。停止ボタンを押すことでツアー動作を終了します。
	数字ボタン	PTZカメラに登録されているプリセットやツアー動作を選択する際に使用します。4番以上は  ボタンを押し、表示されたキーボードから入力が行えます。

5. 検索・再生

5-1. 検索画面



メイン画面下段の  ボタンを押すかマウスの右ボタンで表示されるポップアップメニュー内の検索を選択します。リモコンでは“SEARCH” ボタンを押すことで検索メニューが表示されます。



図 検索 ログインメニュー画面

検索ボタンを選択すると上記の図のログイン画面が表示されます。使用するユーザー名を選択(通常はADMIN)後、パスワード右の  ボタンを選択し表示されたキーボードを使用してパスワードを入力後、「ENTER」ボタンを押し「OK」ボタンを選択します。OKボタンを選択すると下図の検索メニューが表示されます。(初期パスワード“1111”)

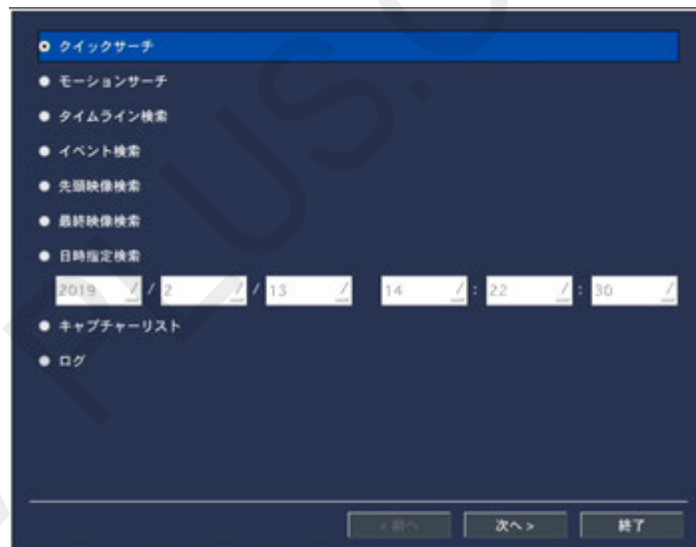


図 検索ログイン後、メニュー画面

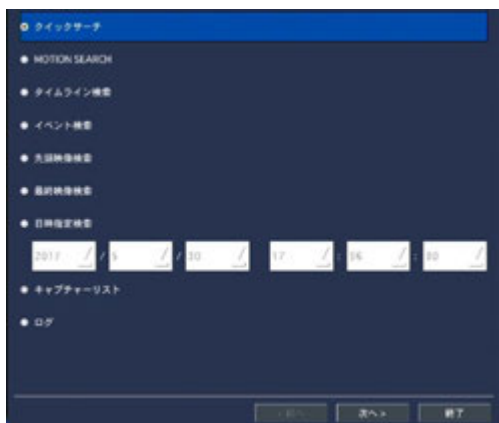
検索メニューはクイックサーチ・モーションサーチ・タイムライン検索・イベント検索・先頭映像検索・最終映像検索・日時指定検索・キャプチャーリスト・ログで構成されています。

5-2. クイックサーチ

クイックサーチはサムネイルを利用し、見たい映像をより簡単に探すことのできる検索方法です。クイックサーチ選択後、カレンダーより検索する日付を選択し、検索を行う1つのチャンネルを指定します。チャンネル選択後、再生ボタンを押すと0時~23時までの1時間毎のサムネイルが表示されます。

表示されたサムネイルから1つを選択(マウスでは左ボタンをダブルクリック、リモコンではSELボタン)すると1時間をさらに2分30秒ごとにサムネイル表示を行います。2分30秒ごとにサムネイルから1つを選択する10秒毎に切替わり、さらに選択すると1秒ごとにサムネイルを表示します。

1秒ごとに表示されたサムネイルを選択すると選択した時刻より録画データの再生を開始します。
※戻る場合には「前へ」を選択(マウスではダブルクリック、リモコンではSELボタン)します。



クイックサーチ選択



検索日保存



検索するチャンネル選択



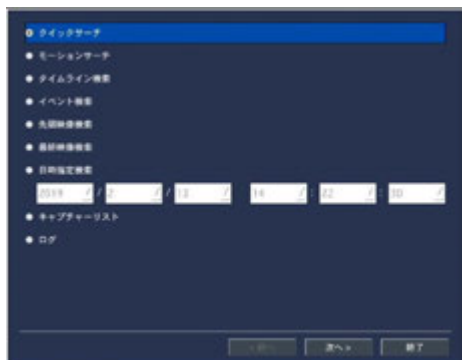
検索する時間を選択



2分30秒 単位の画面から選択

5-3. モーションサーチ

モーションサーチでは選択したチャンネルの録画データから動きのある場所のみを検索する事が可能な検索方法です。



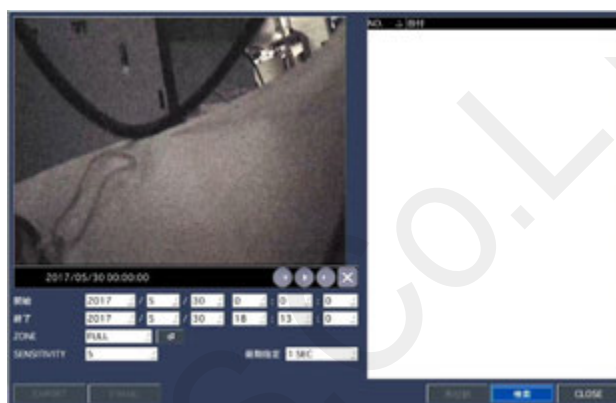
モーションサーチを選択





検索する日付を選択




検索するチャンネルを選択



MOTION SEARCH 検索画面

開始	検索を行う検索範囲の開始時刻を入力します。
終了	検索を行う検索範囲の終了時刻を入力します。
ZONE	<p>検索を行う範囲を選択します。</p> <p>「FULL」画面全体を範囲とします。</p> <p>「PARTIAL」検索する範囲を選択します。</p> <p>「PARTIAL」を選択すると右側の  ボタンが選択可能となり  ボタンを選択すると画面上にマスが表示されます。表示されたマスをマウスの左クリックで網掛けすると網掛けされた範囲が検索範囲になります。</p> <p>範囲を消す場合は網掛けの範囲をマウスの左クリックで選択することで範囲解除する事が出来ます。</p> <p>検索範囲選択後、ビデオウインドウ上でマウスの右クリックを行う事で範囲指定を終了します。</p>
SENSITIVITY	検索する際の感度を設定します。(1L~9H)
2017/05/30 00:00:00	ビデオウインドウ上に表示している映像の日付が表示されます。

<p>周期指定</p>	<p>検索する周期を設定します。(1,2,3,5,10sec)</p>
<p>検索</p>	<p>入力された条件で検索を行います。 検索結果はリスト上に表示されます。</p>
<p>停止</p>	<p>検索中に表示されます。選択すると検索を停止します。</p>
<p>RESUME</p>	<p>停止ボタン選択時に表示されます。停止箇所から検索を再開します。</p>
<p>再起動</p>	<p>停止ボタン選択時に選択できます。最初から再検索を行います。</p>
<p>CLOSE</p>	<p>MOTION SEARCHを終了し、チャンネル選択画面に戻ります。</p>
	<p>検索結果をリスト表示します。 リスト上から再生を行いたい日付をダブルクリックすると選択した時刻から再生を行います。</p>
	<p>映像再生中のみ選択が可能。一時停止、一時停止中の1秒戻し/1フレーム進み、終了のみ操作が可能です。  ボタンを選択するとリスト選択画面に戻ります。 注意：MOTION SEARCH再生では音声出力はされません。</p>
<p>EXPORT</p>	<p>映像再生中のみ選択が可能。選択すると映像バックアップメニューを表示します。 ※バックアップは表示しているチャンネルのみバックアップが可能。</p>
<p>E-MAIL</p>	<p>メール送信設定時のみ使用が可能。 登録しているメールアドレスにビデオクリップを送信します。</p>

5-4. タイムライン検索

タイムライン検索は保存されたデータを選択した日付の時間帯別に検索を行うことができます。




タイムライン検索を選択

検索する日付を選択

再生開始時刻を選択

図. タイムライン検索メニュー画面

- ① 検索したい日付を選択し、次へボタンを押します。
- ② 日付を選択すると、その日の録画されている時間が色付け表示されます。
- ③ リモコンでは矢印 (◀ ▲ ▶ ▼) ボタンを使用し、マウスでは直接再生を行う時刻にカーソルを合せて左クリックし、再生を行う時間を選択します。タイムラインは右上の  ボタンを押すと24時間表示から1時間表示に切替えが可能です。
- ④ 再生を行うチャンネル選択します。"ALL"を選択すると、すべてのチャンネルを再生します。
- ⑤ 各設定後、再生ボタンを押すと録画データの再生が開始されます。
- ⑥ 終了するには、リモコンのESCボタンまたは、マウスで終了ボタンを押すとライブ画面へ戻ります。

5-4. イベント検索

各チャンネルイベント（モーション、センサー、アラーム等）発生に伴う録画検索を行います。



イベント検索を選択

検索する日付を検索

検索する条件を入力

図 . イベント検索メニュー画面

- ① 検索したい日付を選択します。
- ② チャンネル項目から検索するチャンネルと検索するイベントを選択します。



- ③ チャンネル項目で選択したチャンネルのイベントリストが表示されます。
- ④ バックアップを選択すると選択した日付のイベントログをバックアップする事が出来ます。
(ログのバックアップを行うにはUSBメモリが必要です。)
- ⑤ リストから再生したいファイルを選択し、再生ボタンを選択すると再生が開始されます。
- ⑥ 検索を中止するには、ESCボタンまたは、マウスで終了ボタンを押すとライブ画面へ戻ります。

5-5. 先頭映像検索

最初に保存されているデータを再生します。

5-6. 最終映像検索

最後に保存されているデータを再生します。

5-7. 日時指定検索

年/月/日/時/分を入力することで、設定した日付のデータを直接再生することが可能です。
(◀▶▶▼) を使用し、上/下キーを変更し、左/右キーを移動する時に使用します。

5-8. キャプチャーリスト

動画・停止映像・検索画面・キャプチャなどバックアップのため選択したリストが表示され、そのデータをバックアップする時に使用します。(キャプチャーメニュー内では再生はできません)

- ① データが保管されている日付を選択します。
- ② 日付を選択します。
- ③ 見たいデータを選択すると該当データの静止画が画面に現れます。
- ④ 映像表示後、リモコンの BACKUP ボタン又はメニューのバックアップボタンを押します。
- ⑤ 検索を中止する時はリモコンの ESC ボタンまたはマウスで終了ボタンを押すことで終了します。

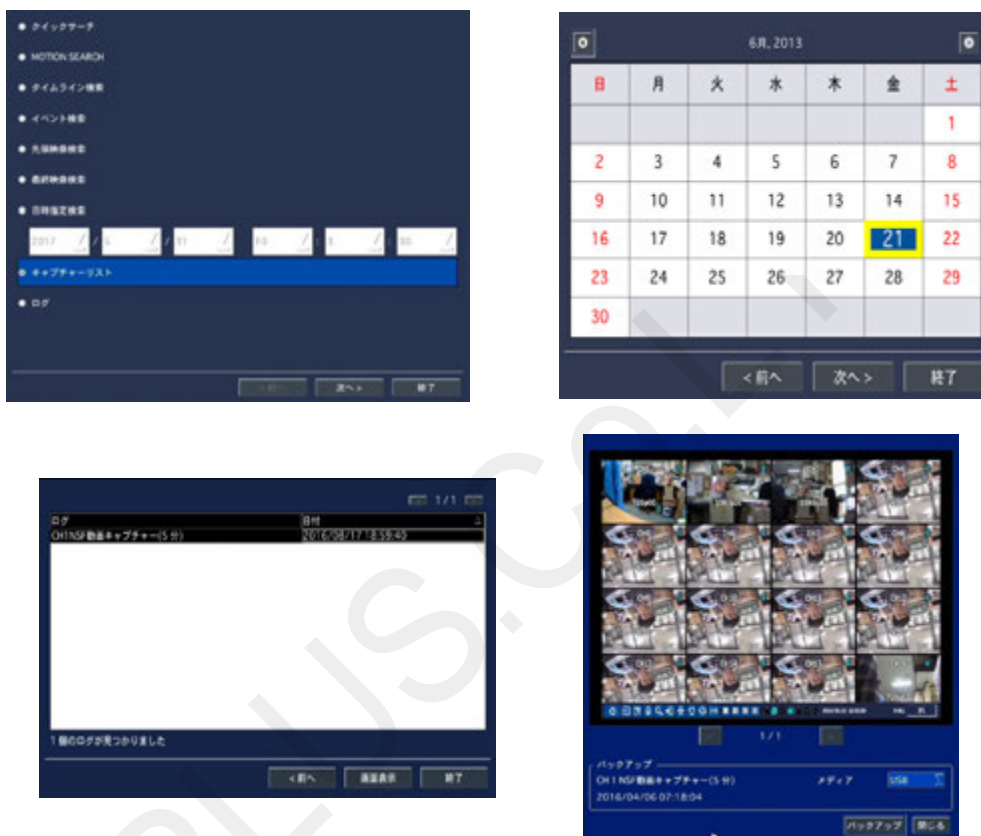


図 キャプチャーリスト画面

5-9. ログ

録画機の全体的な使用履歴を確認することができます。(電源 ON/OFF、設定メニューエントリなど)



図 システム記録画面

5-10. 再生

録画したデータを検索した後、検索した映像を見る際に使用します。

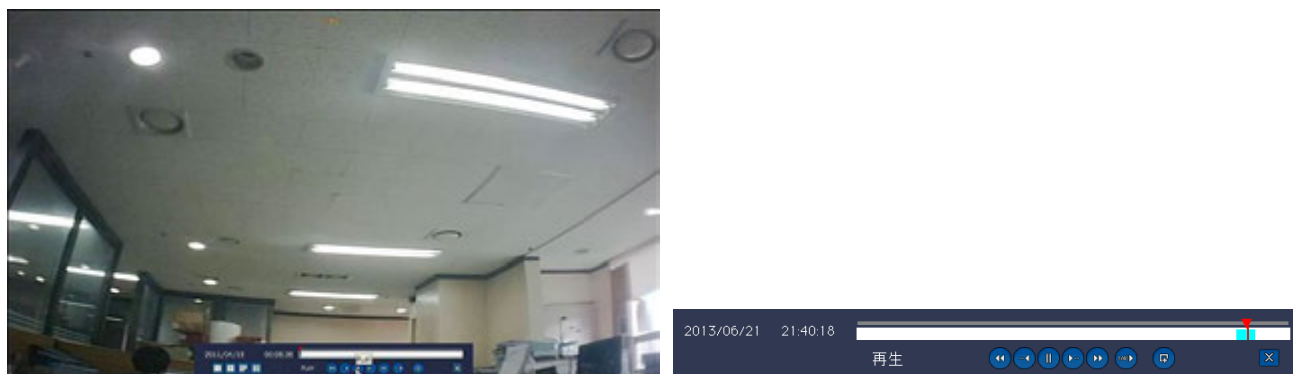


図 再生メニュー画面


表 再生ボタン機能


アイコン	説明
	再生を停止し、前の検索メニューに戻ります。
	押すごとに早送り倍速が変わって画面下段に表示されます。 ▶(標準)→▶▶(2倍速)→▶▶▶(4倍速)→▶▶▶▶標準倍速反復進行(最大32倍) ※1画面表示時は64倍速、8画面時は16倍速、16画面時は8倍速まで
	押すたびに巻き戻し倍速が変わって画面下部に表示されます。 ◀(標準)→◀◀(2倍速)→◀◀◀(4倍速)→◀◀◀◀標準倍速反復進行(最大32倍) ※1画面表示時は64倍速、8画面時は16倍速、16画面時は8倍速まで
	1分後の映像にジャンプ/一時停止中に押すとコマ送りをを行います。
	1分前の映像にジャンプする/一時停止中に押すとコマ戻りをを行います。
	一時停止（静止画表示）します。もう一度押すと標準再生を行います。
	スロー再生ボタン
	録画データバックアップボタン

6. バックアップ


6-1. スクリーンショット (USBメモリ)

スクリーンショット(静止画)のバックアップは、ライブ画面表示中とデータ再生中の両方が可能です。
初めに、本製品のUSBポートにUSBメモリ(FAT32・32GBまで)を接続します。

ライブ画面で “” ボタンまたはポップアップメニューのスクリーンショットを選択します。
リモコン操作の場合はBACKUPボタンを押します。

データ再生時 リモコンでは“BACKUP”ボタンをマウスでは  ボタンを押すと
バックアップメニューが表示されます。

バックアップの手順

- ① ライブ画面下段の  ボタンを押した後BACKUP項目を選択します。
 - 又は製品前面ボタン及びリモコンの “BACKUP” ボタンも使用できます。
- ② USBを選択すると、そのメディアに現在のスクリーンショット(静止画)がバックアップされます。
 - ここで、"ESC"ボタンを押してキャンセルしても、後で検索メニューの "キャプチャーリスト"メニューから、再度バックアップできます。

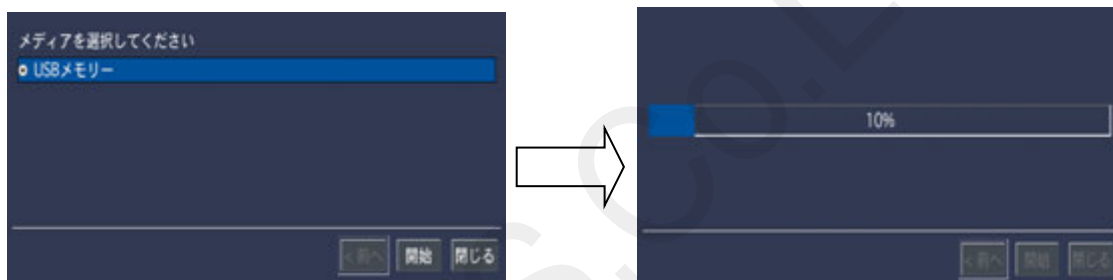



図. スクリーンショット(静止画)のバックアップ画面

6-2. 動画バックアップ

動画のバックアップは、データ再生時に行います。

まず、製品の前面USBポートにUSB メモリを接続します。

- ① 録画データ再生時に、バックアップボタン  をクリックします。
(リモコンまたは本体前面の“Backup”ボタンでも操作可能です。)
- ② 静止画と動画 (NSF / AVI / EXE) 項目を選択します。
 - 静止画: BMP形式で画面の静止画を保存します。
 - NSF:付属のHD PLAYERで再生可能なNSF形式でバックアップします。
※NSF選択時、1時間単位の大容量バックアップが可能です。
最大24時間、USB ハードディスク(FAT32・最大2TBまで)のみ
 - AVI-SEPARATED SUBTITLE,MAC COMPATIBLE- : 一般汎用 AVIプレーヤーで再生可能。
※映像ファイルと時刻ファイル作成されます。
時刻は字幕表示対応プレーヤー以外では表示されません。
 - EXE: 専用ソフトウェアと録画データを自動実行形式でバックアップします。
※最大バックアップ容量4GBまで

③ 保存するデバイスを選択します。

USBメモリ : USBメモリに保存する際に選択

外付け HDD : USB HDDに保存する際に選択(NSF選択時の大容量バックアップのみ)

④ バックアップしたいチャンネル及びバックアップ時間を選択します。

(1分~最大60分まで選択可能。大容量バックアップ時は1時間~24時間)

⑤ マウスで“開始”を押すか、リモコンで“SEL” ボタンを押すとバックアップを開始します。

⑥ バックアップ完了後、閉じるボタンを押すと、再生画面へ戻ります。



図 動画バックアップメニュー画面

ここで "ESC"ボタンを押してキャンセルした場合でも、後で検索メニューの "キャプチャーリスト"から再度バックアップできます。

6-3. キャプチャーリストを使用してのバックアップ

ライブ画面及び再生時、作業したバックアップファイルリストが“キャプチャーリスト”に残っています。該当データは既存の静止画又は動画バックアップの時、バックアップしたか又はキャンセルしたリストが保存されているため、該当データを再度バックアップすることができます。

- ① 検索メニューで“キャプチャーリスト”メニューを選択します。
- ② 表示されたカレンダーから日付を選択します。(保存した日付は青く表示されます)
- ③ キャプチャーリストからバックアップしたい項目を選択します。
- ④ “画面表示” ボタンを押すと該当ファイルの静止画が表示されます。
- ⑤ “バックアップ” ボタンを押すと該当デバイスにバックアップが進行されます。
- ⑥ データのバックアップが完了すると“保存完了”メッセージが表示されます。
- ⑦ 完了後、以前のメニューに戻るには“ESC” ボタンまたは終了ボタンを押します。

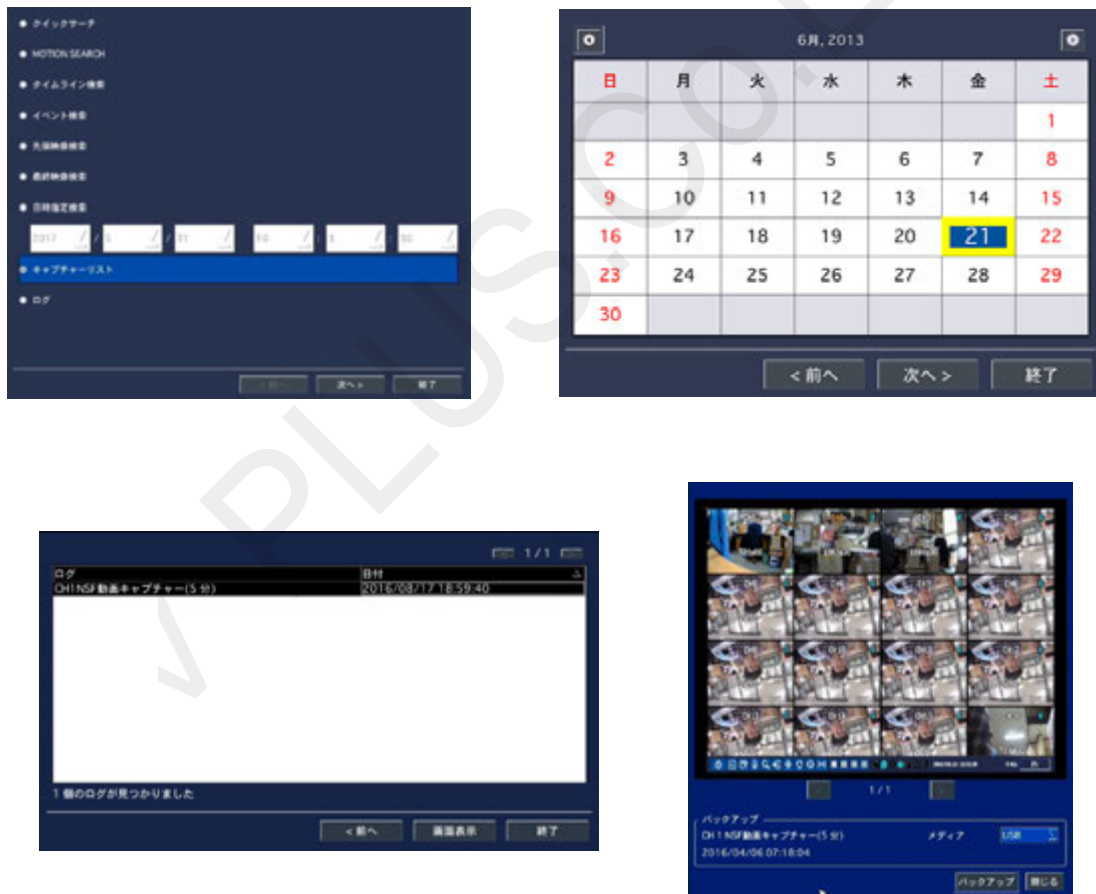


図 キャプチャーリスト画面

6-4. バックアップ動画再生

NSF形式にてバックアップされたファイルは専用ファイルのため、動画バックアップ時、保存デバイスに“DVR Player”フォルダに再生プレイヤー「HD PLAYER」が自動的に生成されます。ファイル内のHD PLAYERでのみNSF形式にてバックアップされた映像を見ることができます。

EXE形式でバックアップを行った場合では作成された自動実行ファイルを開くとHD PLAYERが起動し、バックアップ映像が自動的に再生されます。

NSF形式とEXE形式では複数のチャンネルを同時にバックアップ、再生が可能です。

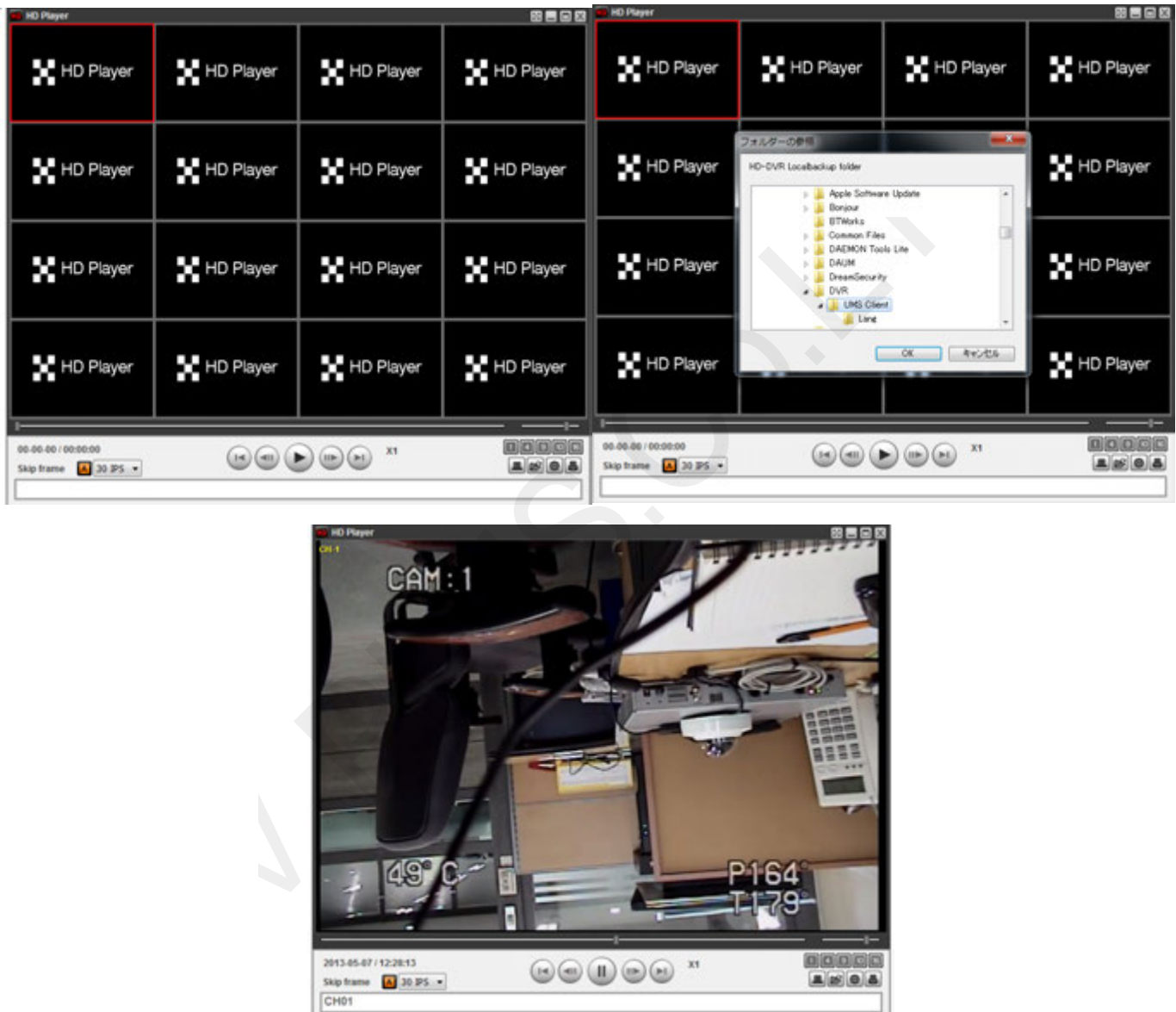



図 バックアップ動画再生画面


AVI形式でバックアップデータは汎用AVIプレイヤー(Windows Media Player・GOM Playerなど)を利用し、再生できます。正常に再生されない場合は付属CDに入っているFFDshowコーデックをインストールしてください。(Windows Media Playerで字幕が出ない場合、設定で字幕表示設定を行い、DVR Playerフォルダに含まれている“UMSDecoderFilter”をPCにインストールしてください。)

※AVI形式では1チャンネルごとに2ファイル(AVIファイルと字幕SMIファイル)が作成されます。

7. 各種設定

設定メニューでは各カメラの録画設定や録画機本体の設定を行う事が出来ます。
設定メニューを開くにはポップアップメニュー内の「設定」ボタンをクリックするか
タスクバー上の  アイコンを選択します。リモコンの場合は「SETUP」ボタンを押します。



設定ボタンを選択すると上記の図のログイン画面が表示されます。
使用するユーザー名を選択(通常はADMIN)後、パスワード右の  ボタンを選択し
表示されたキーボードを使用してパスワードを入力後、「ENTER」ボタンを押し「OK」ボタンを
選択します。OKボタンを選択すると下図の検索メニューが表示されます。(初期パスワード“1111”)

7-1. 画面表示設定

ライブ画面上のOSD設定や接続したカメラのチャンネルごとに各種設定を行います。

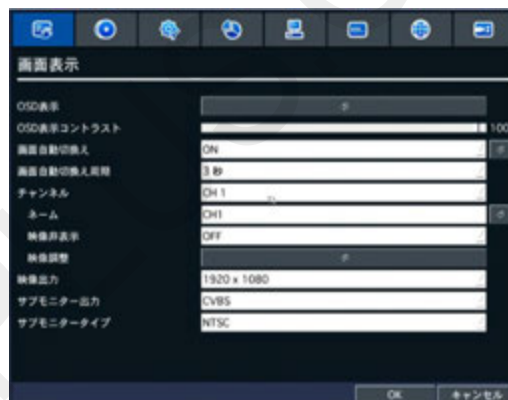


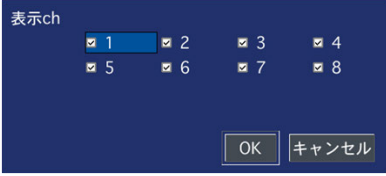





図 表示メニュー画面
表 メニュー説明

メニュー	説明
OSD表示	<p>ライブ画面に表示されるOSD表示を設定します。(ON / OFF) 右の  ボタンをクリック後表示されるメニューより、チャンネル名等表示のON/OFFが選択できます。 (ch名・VIDEO LOSS・タスクバー・カメラタイプ・録画表示)</p> 

OSD表示 コントラスト	表示されたメニューの OSD画面のコントラストを調整します。(0-100)
画面自動切替え	<p>画面自動切替え(シーケンシャル)の ON/OFF 右の  ボタンを押すと画面自動切替えに使用するチャンネルを選択できます。</p> 
画面自動 切替え周期	画面自動切替えの時、各チャンネルの変更時間を調整します。(3-60秒) 画面自動切替えメニューを“ON”に設定した場合のみ適応されます。
チャンネル	設定を行うチャンネルを選択します。
ネーム	<p>選択したチャンネルに表示する名前を入力できます。 右の  ボタンを押すと「CHANNEL NAME」メニューが表示されます。 変更するCHの「EDIT」  ボタン選択する事でキーボードが表示されます。</p> 
映像非表示	<p>“チャンネル”で選択したカメラ映像をライブ時(ネットワーク上を含む)に表示させない場合に使用します。 “ON”を選択すると、ライブ画面では見えませんが、実際に録画は継続されます。 映像非表示の状態映像を確認するには録画再生を行って下さい。</p>
映像調整	<p>選択したチャンネルの色調整を行います。  ボタンを選択すると選択しているチャンネルが表示され、右下に色調整メニューが表示されます。</p>  <p>輝度：輝度を(明るさ)を調整します。 コントラスト：コントラストを調整します。 色合い：色合いを調整します。 彩度：彩度を調整します。 SHARPNESS：シャープ(先鋭化)を調整します。 リセット：各項目を標準値に戻します。 CLOSE：映像調整メニューを終了します。</p>
映像出力	<p>ビデオ出力解像度を選択します。(HDMI / VGA 共通) 1280×720 / 1920×1080 / 1280×1024 / 1024×768 / 3840×2160(HDMIのみ) 注意：モニタ側の対応解像度以上の解像度を設定した場合、正常に映像表示がされない場合があります。</p>
サブモニター出力	<p>サブモニターへの出力形式を切り替えます。 CVBS：メインモニタと同じ画面を表示します。 SPOT：デバイス項目内のスポットモニター設定で設定したCHを1画面表示します。</p>
サブモニター タイプ	<p>サブモニターの出力フォーマットを変更します。 NTSC：NTSC形式で出力を行います。通常はこちらを選択します。 PAL：PAL形式で出力を行います。</p>

7-2. 録画設定

録画設定はチャンネルごとに録画設定が行えます。

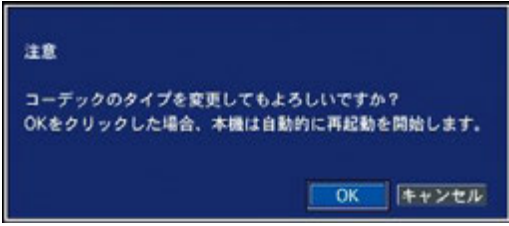

メニューからの選択はリモコンの“SEL”ボタン又はマウスの“左ボタン”で選択できます。



図 録画メニュー画面

表 録画メニュー説明

メニュー	説明
チャンネル	<p>録画設定するチャンネルを選択します。 チャンネル選択メニュー右の  ボタンを押すと全てのチャンネルを一度に設定できます。</p> 
録画解像度	<p>AHD3.0(4MP30)カメラ接続時は1280×1440/1280×720/640×360 AHD3.0(4MP15)カメラ接続時は2560×1440/1920×1080/1920×540/1280×720/640×360 AHD2.0(2MP)カメラ接続時は 1920×1080/1920×540/1280×720/640×360 AHD1.0(1MP)カメラ接続時は1280×720/640×360 アナログカメラ接続時は 960H / D1 / CIF の中から選択します。</p>
録画フレーム	<p>AHD3.0(4MP30)カメラ使用時は15fps、AHD3.0(4MP15)カメラ使用時は10fps、 AHD2.0(1080p)、AHD1.0(720p)カメラ使用時 各チャンネル15fpsまで アナログカメラ使用時各チャンネル30fpsまで設定できます。</p>
画質	<p>最高画質、高画質、中画質、標準画質、ネットワーク画質の中から選択できます。 ネットワーク画質 が最も低い値です。</p>
録画モード	<p>録画なし・常時録画・モーション・センサー・スケジュールの中から選択できます。 また、モーション、センサー録画設定時、右側の  ボタンを選択すると モーション録画選択時にはモーションのみまたは、常時+モーション、 センサー録画選択時にはセンサーのみまたは、常時+センサーを選択する事が可能です。</p>  
センサー録画	<p>使用する外部センサーを選択します。(1~4個別設定が可能) ※録画モードをセンサー録画にした場合のみ、設定が反映されます。</p>

イベント 前記録	イベント発生 前/後の内容を保存する機能で15秒～20分まで設定できます。
イベント 後記録	イベント発生後の保存時間を指定します。(最小10秒 ～最大60秒)
音声	マイク接続時、音声録画のON/OFFします。(CH1～4)
スケジュール	チャンネル別に各曜日の時間単位で録画設定が行えます。 モーション及びセンサーをスケジュール上で設定されている場合、 設定されている条件(モーションのみまたは常時+モーション等)が反映されます。
コーデックの タイプ	<p>使用するエンコードコーデックを選択します。</p> <p>H.265はH.264と比べ録画データを約半分の容量に抑えることが可能です。</p> <p>H.264 : H.264形式でエンコードし、録画データを保存します。</p> <p>H.265 : H.265形式でエンコードし、録画データを保存します。</p> <p>※設定変更の際に再起動を行います。</p>  <p>The screenshot shows a blue dialog box with the text: '注意 コーデックのタイプを変更してもよろしいですか? OKをクリックした場合、本機は自動的に再起動を開始します。' and buttons for 'OK' and 'キャンセル'.</p>
日付/時刻	<p>ONに設定すると各チャンネルの左上に現在の日付と時刻を表示します。</p> <p>※設定変更の際に再起動を行います。</p>  <p>The screenshot shows a blue dialog box with the text: '注意 レコーディング日付と時刻を変更してもよろしいでしょうか? OKをクリックした場合、本機は自動的に再起動を開始します。' and buttons for 'OK' and 'キャンセル'.</p>

7-2-1. スケジュール録画設定



図 スケジュール録画設定画面

スケジュール録画をするには、まずメニューの録画モードの“スケジュール”を選択します。

- ① スケジュール録画を設定するチャンネルを選択します。
- ② 録画モードを選択します。(なし / 常時録画 / モーション / センサー)
- ③ 該当の録画モードボタンを選択するとそれぞれの色で表示されます。

なし:白 / 常時録画:緑 / モーション:黄色 / センサー:赤色

- ④ 該当曜日の時間を選択すると、上で選択した録画モードの色に表示されます。
- ⑤ クリア: 選択したチャンネルの全ての録画設定をリセットします。
- ⑥ コピー: 選択したチャンネルのスケジュールをコピーし、他のチャンネルに設定したスケジュールをコピーすることができます。




7-3. デバイス設定


録画機へ接続した外部機器や、カメラ別に使用する動作検知エリア、リモコンID等を設定します。

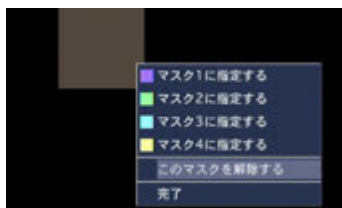


図 デバイスメニュー画面

表 デバイスメニュー説明


メニュー	説明
<p>アラーム出力</p>	<p> <input type="checkbox"/> ボタンを押すと外部機器へアラーム出力設定が行えます。 持続時間：外部センサーへアラーム出力する時間を設定します。(5~60秒、無限) タイプ：センサータイプを選択します。(NORMAL OPEN / NORMAL CLOSE) </p> 
<p>コントローラー&PTZ</p>	<p> 接続したPTZカメラ及び、 コントローラーの設定が行えます。 各項目にはPTZカメラ、コントローラー側で設定した 値を入力します。 </p> 
<p>スポットモニター 設定</p>	<p> 画面表示項目でサブモニタ出力をSPOTへ設定した場合のみ反映されます。 イベント時スポット出力：イベントを検知したチャンネルを表示します。 イベント画面表示時間：イベント時スポット出力する時間を設定できます。 設定可能時間は3秒~10秒です。 画面自動切替え：2台以上カメラが接続されている場合、 ONに設定すると画面の自動切り替えを行います。 画面自動切替え周期：画面の切替え時間を設定できます。 設定可能時間は3秒~10秒です。 スポットCH：スポット表示するチャンネルを選択できます。 </p> 

チャンネル	モーション設定を行うチャンネルを選択
モーション領域	選択したチャンネルの動作検知領域設定(全体領域・選択領域)
モーション感度	選択したチャンネルの動作検知感度設定(1~9)
マスキング	<p>選択したチャンネル映像にマスキングを行う事が出来ます。(最大4か所)</p> <p> ボタンを選択すると選択しているチャンネルの映像が表示されます。マウスの左ボタンをドラッグしマスキングを行う範囲を指定します。指定した箇所は茶色で表示されます。</p> <p>範囲選択後、マウスの右ボタンを押し、現在の範囲をマスク1~4で指定します。マスクを解除するには選択範囲をクリックし、「このマスクを解除する」を選択します。</p> <p>範囲選択後、「完了」ボタンを選択するとメニューに戻ります。</p>
ボタン音	操作時のボタン確認音の設定が行えます。(OFF / ON)
リモコン ID	ひとつのリモコンで複数の録画機を扱う時、録画機毎にリモコンIDを設定し、選択した製品だけをコントロールできる機能です。設定後、リモコン側でID設定が必要となります。
センサー	各外部センサーの設定が行えます。(1~4)
タイプ	上記センサー項目で選択したセンサーの動作設定を選択できます。(OFF / NORMA OPEN / NORMAL CLOSE)



7-3-1. モーション検知領域設定

全体領域: 全ての領域でモーションを検出します。

選択領域: 選択領域を選択後、 ボタンを押すことで検出範囲の設定画面が表示されます。モーション録画設定時、検知範囲の指定が行えます。

下図のようにモーション検出行う範囲を指定することで設定した部分にのみ検出され、その他の区間では動作が発生しても録画されません。

範囲選択をするにはリモコンの“SEL”ボタン、マウスでは左クリックを押すと選択され、選択した箇所ですら再度リモコンの“SEL”ボタン、マウスでは左クリックを押すと解除されます。

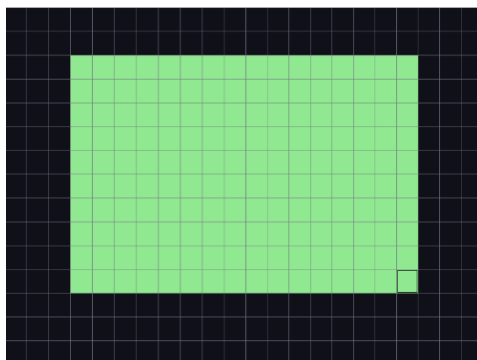


図 選択領域モーション検知設定

7-4. 録画装置設定

録画機に搭載されているハードディスクに対する設定及び、録画期間を設定します。



図 保存デバイス設定画面

表 保存デバイスメニュー説明

メニュー	説明																																													
上書き	ON: ハードディスクの容量がいっぱいになると、古い順に上書きしていきます。 OFF: ハードディスクの容量がいっぱいになると、録画を停止します。																																													
HDDフォーマット	使用中のハードディスクをフォーマットします。 [注意] フォーマットを行うと、ハードディスク内のデータは全て消去されます。																																													
HDD情報	使用中のハードディスクの情報を表示します。 詳細ボタンを押すことで現在のセクター情報の確認ができます。 ※セクター情報はヘルプボタンを押すことで各説明が表示されます。 <table border="1" data-bbox="391 1422 1396 1668"> <tr> <td colspan="5">HDDの容量: 435 GB (残り: 28 GB) HDD記録開始日時: 2013/05/18 03:00:00 HDD最終記録日時: 2013/06/21 21:21:00</td> <td>代替処理セクター</td> <td>現在保留中のセクター</td> <td>代替処理不能セクター</td> <td>スピンドライセクター</td> </tr> <tr> <td>HDD 1</td> <td>モデル名 WDC WD5000AAKX-001CA0</td> <td>温度 27 C (80 F)</td> <td>通電時間 310 日 20 時間</td> <td>状態 (GOOD/NORMAL/BAD) GOOD</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>HDD 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>HDD 3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>HDD 4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	HDDの容量: 435 GB (残り: 28 GB) HDD記録開始日時: 2013/05/18 03:00:00 HDD最終記録日時: 2013/06/21 21:21:00					代替処理セクター	現在保留中のセクター	代替処理不能セクター	スピンドライセクター	HDD 1	モデル名 WDC WD5000AAKX-001CA0	温度 27 C (80 F)	通電時間 310 日 20 時間	状態 (GOOD/NORMAL/BAD) GOOD	0	0	0	0	HDD 2									HDD 3									HDD 4								
HDDの容量: 435 GB (残り: 28 GB) HDD記録開始日時: 2013/05/18 03:00:00 HDD最終記録日時: 2013/06/21 21:21:00					代替処理セクター	現在保留中のセクター	代替処理不能セクター	スピンドライセクター																																						
HDD 1	モデル名 WDC WD5000AAKX-001CA0	温度 27 C (80 F)	通電時間 310 日 20 時間	状態 (GOOD/NORMAL/BAD) GOOD	0	0	0	0																																						
HDD 2																																														
HDD 3																																														
HDD 4																																														
記録保存日数制限	録画保存期間を設定できます。 設定値 OFF / ON																																													
記録保存日数	録画保存期間設定をONにすると設定できます。 設定値 : 1 / 2 / 3 / 4 ~ 57 / 58 / 59 / 60日 ~ 90日																																													

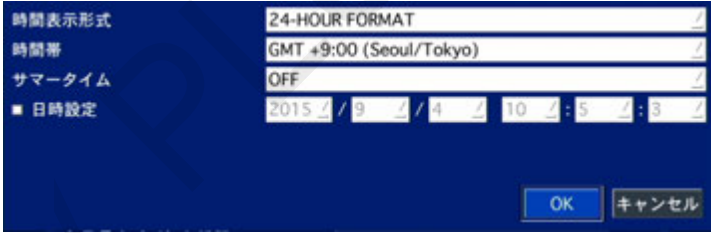
7-5. システム設定

録画機の日付/時刻及び言語、ネットワーク接続などの設定をします。



図 システムメニュー画面

表 システムメニュー説明

メニュー	説明
DVR ID	使用する製品のIDを変更することができます。(ローマ字及び数字のみ可能)
システム情報	システム情報を表示します。 (モデル名・ソフトウェアバージョン・HDD容量・IPアドレス・MACアドレス・DDNS)
言語	表示言語を変更します。
日付の形式	日付の形式を変更することができます。 (年/月/日、月/日/年、年-月-日、月-日-年、日-月-年)
日付設定	<p>日付及び時刻表示が異なる場合に修正することができます。</p>  <p>時間表示形式：24時間表記または12時間表記から選択できます。</p> <p>時間帯：各国の時間帯に合わせて設定ができます。 通常はGMT +9:00(Seoul/Tokyo)を選択してください。</p> <p>サマータイム：使用地域、又はOFFに切り換えることができます。 (日本国内は“OFF”に設定してください)</p> <p>OFF/米国/欧州/その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. OFF: 使用しない(国内使用) 2. 米国: 米国で使用する時該当時間を設定します。 3. 欧州: 欧州で使用する時該当時間を設定します。 4. その他: 米国及び欧州を除いた他の地域で使用します。
クライアントアクセス	ネットワークを通して接続時、Web Client接続を許可するか否かを設定します。

NTPとはNetwork Time Protocolの略で、システムの時間誤差を設定したサーバーを通し補正する機能です。

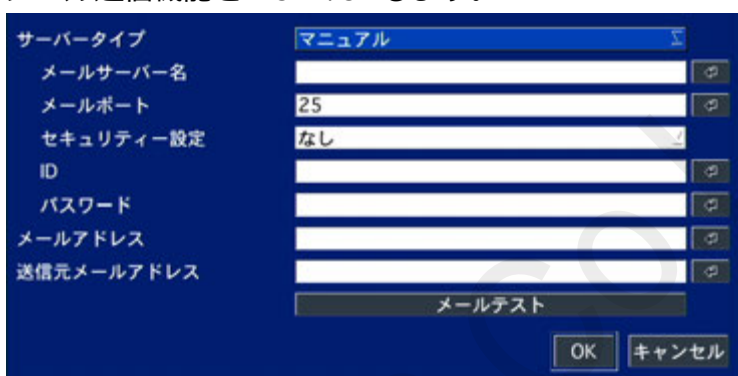
NTP



NTPサーバーアドレス1: 一つ目の時間補正サーバーを設定します。
NTPサーバーアドレス2: 二つ目の時間補正サーバーを設定します。
時間帯: 各国ごとに時刻帯を変更できます。(日本は GMT+09:00)
接続モード: 時間指定又は指定時刻を選択します。
接続周期・時刻: 1時間～ 24時間まで設定できます。

メール送信機能を OFF/ONします。

メール送信



メールサーバタイプ: 使用しているメールサーバーのアドレスを入力します。
(マニュアル, Gmail, Hotmail, AOL, Yahoo)

- **メールサーバー名: メールサーバー選択**
"マニュアル"の時はご使用のメールサーバーを入力します。
- **メールポート: メールポート設定**
- **セキュリティ設定: なし・SSL・TLS から選択**
- **ID: メールサーバー接続時、ご使用のアカウント ID を入力**
- **パスワード: メールサーバーに接続時、ご使用のアカウントパスワードを入力**

メールアドレス: 受信するメールアドレスを設定します。

送信元メールアドレス :送信サーバーに登録されているメールアドレスを設定します。

※Gmailで登録するにはWEBセットアップ上で各種設定の他、PINコードを取得し、サインインを行います。

OAUTH SIGN IN STATUS

: Gmail選択時にOAUTHを使用してのサインインの状態を表示します。

GET OAUTH PIN CODE : GoogleアカウントのPINコード取得画面を表示します。

OAUTH PIN CODE : 取得したGoogleアカウントのPINコードを入力します。

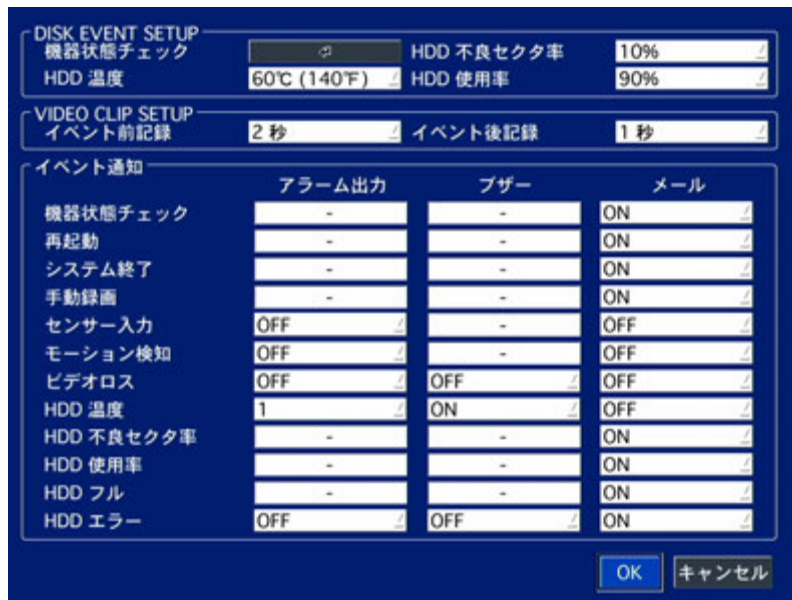
※PINコード入力後、サインインする為にメールテスト行って下さい。

システム再起動

選択すると再起動の確認メッセージが表示されます。
「はい」を選択すると再起動を行います。いいえを選択すると再起動は行いません。

システムイベント通知

システムイベント通知設定では各種通知設定が行えます。



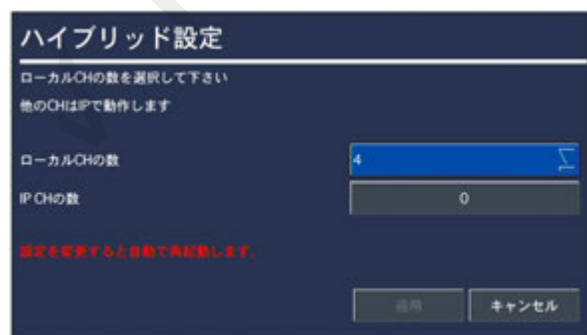
- ・機器状態チェック 機器状態の確認を行う期間を設定できます。



- ・HDD温度 HDD温度の上限値を設定します。
- ・HDD不良セクター率 HDD不良セクター率の上限を設定します。
- ・HDD使用率 HDD使用率の上限を設定します。
- ・VIDEO CLIP SETUP
 - イベント前記録 イベント発生時、イベント開始前の記録時間を選択できます。
 - イベント後記録 イベント発生時、イベント開始後の記録時間を選択できます。
- ・イベント通知
 - アラーム出力 イベント発生時、アラーム出力のON/OFF設定ができます。
 - ブザー イベント発生時、本体のブザーのON/OFF設定ができます。
 - メール イベント発生時、メール通知のON/OFF設定ができます。

VAP-0815R及びVAP-1615Lのみ項目が表示されます。
IPカメラを接続する際に設定を行います。

ハイブリッド 設定



- ◀ ボタン選択後、表示されるメニューより接続するIPカメラの台数を選択します。同軸カメラは1chから1ch、2chと順になりますが、IPカメラの場合は4ch、3chのように末尾のチャンネルから使用されます。
例) 4chDVR使用時、ローカルCH 3台、IP CH1台で設定し、同軸カメラ2台、IPカメラ1台接続の場合は画面上に1、2、4chにカメラ映像が表示されます。

7-6. セキュリティー設定

使用者権限設定及び権限による使用者のパスワードを設定します。



図 セキュリティーメニュー画面

表 セキュリティーメニュー説明

メニュー	説明
使用者権限	<p>パスワード確認:機能別にパスワードを確認するか否かを設定します。</p> <p>V: 該当機能アクセス時、パスワード入力が必要となります。 空白: 該当機能アクセス時にもパスワード入力が不要となります。 管理者、ユーザー別にパスワードを付与し、項目別にアクセス権限設定が行えます。</p>
使用者名変更	ユーザーアカウントを設定します。(USER1, 2, 3は アカウント名変更可能)
使用者パスワード	管理者及びユーザー1~3のパスワードは変更可能です。 (デフォルトパスワードは全て“1111”です。)

ユーザー

現在

新

確認

OK キャンセル

データ検索
権限

録画再生時の画面非表示機能を設定します。

	1	2	3	4	5	6	7	8
ADMIN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

OK キャンセル

V: 再生した時該当チャンネルの映像が見られます。
空白: 再生した時該当チャンネルの映像は見られません。

遠隔監視
権限

ユーザー別・チャンネル別ネットワークを通した ライブアクセス権限を設定

	1	2	3	4	5	6	7	8
ADMIN	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
USER3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

OK キャンセル

V: 再生した時該当チャンネルの映像が見られます。
空白: 再生した時該当チャンネルの映像は見られません。

遠隔監視時間制
限
(遠隔プレーバック
タイムアウト)

ネットワーク経由での録画データの再生時、自動タイムアウト時間を選択できます。
使用しない / 5分 / 10分 / 15分 / 30分 / 60分

USB認証読込

使用しません。

DEBUG PORT

使用しません。

HTTPS使用

WEBアクセス時のHTTPS(セキュア)設定を行います。
「ON」に設定した場合、HTTPSでのアクセスが可能となります。


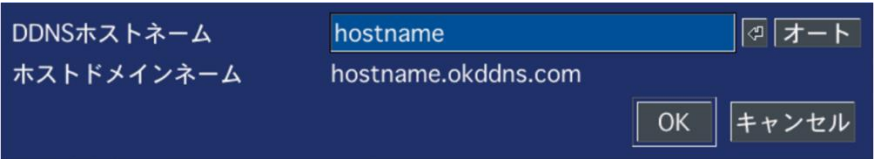

7-7. ネットワーク設定

製品のネットワーク接続の環境設定をします。

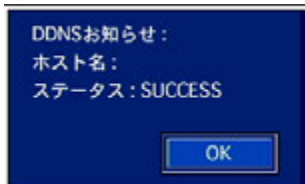


図 ネットワーク設定画面

表 ネットワーク設定説明

メニュー	説明
ポート番号	クライアントソフトアクセス用ポート番号を設定します。(デフォルト: 5445)
ネットワークオーディオポート	音声ポートはポート番号の次の値に自動設定されます。(デフォルト: 5446)
WEBポート	WEB Clientアクセス時の使用ポートを設定します。(デフォルト: 80) セキュアアクセスを行う場合は443ポートを80ポートの代わりに使用出来ます。 ※セキュアアクセスを行う場合は「https://」でアクセスしてください。
ネットワークタイプ	使用するネットワークの種類を選択(固定 / DHCP) 固定をご使用ください。
IPアドレス	使用しているネットワークに合わせIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	使用しているネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	使用しているネットワークのゲートウェイを入力します。
DNS(第1)	一つ目のドメインサーバーを設定します。(推奨値: 168.126.63.1)
DNS(第2)	二つ目のドメインサーバーを設定します(推奨値: 168.126.63.2)
DDNS	録画機本体で無償のDDNSアドレスが取得できます。 DDNS取得方法 サーバー3を選択します。 サーバー3選択後、右の  ボタンを押すとDDNSドメインの登録が行えます。   ボタンを押すとキーボードが表示されます。

登録したいドメイン名を入力または、オートボタンを押すと自動でドメイン名を設定します。設定後OKボタンを押してください。
サーバーへ登録するには画面下部の設定メニューのOKボタンを押し、設定保存を行ってください。
正常に登録されると、画面上に図のように登録完了メッセージが表示されます。



注意：ドメイン名が重複している場合は登録が行えません。

ネットワーク ストリーム


ネットワークで伝送される映像フレーム及び速度を設定します。

	NET RESOLUTION	フレームレート	画質
ALL	640x360	15 FPS	最高画質
1	640x360	15 FPS	最高画質
2	640x360	15 FPS	最高画質
3	640x360	15 FPS	最高画質
4	640x360	15 FPS	最高画質

Buttons: OK, キャンセル

P2Pサービス

P2Pサービスはネットワーク設定を行わずにスマートフォンからの遠隔アクセスを可能にする遠隔アクセス方法です。

P2Pサービスを「ON」へ変更後、右側の  ボタンを押し、ログイン画面を表示します。

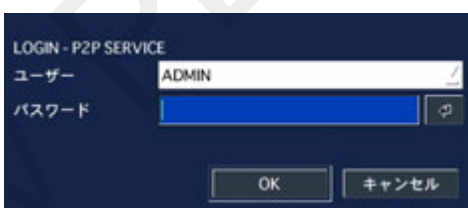
ログインを行うとQRコードが表示されます。(ANDROID / iOS / P2P ID)

ご使用になるスマートフォンのOSのQRコードを読み込むことでアプリケーションのダウンロード画面にアクセスする事が出来ます。アプリケーションインストール後、Androidでは登録時にP2Pを選択、iOSでは情報登録画面でP2P Useを選択後、QRコードアイコンをタップする事でQRコード読取画面に切替わり、P2P IDを読み込むと情報が登録されます。

パスワード欄に使用する権限者パスワードを入力し、情報を登録することで設定したスマートフォンから本製品にアクセスが可能となります

※DVRとルーターをLANケーブルでの接続が必要です

P2P接続では音声出力及び録画データのバックアップは行えません。



※ 遠隔監視設定時、指定ポートを基準として、下記のようにルーターへポート設定を行ってください。

- + 基本ポート(5445)：ビデオ+バックアップ他
- + 基本ポート + 1 (5446)：音声受信(DVR側の音声出力)
- + ウェブポート(80)：WEBビューア及び遠隔設定(セキュアアクセスの場合は443ポート)

7-8. 設定管理

録画機の設定保存及び、設定初期化などを行います。



図 設定管理画面

表 設定説明

メニュー	説明
USBへ設定保存	製品の設定値を USBメモリに現在の録画機設定を保存します。
USBから設定読込	USBメモリに保存した録画機の設定値を録画機に適用します。
使用者設定を戻す	一部の機能を除いた値がデフォルト値に変更されます。 (パスワード・日付形式・サマータイム・ネットワーク設定・HDD上書きなどの機能は変更されません。)
工場出荷時に戻す	録画機の設定値を工場出荷値に初期化します。(全ての値に適用されます)
ソフトウェアアップグレード	USBメモリからフォームウェアを最新バージョンにアップグレードします。 <div data-bbox="443 1460 852 1809" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> モデル名 NH-0842U 現在のソフトウェア Ver 3.7.2_20130430 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 0% </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 5px;"> スキャン キャンセル </div> </div>

7-9. IPカメラ

IPカメラの検索及び登録を行います。

IPカメラ以外にもVPLUS製DVR(VAH、VAF、VHXシリーズ)の指定チャンネルを登録する事が可能です。



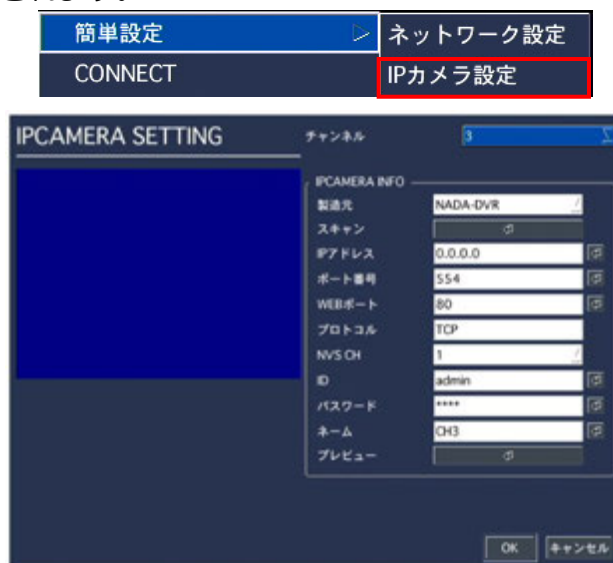
図 IPカメラ設定画面

表 設定説明

メニュー	説明
チャンネル	IPカメラを登録するチャンネルを選択します。
製造元	登録するカメラのメーカー名を選択します。 ※通常はONVIFを指定してください。
スキャン	ネットワーク上のカメラをスキャンします。 カメラがリストに表示されない場合は製造元を変更して再度お試しください。
IPアドレス	登録するIPカメラのIPアドレスを入力します。 スキャン結果から選択している場合は自動的にカメラのIPアドレスが入力されます。
ポート番号	登録するIPカメラのポート番号を入力します。 スキャン結果から選択している場合は自動的にカメラのポート番号が入力されます。
WEBポート	登録するIPカメラのIPアドレスを入力します。 スキャン結果から選択している場合は自動的にカメラのIPアドレスが入力されます。
プロトコル	通信プロトコルを選択します。(TCP・UDP) スキャン結果から選択している場合は自動的に入力されます。
NVS CH	製造元でNADA-DVRを選択している場合に表示されます。 接続先のチャンネルを選択します。
ID	接続するカメラ及びDVRの管理者IDを入力します。
パスワード	接続するカメラ及びDVRの管理者パスワードを入力します。

7-10. 簡単設定 IPカメラ

ハイブリッド設定にてIPカメラチャンネルを設定後、ポップアップメニュー内の簡単設定にIPカメラ登録メニューが追加されます。



チャンネル	IPカメラを登録するチャンネルを選択します。
製造元	登録するカメラのメーカー名を選択します。※通常はONVIFを指定してください。
スキャン	ネットワーク上のカメラをスキャンします。 カメラがリストに表示されない場合は製造元を変更して再度お試しください。
IPアドレス	登録するIPカメラのIPアドレスを入力します。 スキャン結果から選択している場合は自動的にカメラのIPアドレスが入力されます。
ポート番号	登録するIPカメラのポート番号を入力します。 スキャン結果から選択している場合は自動的にカメラのポート番号が入力されます。
WEBポート	登録するIPカメラのIPアドレスを入力します。 スキャン結果から選択している場合は自動的にカメラのIPアドレスが入力されます。
プロトコル	通信プロトコルを選択します。(TCP・UDP) スキャン結果から選択している場合は自動的に入力されます。
NVS CH	製造元でNADA-DVRを選択している場合に表示されます。 接続先のチャンネルを選択します。
ID	接続するカメラ及びDVRの管理者IDを入力します。
パスワード	接続するカメラ及びDVRの管理者パスワードを入力します。
ネーム	表示チャンネル名を変更する事ができます。変更する際に1秒間録画が止まります。
PROFILE	ONVIFカメラ設定時のみ表示されます。カメラ側のプロファイルを指定します。
SET UP (ONVIF SET UP)	カメラの画質やビットレート、フレームレート等を変更します。 カメラによっては正常に設定値が反映されない場合がございます。
プレビュー	設定内容にてカメラに正常にアクセスが行えている場合、ウインドウ上にカメラの映像が表示されます。

8. ネットワーククライアント概要

本製品にはネットワークまたはインターネット回線を使用して遠隔地より録画機へアクセスするネットワーククライアント機能を備えています。

ネットワーククライアント機能を使用するには初めにDVRへIPアドレス等のネットワーク設定を行い、インターネット経由でのアクセスを行うにはご使用のルーター側でポート設定を行って下さい。

DVRのネットワーク設定は取扱説明書のネットワーク項目をご参照ください。

また、DVRへのアクセスにはパソコンでは付属のクライアントソフトウェア「UMS Client」と最大16台のDVRを一括管理し、最大256台の映像表示が可能な「UMS Multi Client」ブラウザからはActiveXを使用するウェブクライアントアプリケーションの「WEB Client」が使用できます。

スマートフォンでは「iUMS」(Android / iOS)を使用します。

パソコンからのアクセスには下記の最少環境以上のパソコンをご使用ください。

[推奨されるPCの仕様と最小限必要な構成]

	最少環境	推奨環境
搭載OS	Windows Vista以降	Windows 7以降
CPU	Core-i3 @1.8GHz以上	Core-i5 @3.3GHz相当以上
メモリ	1GB	2GB以上
ビデオメモリ	512MB	512MB以上
HDD容量	50MB	2GB以上
表示解像度	1280x720	1920x1080
DirectXバージョン	DirectX 9.0c 以降	
ネットワーク	Ethernet 10/100B-TX	

注意：上記の推奨環境以上のパソコンをご使用の場合でも、回線速度により正常に表示されない場合がございます。

その場合、DVR本体のネットワーク設定で最大通信速度の変更をお試しください。

8-1. WEB Clientの特徴

- ・ ActiveXをサポートしたブラウザからのアクセス
- ・ 最大16台までのライブ映像の表示及び、録画データの検索と再生
- ・ パソコン上への録画データバックアップ及び、スナップショットの保存
- ・ PTZカメラ制御
- ・ 音声出力及び、ライブ音声、録音データの再生
- ・ 録画状態及び、アラーム状態の表示

8-2. WEB Clientへの接続

・ WEB Clientへアクセスするには下記の対応したブラウザをご使用ください。

- ・ 接続可能なウェブブラウザ
- ・ Microsoft Internet Explorer
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Google Chrome
- ・ Apple Safari

※Chromeを使用するにはActiveXをサポートしたプラグインが必要です。

- ・ ブラウザ起動後、ブラウザのアドレスバーに、DVRに設定したIPアドレスまたはDDNSアドレスとウェブサーバーポートを入力します。

 http://192.168.1.123:80/

- ・ アドレスを入力する際、上図のようにIPアドレスの前に「http://」を入力します。
- ・ アドレスの後に「:(コロン)」を入力しウェブサーバーポートを入力します。

例:)DVRへ設定されたIPアドレスが「192.168.1.200」、ウェブポートが8080の場合は
「http://192.168.1.200:8080」と入力します。

例:)DVRへ設定されたDDNSアドレスが「xxxx.okddns.com」、ウェブポートが8082の場合は
「http://xxxx.okddns.com:8082」と入力します。

※ウェブサーバーポートが80ポートに設定されている場合、ポート番号は省略することができます。

8-3. インストールと起動

【Microsoft Internet Explorerを使用する場合】

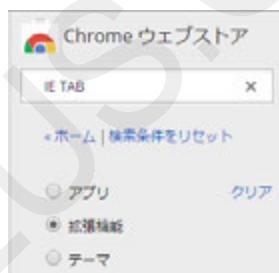
- WEB Viewerが起動すると下図のようにActiveX経由でソフトウェアインストールの確認画面が表示されます。
- 指示に従いソフトウェアのインストールを行って下さい。※初回アクセス時のみ



【Google Chromeを使用する場合】

Chromeを使用してアクセスするにはActiveXをサポートしたプラグイン「IE Tab」のインストールを行って下さい。インストール方法は下記の通りです。

- Chromeを起動します。
- アドレスバーに「<https://chrome.google.com/webstore/category/apps>」を入力し、Chromeウェブストアにアクセスします。
- Chromeウェブストア内で拡張機能にチェックを入れ「IE Tab」を検索します。



- 下図の検索結果が表示されますので、Chromeに追加をクリックし、IE Tabを追加して下さい。



- IE Tabが追加されるとアドレスバー右側にアイコンが表示されます。
- アイコンをクリックするとIE Tabでページを自動再読み込みします。

※初回時、追加ソフトウェアのインストールが必要になります。



- IE Tabで読み込み後は、Internet Explorerと同様方法でDVRへアクセスを行い、ActiveX経由でソフトウェアのインストールを行って下さい。

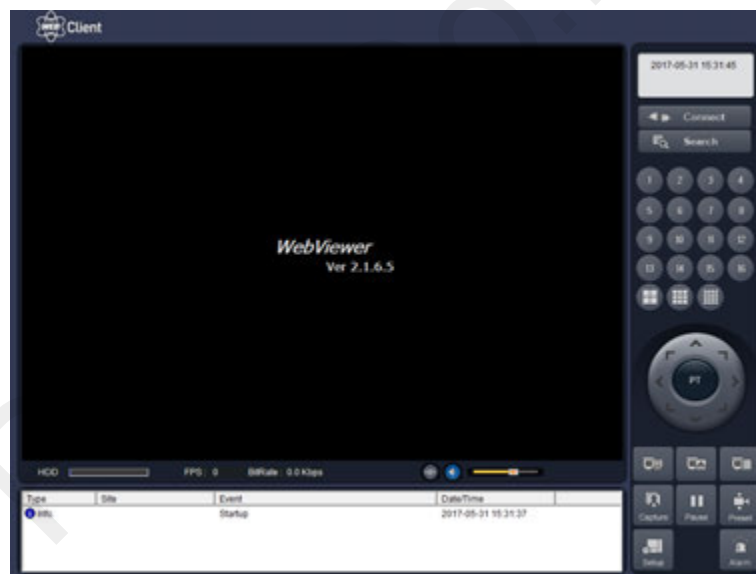
[Mozilla Firefox / Apple Safariを使用する場合]

- ・ Firefox、SafariでDVRへアクセスすると「UMS library plugin」のインストール画面が表示されます。
- ・ 画面の指示通りにプラグインをダウンロードし、インストールを行ってください。(初回のみ)



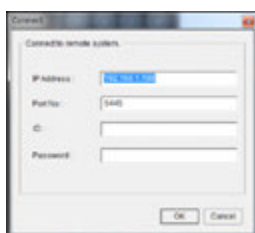
8-4. WEB Clientの基本操作

- ・ ブラウザから「WEB Client」を起動すると下図の画面が表示されます。



8-4-1. ログイン

- ・ WEB Client起動後、Connect ボタンを押すと下図のログイン画面が表示されます。



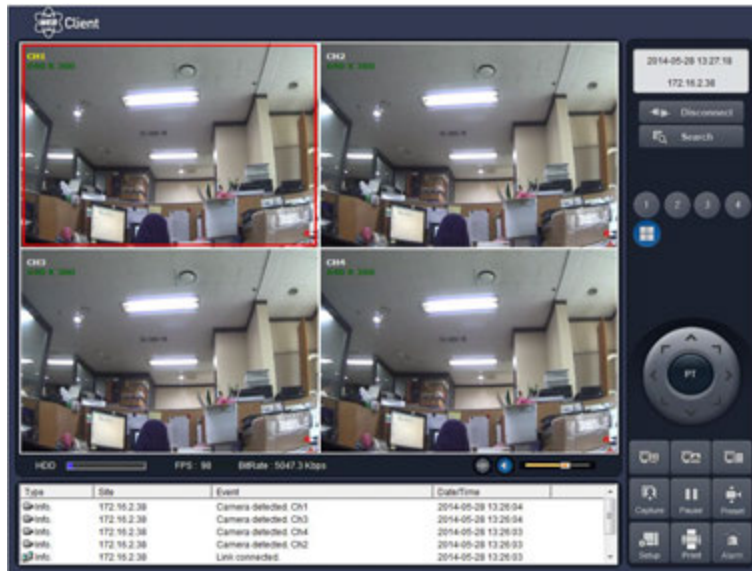
接続先アドレス：接続したDVRのIPアドレスまたはDDNSアドレスが表示されます。

ポート番号：接続したDVRのポート番号を入力します。(初期入力値:5445)

ID：アクセスしたDVRに登録されているユーザー名を入力します。

Password：入力したユーザーに設定されているパスワードを入力します。

- ・ 各項目を入力後、OKボタンを押すとログインを行い、ビデオウィンドウに映像が表示されます。
- ・ Cancelボタンを押すとログイン画面を終了します。






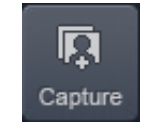
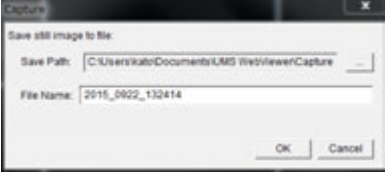
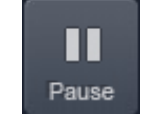
[ログイン後、映像表示]

- ・ビデオウィンドウには各チャンネルの名称・解像度・録画アイコンが表示されます。

8-4-2. 操作ボタン

- ・WEB Clientライブモードの各ボタン名称と機能は以下の通りです。

ボタン	名称	機能
	日時ウィンドウ	現在日付と時間を表示します。
	Connectボタン Disconnectボタン	Connectボタンを押すとログイン画面を表示します。 Disconnectボタンを押すと接続されているDVRとアクセスを終了します。
	Searchボタン	Searchボタンを押すと検索モードに切替わります。
	画面切換えボタン	数字ボタンを選択すると、該当チャンネルを全画面表示します。 全画面表示中に選択すると分割画面に切替えます。 ※ビデオウィンドウ上のチャンネルをダブルクリックすると全画面表示と分割画面の切換えを行うことが可能です。

	<p>PTZ 制御ボタン (左：PTモード時) (右：ZFモード時)</p>	<p>PTZカメラが接続されている場合、カメラの操作を行います。 PT表示時はカメラの向きを矢印の方向に変更します。 PT操作時に真中のボタンを押すとレンズ調整を操作する ZFモードに切替わります。 ZFモード時に真中のボタンを押すとPTモードに切替わります。</p>
	<p>Scanボタン</p>	<p>選択するとPTZ制御ボタンをScanモードに切替えます。 ■ボタンを押すとスキャンを開始します。 ■ボタンを押すとスキャンを終了します。</p>
	<p>ツアーボタン</p>	<p>選択するとPTZ制御ボタンをツアーモードに切替えます。 ■ボタンを押すとスキャンを開始します。 ■ボタンを押すとスキャンを終了します。</p>
	<p>カメラOSDボタン</p>	<p>選択するとPTZカメラの設定メニューを表示し、 PTZボタンをメニュー選択モードに切替えます。 方向ボタン：矢印の方向にカーソルを移動します。 Selectボタン：選択した項目を決定します。 ESCボタン：前の画面に戻ります。</p>
	<p>Captureボタン</p>	<p>選択したチャンネルの静止画(BITMAP形式)を保存します。</p>  <p>Save Path：保存先フォルダを選択できます。 File Name：保存するファイルの名前を入力できます。</p>
	<p>Pauseボタン</p>	<p>選択すると全チャンネルの映像を一時停止します。 再度選択すると解除します。</p>

 	プリセットボタン	<p>選択するとPTZ制御ボタンをプリセットモードに切替えます。 方向ボタン：プリセット番号を選択します。(最大99)  選択した番号に現在のカメラの向きを登録します。  選択した番号に登録されている向きにカメラを移動します。</p>
	SETUPボタン	WEB SETUPページを開きます。
	アラームボタン	<p>選択するとDVRのアラーム出力に接続された機器へアラーム出力を行います。 再度選択すると解除します。</p>
	HDD使用率	搭載されているハードディスクの使用率を表示します。
	送信量表示	DVRから送信されている全体のフレーム数と全体ネットワーク量を表示します。
	オーディオ	<p>音声のオンオフ及び、調整を行います。  ボタンを選択するとパソコンに接続されたマイクの音声をDVRに接続されたスピーカーより出力します。  ボタンを選択すると音声出力のオンオフを切替えます。  スライダーを動かすことで音量を調整できます。</p>
	ログ画面	WEB Client及び、DVRのログを表示します。

8-4-3. ポップアップメニュー

- ・ビデオウインドウ上でマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。

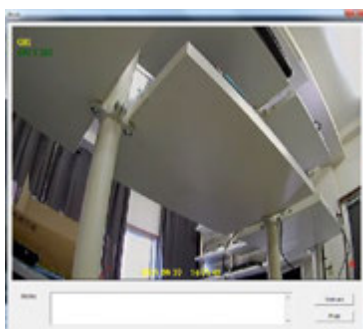
High Quality ▶ : 「ALL Channel」を選択すると全チャンネルを「Selected Channel」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を最高設定へ変更します。

Normal Quality ▶ : 「ALL Channel」を選択すると全チャンネルを「Selected Channel」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を標準設定へ変更します。

IFrame Only ▶ : 「ALL Channel」を選択すると全チャンネルを「Selected Channel」を選択すると選択したチャンネルの表示をIフレームのみの表示へ変更します。

IP Camera Setup : IPカメラの設定の際に使用します。(通常は使用しません。)

Print : 選択すると選択されたチャンネルの映像をプリントします。



Memo : 入力すると画像に合わせてプリントされます。

Reload : 画像を再読み込みします。

Print : プリンターへ出力します。

注意：画質はポップアップメニューで設定した画質が反映されます。

Resolution : ビデオウィンドウ上に現在の表示解像度の表示選択を行います。

Aspect Ratio : 映像のアスペクト比を変更します。(FIT Screen、WIDE Screen)

8-4-4. デジタルPTZ


- ・全画面表示中ビデオウィンドウ上でマウスのスクロールを回すとデジタルズームを行います。

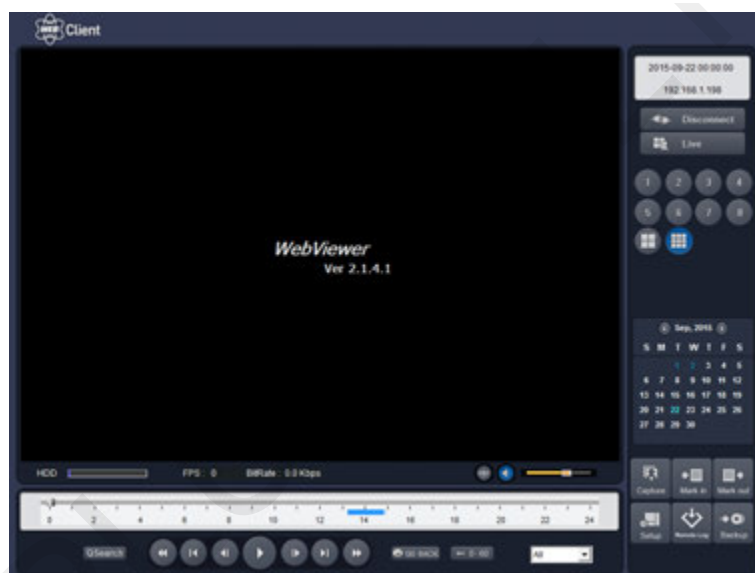


デジタルズームを行うと左下にズームを行っている範囲が表示されます。

デジタルズーム中にドラックしながらマウスを動かすと画面上表示箇所を動かす事が出来ます。

8-5. 録画検索モード操作方法

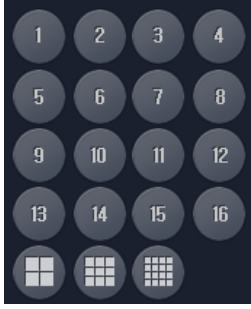

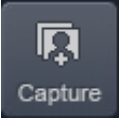
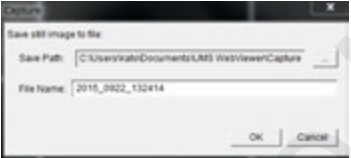





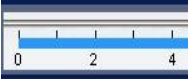

- ・ライブモード時に  Search ボタンを押すと下図の録画検索モードに切替わります。

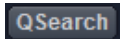
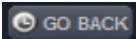
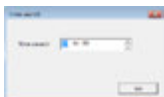
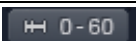



8-5-1. 操作ボタン

- ・WEB Client録画検索モードの各ボタン名称と機能は以下の通りです

メニュー	機能	説明
	日時ウィンドウ	再生中の録画データの日時を表示します。
	Disconnectボタン	Disconnectボタンを押すと接続されているDVRとアクセスを終了します。
	Liveボタン	ライブモードに切替えます。

	画面切換えボタン	数字ボタンを選択すると、該当チャンネルを全画面表示します。全画面表示中に選択すると分割画面に切替えます。
	カレンダー	カレンダー上から検索する日付を選択します。録画データが保存されている場合、青色で表示されます。
	Captureボタン	<p>選択したチャンネルの静止画(BITMAP形式)を保存します。</p>  <p>Save Path : 保存先フォルダを選択できます。 File Name : 保存するファイルの名前を入力できます。</p>
	Mark inボタン	選択すると現在の時刻をバックアップの開始時刻に選択します。
	Mark outボタン	選択すると現在の時刻をバックアップの終了時刻に選択します。
	SETUPボタン	WEB SETUPページを開きます。
	Remote Logボタン	選択すると接続しているDVRのログの検索画面を表示します。
	Backupボタン	選択するとバックアップを行います。バックアップボタン選択前にMark in/outボタンでバックアップの選択範囲を行って下さい。
	タイムバー	0時から24時までの時間、分を選択できます。録画されている時間は青色で表示されます。
	再生コントロールボタン	再生及び巻き戻し、早送り等を行います。

	Quick Searchボタン	サムネイル上から検索を行います。 選択するとビデオウィンドウ上に選択した日付の録画データを1時間ごとの映像をサムネイル表示します。 1時間毎に表示されたサムネイルをダブルクリックすると2分30秒ごとにサムネイル表示を行います。 表示されたサムネイルをダブルクリックすると再生を行います。
	GO BACKボタン	選択すると時刻選択ウィンドウが表示されます。 入力後、OKボタンを押すと入力時刻のデータを再生します。 
	タイムバー表示切替え	タイムバーの表示間隔を分表示に切替えます。
	チャンネル選択	タイムバー上に表示するチャンネルの選択を行います。

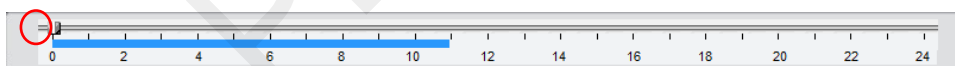
8-6. 録画データ検索・再生・バックアップ

録画検索モードでは接続したDVRの録画データの検索、再生、バックアップを行う事が出来ます。

8-6-1. 録画データの検索と再生方法











- 映像検索を行う日付をカレンダーから選択します。
- 日付を選択するとタイムバー上に録画されている時間が青色で表示されます。
スライダーを動かして、再生を行う時刻に移動させます。
(表示切替えて分表示に切替えが行えます。)



- 時刻設定後、再生ボタンを押すと、指定された時刻の映像が再生されます。
再生時は再生コントロールボタンで操作を行います。

再生コントロールボタン

	巻戻しボタン	選択すると巻戻を行います。 巻戻し中に再度押すと、倍速が変更されます。 (x1/x2/x4/x8/x16/x32 x32は1画面表示中のみ)
	1分戻しボタン	選択すると現在の時刻から1分前に戻します。
	1フレーム戻しボタン	選択すると一時停止を行い、1フレーム戻します。

	再生ボタン	再生以外の操作時に押すと標準倍速再生を行います。 再生中は一時停止ボタンに切替わります。
	一時停止ボタン	
	1フレーム進みボタン	選択すると一時停止を行い、1フレーム進めます。
	1分進みボタン	選択すると現在の時刻から1分前に戻します。
	早送りボタン	選択すると早送りをを行います。 早送り中に再度押すと、倍速が変更されます。 (x2/x4/x8/x16/x32 x32は1画面表示中のみ)

8-6-2. ポップアップメニュー

- ・ビデオウィンドウ上でマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。

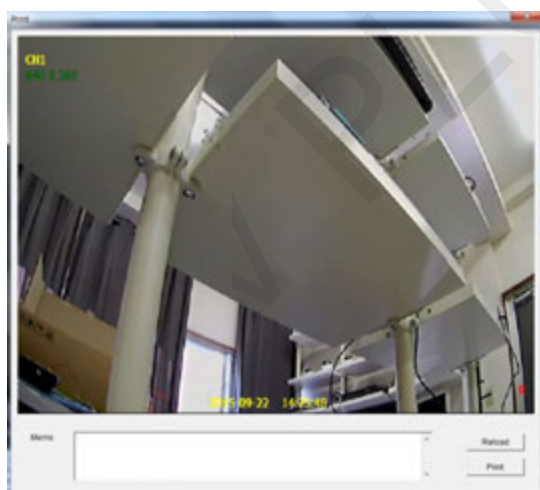
High Quality ▶ : 使用しません

Normal Quality ▶ : 使用しません。

IFrame Only ▶ : 「ALL Channel」を選択すると全チャンネルを、「Selected Channel」を選択すると選択したチャンネルの表示をIフレームのみの表示へ変更します。

IP Camera Setup : IPカメラの設定の際に使用します。(通常は使用しません。)

Print : 選択すると選択されたチャンネルの映像をプリントします。



Memo : 入力すると画像に合わせてプリントされます。

Reload : 画像を再読み込みします。

プリント : プリンターへ出力します。

注意 : 画質はポップアップメニューで設定した画質が反映されます。

Resolution : ビデオウィンドウ上に現在の表示解像度の表示選択を行います。

Aspect Ratio ▶ : 映像のアスペクト比を変更します。(FIT Screen、WIDE Screen)

8-6-3. デジタル PTZ

- ・全画面表示中ビデオウィンドウ上でマウスのスクロールを回すとデジタルズームを行います。
デジタルズームを行うと左下にズームを行っている



範囲が表示されます。
デジタルズーム中にドラックしながらマウスを動かすと画面上表示箇所を動かす事が出来ます。

8-7. 録画データのバックアップ

・DVRに保存された映像をパソコン上に AVIファイル形式でバックアップすることができます。

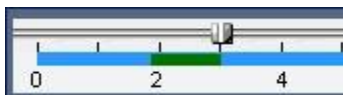
1. バックアップを行う日付をカレンダーで選択します。
2. タイムバー上のスライダーを動かし、バックアップ開始時刻に合せMark inボタンを選択します。



3. 再度スライダーを動かし、バックアップ終了時刻に合せMark outボタンを選択します。



4. Mark outボタンを押すと選択した範囲が緑色に変わります。

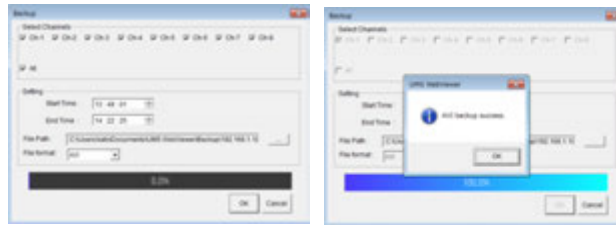


5. バックアップ範囲選択後Backupボタンを選択します。



6. Backupボタン選択後、Backupウィンドウが表示されます。
7. バックアップウィンドウ上で、バックアップを行うチャンネル及び詳細な時間、

バックアップファイルの保存先を選択します。



Select Channel : バックアップを行うチャンネルを選択します。

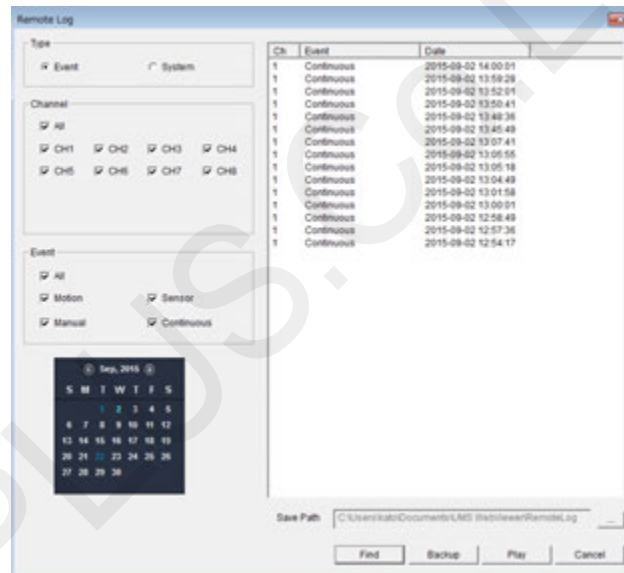
Start Time / End Time : バックアップする開始/終了時間を変更することができます。

File Path : バックアップファイルの保存先を選択できます。

- 情報入力後、OKボタンを押すとバックアップを開始します。終了後、終了メッセージが表示されます。

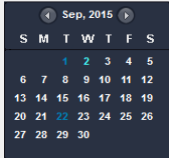
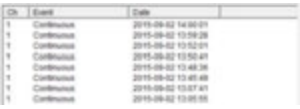
8-8. Remote log

- Remote Logボタンを押すと録画機の各イベントログの検索が行えます。



各名称及び機能説明

<p>Type</p> <p><input checked="" type="radio"/> Event <input type="radio"/> System</p>	<p>Type</p>	<p>検索するログタイプを各種イベントまたはシステムイベントから選択します。</p>
<p>Channel</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> All</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> CH1 <input checked="" type="checkbox"/> CH2 <input checked="" type="checkbox"/> CH3 <input checked="" type="checkbox"/> CH4</p>	<p>Channel</p>	<p>検索するチャンネルを選択します。</p>
<p>Event</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> All</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Motion <input checked="" type="checkbox"/> Sensor</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Manual <input checked="" type="checkbox"/> Continuous</p>	<p>Event</p>	<p>TypeでEventを選択した場合のみ選択します。検索するイベントタイプを選択します。</p>

	カレンダー	検索する日付をカレンダーより選択します。
	リストウィンドウ	検索結果をリストウィンドウに表示します。
Save Path C:\Users\kato\Documents\UMS\	Save Path	ログファイルの保存先を変更できます。
<input type="button" value="Find"/>	Findボタン	選択すると設定条件で検索を行います。
<input type="button" value="Backup"/>	Backupボタン	リストウィンドウに表示されたログを指定した保存先へバックアップします。
<input type="button" value="Play"/>	Playボタン	リストウィンドウでイベントを選択すると選択したイベントの録画データを再生します。
<input type="button" value="Cancel"/>	Cancelボタン	Remote Logウィンドウを終了します。

9. WEB SETUP(遠隔設定)

- WEB ClientのSETUPボタンを押すとDVR本体の設定変更が行えるWEB SETUPを開きます。
- 設定内容はDVR本体と同じです。
- 設定を不用意に変更するとDVRが正常に動作を行えなくなる場合がございます。

WEB SETUP (ver 1.19.5)

PASSWORD:

[Secure Access - HTTPS](#)

- 設定を行うには管理者パスワードを入力し、ログインを行います。
- Secure Access -HTTPSを使用する場合には443ポートをルーターで設定してください。

注意：DVR本体で設定メニューを開いている場合は、WEB SETUPにログインする事が出来ません。

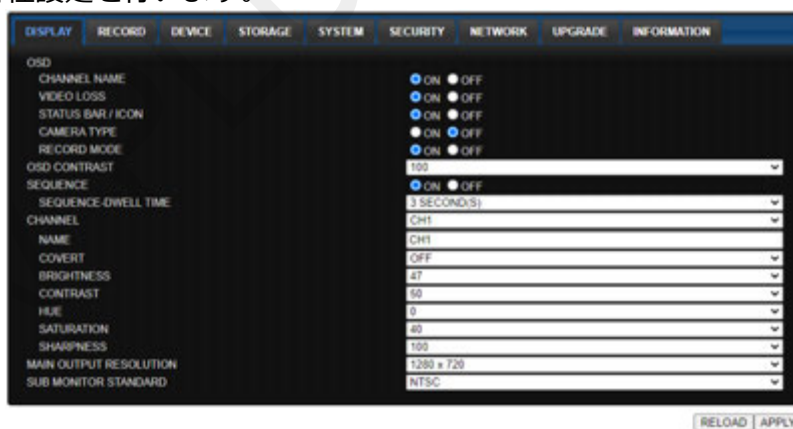
WEB SETUP (ver 1.10.12)

PASSWORD:

THE SYSTEM IS NOT IN THE LIVE MODE.
REMOTE SETUP IS PROHIBITED AT THIS TIME.

9-1. DISPLAY

- ・画面表示の各種設定を行います。



9-2. RECORD

- ・録画設定を行います。



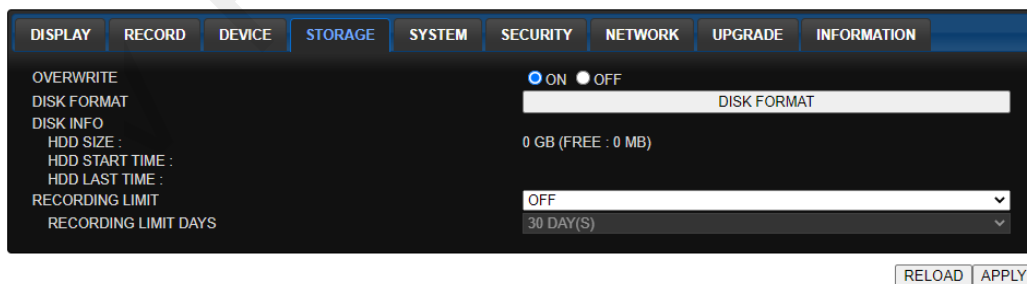
9-3. DEVICE

- ・接続した機器やモーション検知の設定を行います。



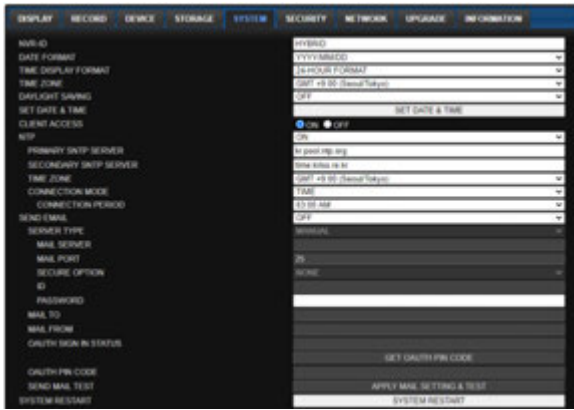
9-4. STORAGE

- ・記録装置の設定を行います。



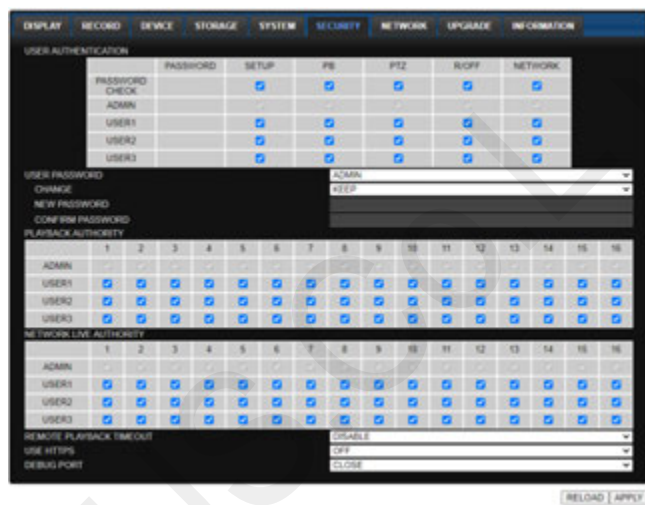
9-5. SYSTEM

- ・システム設定を変更することができます。



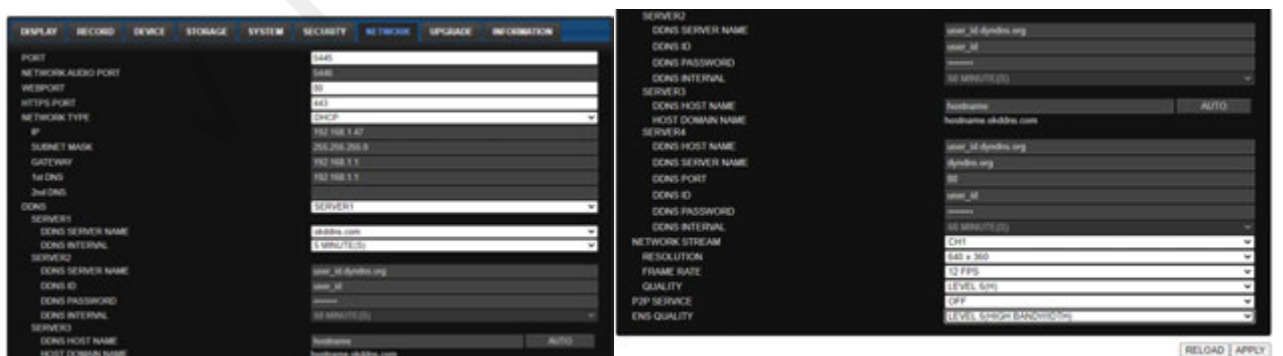
9-6. SECURITY

ユーザー設定や権限設定を設定します。



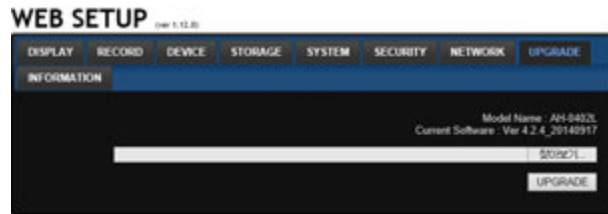
9-7. NETWORK

・DVRのネットワーク設定を設定します。



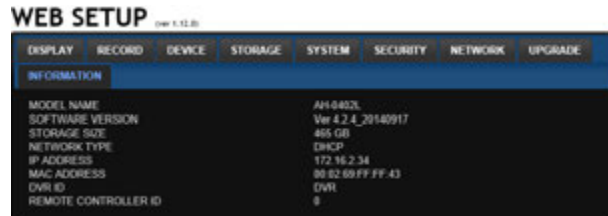
9-8. UPGRADE

現在のバージョンを表示します。またソフトウェアアップグレードを行います。



9-9. INFORMATION

DVRのシステム情報を表示します。



10. UMS Clientの特徴

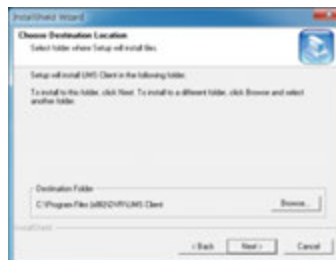
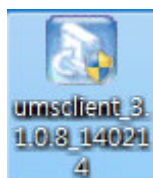
- ・最大16台までのライブ映像の表示及び、録画データの検索と再生
- ・パソコン上への録画データバックアップ及び、スナップショットの保存
- ・PTZカメラ制御
- ・音声出力及び、ライブ音声、録音データの再生
- ・録画状態及び、アラーム状態の表示

10-1. UMS Clientのインストールと起動

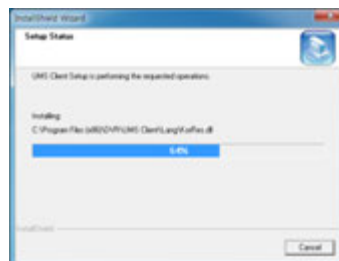
- ・ UMS Clientは付属のCDからインストールします。

10-1-1. UMS Clientのインストール

1. 付属CDより "umsclient_x.x.x.x_xxxxxx.exe" ファイルを選択し、起動します。
2. ソフトウェアのインストール先フォルダを指定し、 "Next"ボタンを選択します。




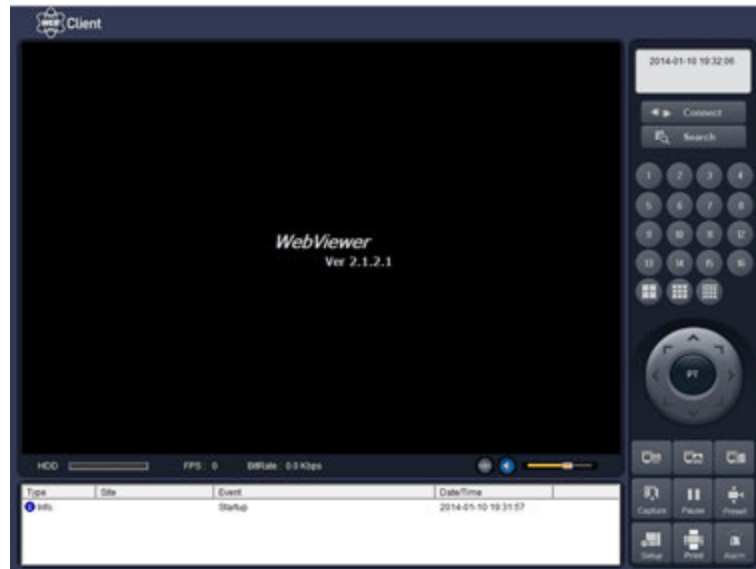
3. インストールするプログラム名を確認し、"Next"を選択します。
"Next"を選択するとインストールが開始されます。



4. インストール完了後、デスクトップにショートカットアイコンが自動的に作成されます。


10-1-2. UMS Clientの起動

- ・デスクトップに作成されたアイコン  を選択し、起動します。



[UMS Client 起動画面]

10-2. UMS Clientの設定

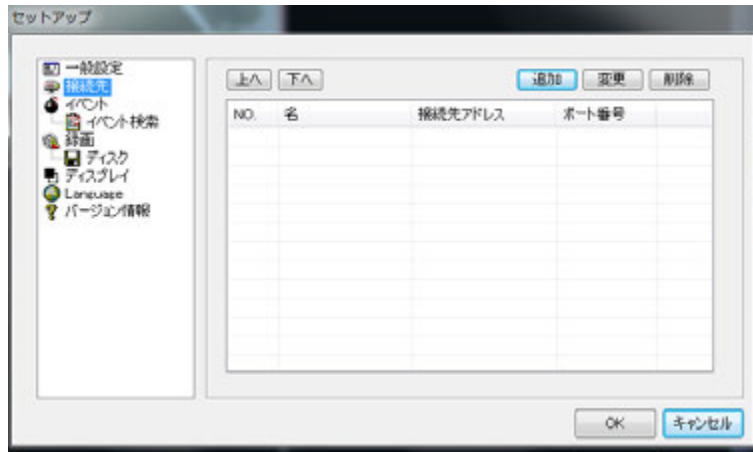
-  ボタンを選択するとUMS Clientの設定メニューが表示されます。
- 設定変更を行った場合は、ソフトウェアの再起動を行って下さい。

1. 一般設定



- パスワード設定**：選択するとUMS Clientの各機能を使用する際のパスワードを設定できます。パスワードボタンを押すとパスワードが設定できます。
- 保存場所**：UMS Clientで静止画及びバックアップを行った際の保存先を選択できます。
- その他**：選択すると起動後、選択された動作を行います。
 - ネットワーク状態：全チャンネルのフレーム数及び、ネットワーク通信量の表示
 - 自動再接続：接続が切れた場合に、自動的に再接続を行います。
 - Automatic Connection at startup：起動後、最後に接続したDVRへ自動的に接続します。

2. 接続先



- ・ 接続するDVR情報を登録します。登録すると登録した情報がリスト保存されログイン画面で登録した情報をプルダウンリストから参照できます。
- ・ 追加：DVR情報を新規追加します。
- ・ 変更：選択したDVR情報を変更します。
- ・ 削除：選択したDVR情報を削除します。

2.1. 情報登録方法

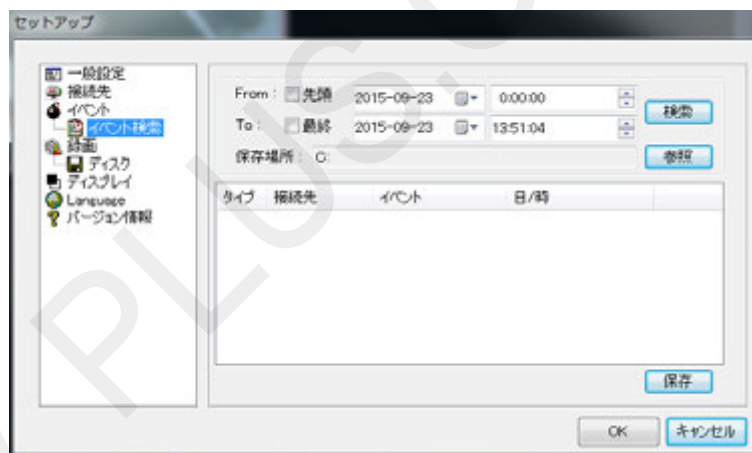
- ・ モデル：DVR / NVRまたはN Series / HD DVRを選択します。
- ・ 接続先名：リスト表示の際の識別用に名称を入力します。
- ・ 接続先アドレス：DVRに設定したIPアドレスまたはDDNSアドレスを入力します。
- ・ ポート番号：DVRに設定したポート番号を入力します。
(初期値：5445)
- ・ ID：使用するユーザー名を入力します。
- ・ パスワード：ユーザー名に設定されているパスワードを入力します。
- ・ ENS(Enhanced Network Service)：チェックを入れることで高画質低ビットレート転送機能を使用します。
※VAP-0815R、VAP-1615Lのみ対応、IPカメラ接続時は使用できません。
- ・ チャンネル：接続するDVRのチャンネル数を選択します。「DVR側のch名を読み込んで表示」を選択するとDVRで設定したチャンネル名称を読み込みます。選択を行わない場合、ウィンドウ上で名称の登録ができます。
- ・ Enable P2P：DVRとP2P接続を行う際にチェックします。チェック後、ポート番号が「5445」から「0」に変わります。P2P接続を行うには「接続先アドレス」にレコーダーのMACアドレス(000269から始まる12桁の英数字)を半角大文字で入力します。(:は不要です。)

3. イベント



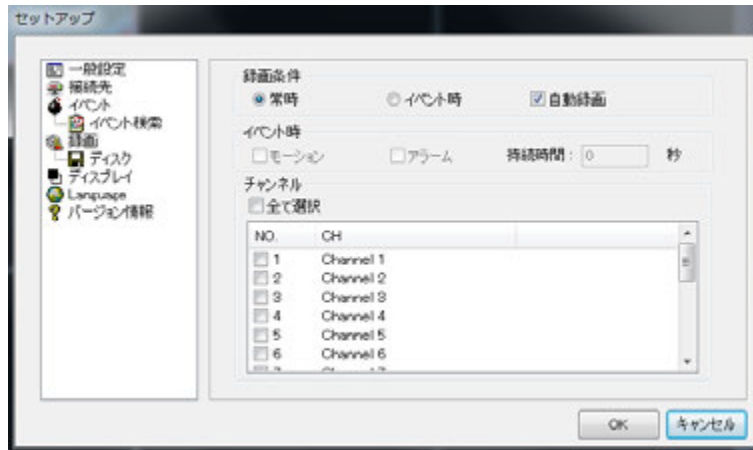
- ・ログ：UMS Clientのログを保存する場合に設定します。
保存場所：ログデータの保存先を選択します。
保存容量：ログデータの保存容量を選択します。(初期値では設定されていません。)
- ・イベント：選択したイベント発生時の動作を選択できます。
ログ：選択すると選択したイベント発生時にログに保存します。
アイコン：選択するとイベント発生時にビデオウィンドウ上にアイコンを表示します。
イベントリスト：選択するとイベント発生時にイベントリストに保存します。

4. イベント検索



- ・イベント項目でイベントリストを選択している場合、イベント検索を行います。
- ・From：検索開始日時を入力します。先頭を選択すると一番古い日時から検索します。
- ・To：検索終了日時を入力します。最終を選択すると最新のイベント発生日時までを検索します。

5. 録画



- ・録画条件：設定条件で録画を行います。(本体の録画設定が常時・モーション・センサー時のみ有効)

常時：録画Onボタンを押すと常時録画を行います。

イベント時：録画Onボタンを押すとイベント発生時に録画を行います。

自動録画：選択すると選択した録画条件で起動後、自動的に録画を行います。

- ・イベント時：録画条件で「イベント時」を選択時、設定できます。

モーション：モーション検知時に録画を行います。

アラーム：アラーム入力時に録画を行います。

持続時間：イベント時の録画時間を設定します。

注意：録画条件はDVR本体で設定した録画モードに合わせてください。

6. ディスク



- ・ディスク容量：保存先のハードディスクと使用するハードディスク容量を設定します。

- ・ディスク情報：選択したハードディスクの総容量と残容量を表示します。

- ・ディスクの容量がいっぱいになった時は：設定した容量上限に達した際の動作を設定します。

古いデータを上書き：一番古いデータから上書きし録画を継続します。

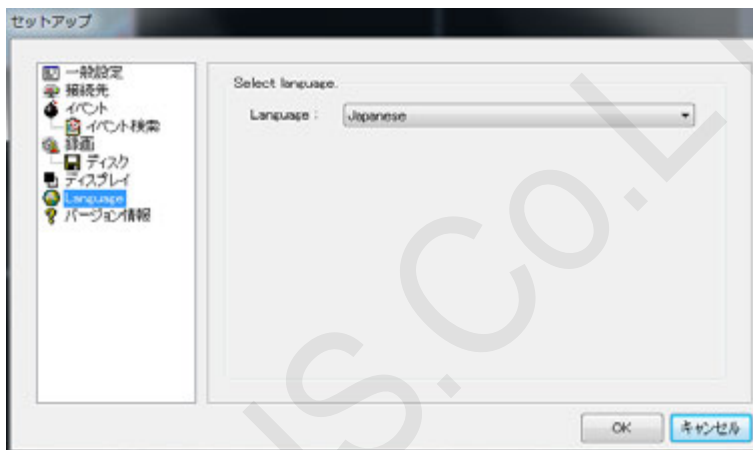
録画を中止：録画を停止します。

7. ディスプレイ



- ・ OSD : 選択すると現在表示している解像度を表示します。
- ・ Display : マルチモニター時、映像表示が乱れる場合に選択します。

8. Language



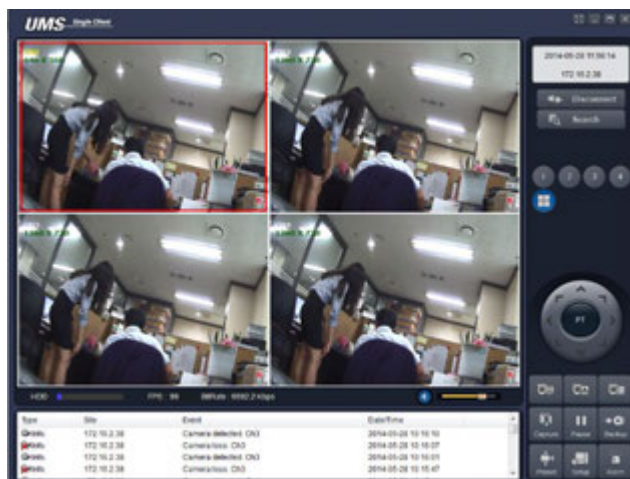
- ・ USM Clientで使用する言語の選択を行います。設定後、ソフトを再起動すると反映されます。

9. バージョン情報



- ・ USM Clientのソフトウェアバージョンを表示します。





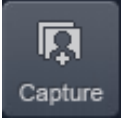
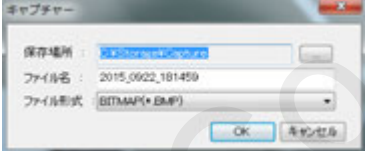
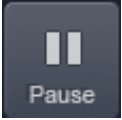




10-3. UMS Clientの基本操作











10-3-1. 操作ボタン

・ UMS Clientライブモードの各ボタン名称と機能は以下の通りです。

ボタン	名称	機能
	日時ウインドウ	現在日付と時間を表示します。
	Connectボタン	Connectボタンを押すとログイン画面を表示します。
	Disconnectボタン	Disconnectボタンを押すと接続されているDVRと接続を終了します。
	Searchボタン	Searchボタンを押すと検索モードに切替わります。
	画面切換えボタン	数字ボタンを選択すると、該当チャンネルを全画面表示します。 全画面表示中に選択すると分割画面に切替えます。 ※ビデオウインドウ上のチャンネルをダブルクリックすると全画面表示と分割画面の切換えを行うことが可能です。
	PTZ 制御ボタン (左：PTモード時) (右：ZFモード時)	PTZカメラが接続されている場合、カメラの操作を行います。 PT表示時はカメラの向きを矢印の方向に変更します。 PT操作時に真中のボタンを押すとレンズ調整を操作するZFモードに切替わります。 ZFモード時に真中のボタンを押すとPTモードに切替わります。
	Scanボタン	選択するとPTZ制御ボタンをScanモードに切り替えます。 ■ボタンを押すとスキャンを開始します。 ■ボタンを押すとスキャンを終了します。

 	ツアーボタン	<p>選択するとPTZ制御ボタンをツアーモードに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボタンを押すとスキャンを開始します。 ▶ ボタンを押すとスキャンを終了します。
 	カメラOSDボタン	<p>選択するとPTZカメラの設定メニューを表示し、PTZボタンをメニュー選択モードに切り替えます。</p> <p>方向ボタン：矢印の方向にカーソルを移動します。</p> <p>Selectボタン：選択した項目を決定します。</p> <p>ESCボタン：前の画面に戻ります。</p>
	Captureボタン	<p>選択したチャンネルの静止画を保存します。</p>  <p>保存場所：保存先フォルダを選択できます。</p> <p>ファイル名：保存するファイルの名前を入力できます。</p> <p>ファイル形式：BITMAPまたはJPEGから選択します。</p>
	Pauseボタン	<p>選択すると全チャンネルの映像を一時停止します。</p> <p>再度選択すると解除します。</p>
	Backupボタン	<p>選択するとパソコン上で録画を行います。</p> <p>録画画質はポップアップメニューで設定した画質となります。</p> <p>録画データは録画検索モードから再生することが可能です。</p> <p>※1.録画を行うには設定メニューで予め設定が必要です。</p> <p>※2.録画検索モード時は録画されません。</p>
 	プリセットボタン	<p>選択するとPTZ制御ボタンをプリセットモードに切替えます。</p> <p>方向ボタン：プリセット番号を選択します。(最大99)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 選択した番号に現在のカメラの向きを登録します。 ▶ 選択した番号に登録されている向きにカメラを移動します。
	SETUPボタン	<p>UMS Clientの設定ページを開きます。</p>

	アラームボタン	選択するとDVRのアラーム出力に接続された機器へアラーム出力を行います。再度選択すると解除します。
	HDD使用率	搭載されているハードディスクの使用率を表示します。
	送信量表示	DVRから送信されている全体のフレーム数と全体ネットワーク量を表示します。
	オーディオ	音声のオンオフ及び、調整を行います。  ボタンを選択するとパソコンに接続されたマイクの音声をDVRに接続されたスピーカーより出力します。  ボタンを選択すると音声出力のオンオフを切替えます。  スライダーを動かすことで音量を調整できます。
	ログ画面	UMS Client及び、DVRのログを表示します。

10-3-2. ポップアップメニュー

・ビデオウインドウ上でマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。

切断 : 選択するとDVRとの接続を終了します。

High Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を最高設定へ変更します。

Normal Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を標準設定へ変更します。

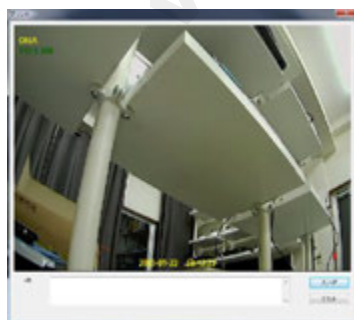
1フレームのみ伝送 ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの表示を1フレームのみの表示へ変更します。

マイクON : 選択するとパソコンに接続されたマイク音声をDVRに接続されたスピーカーへ出力します。再度選択すると出力を停止します。

フルスクリーン : ビデオウインドウをフルスクリーン表示します。
再度選択するか、キーボードのESCボタンを押すと終了します。

Aspect Ratio ▶ : 映像のアスペクト比を変更します。(FIT Screen、WIDE Screen)

プリント : 選択すると選択されたチャンネルの映像をプリントします。



メモ : 入力すると画像に合わせてプリントされます。

リロード : 画像を再読み込みします。

プリント : プリンターへ出力します。

注意 : 画質はポップアップメニューで設定した画質が反映されます。

セットアップ : 選択するとUMS Clientの設定メニューを表示します。

遠隔設定 : 選択するとWEB SETUP画面を開きます。(WEBポートの設定が必要です。)

IP Camera Setup : IPカメラの設定の際に使用します。(通常は使用しません。)

ロック : 選択すると管理者パスワード入力後、USM Clientの操作をロックします。

再度選択すると管理者パスワード入力後、ロックが解除されます。


終了 : 選択するとUMS Clientを終了します。

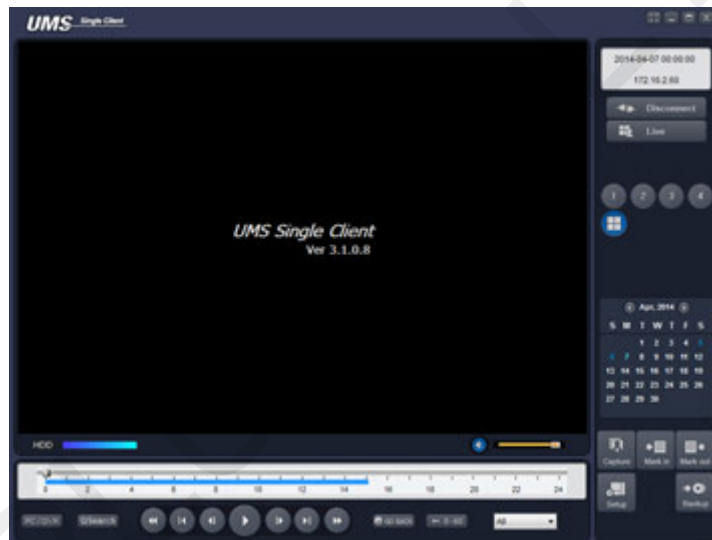
10-3-3. デジタル PTZ

- 全画面表示中ビデオウィンドウ上でマウスのスクロールを回すとデジタルズームを行います。デジタルズームを行うと左下にズームを行っている範囲が表示されます。デジタルズーム中にドラックしながらマウスを動かすと画面上表示箇所を動かす事が出来ます。



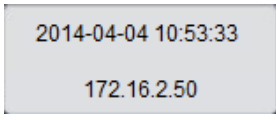
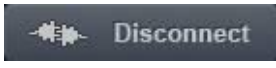

10-4. 録画検索モード操作方法

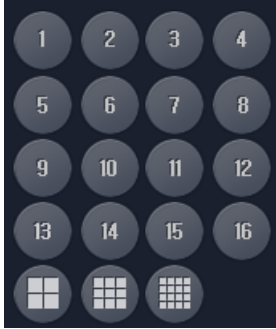

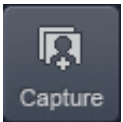








- ライブモード時に  Search ボタンを押すと下図の録画検索モードに切替わります。

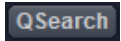

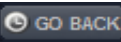
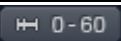
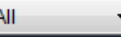


10-4-1. 操作ボタン

- UMS Client録画検索モードの各ボタン名称と機能は以下の通りです

メニュー	機能	説明
	日時ウィンドウ	再生中の録画データの日時を表示します。
	Disconnectボタン	Disconnectボタンを押すと接続されているDVRとアクセスを終了します。
	Liveボタン	ライブモードに切替えます。

	画面切換えボタン	<p>数字ボタンを選択すると、該当チャンネルを全画面表示します。</p> <p>全画面表示中に選択すると分割画面に切替えます。</p>
	カレンダー	<p>カレンダー上から検索する日付を選択します。</p> <p>録画データが保存されている場合、青色で表示されます。</p>
	Captureボタン	<p>選択したチャンネルの静止画を保存します。</p>  <p>保存場所：保存先フォルダを選択できます。</p> <p>ファイル名：保存するファイルの名前を入力できます。</p> <p>ファイル形式：BITMAPまたはJPEGから選択します。</p>
	Mark inボタン	<p>選択すると現在の時刻をバックアップの開始時刻に選択します。</p>
	Mark outボタン	<p>選択すると現在の時刻をバックアップの終了時刻に選択します。</p>
	SETUPボタン	<p>WEB SETUPページを開きます。</p>
	Remote Logボタン	<p>選択すると接続しているDVRのログの検索画面を表示します。</p>
	Backupボタン	<p>選択するとバックアップを行います。</p> <p>バックアップボタン選択前にMark in/outボタンでバックアップの選択範囲を行って下さい。</p>
	タイムバー	<p>0時から24時までの時間、分を選択できます。</p> <p>録画されている時間は青色で表示されます。</p>
	再生コントロールボタン	<p>再生及び巻き戻し、早送り等を行います。</p>

	Quick Searchボタン	サムネイル上から検索を行います。 選択するとビデオウィンドウ上に選択した日付の録画データを1時間ごとの映像をサムネイル表示します。 1時間毎に表示されたサムネイルをダブルクリックすると2分30秒ごとにサムネイル表示を行います。 表示されたサムネイルをダブルクリックすると再生を行います。
	PC/DVR切換えボタン	選択すると検索先をパソコンまたはDVRへ切り替えます。
	GO BACKボタン	選択すると時刻選択ウィンドウが表示されます。 入力後、OKボタンを押すと入力時刻のデータを再生します。
	タイムバー表示切替え	タイムバーの表示間隔を分表示に切替えます。
	チャンネル選択	タイムバー上に表示するチャンネルの選択を行います。

10-5. 録画データ検索・再生・バックアップ

・録画検索モードでは接続したDVRの録画データの検索、再生、バックアップを行う事が出来ます。

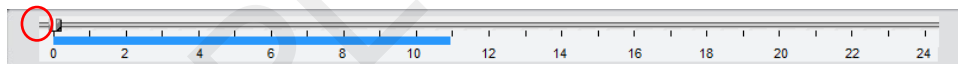
10-5-1. 録画データの検索と再生方法

- 映像検索を行う日付をカレンダーから選択します。






- 日付を選択するとタイムバー上に録画されている時間が青色で表示されます。






スライダーを動かし、再生を行う時刻に移動させます。(表示切替えで分表示に切替えが行えます。)



- 時刻設定後、再生ボタンを押すと、指定された時刻の映像が再生されます。再生時は再生コントロールボタンで操作を行います。

再生コントロールボタン

	巻戻しボタン	選択すると巻戻を行います。 巻戻し中に再度押すと、倍速が変更されます。 (x1/x2/x4/x8/x16/x32 x32は1画面表示中のみ)
	1分戻しボタン	選択すると現在の時刻から1分前に戻します。
	1フレーム戻しボタン	選択すると一時停止を行い、1フレーム戻します。

	再生ボタン	再生以外の操作時に押すと標準倍速再生を行います。 再生中は一時停止ボタンに切替わります。
	一時停止ボタン	
	1フレーム進みボタン	選択すると一時停止を行い、1フレーム進めます。
	1分進みボタン	選択すると現在の時刻から1分前に戻します。
	早送りボタン	選択すると早送りを行います。 早送り中に再度押すと、倍速が変更されます。 (x2/x4/x8/x16/x32 x32は1画面表示中のみ) ※パソコン上の録画データ再生時はx16まで

10-5-2. ポップアップメニュー

- ・ビデオウインドウ上でマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。

切断 : 選択するとDVRとの接続を終了します。

High Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を最高設定へ変更します。

Normal Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を標準設定へ変更します。

1フレームのみ伝送 ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの表示を1フレームのみの表示へ変更します。

マイクON : 選択するとパソコンに接続されたマイク音声をDVRに接続されたスピーカーへ出力します。再度選択すると出力を停止します。

フルスクリーン : ビデオウインドウをフルスクリーン表示します。
再度選択するか、キーボードのESCボタンを押すと終了します。

Aspect Ratio ▶ : 映像のアスペクト比を変更します。(FIT Screen、WIDE Screen)

プリント : 選択すると選択されたチャンネルの映像をプリントします。



メモ：入力すると画像に合わせてプリントされます。

リロード：画像を再読み込みします。

プリント：プリンターへ出力します。

注意：画質はポップアップメニューで設定した

画質が反映されます。

- セットアップ : 選択するとUMS Clientの設定メニューを表示します。
- 遠隔設定 : 選択するとWEB SETUP画面を開きます。(WEBポートの設定が必要です。)
- IP Camera Setup : IPカメラの設定の際に使用します。(通常は使用しません。)
- ロック : 選択すると管理者パスワード入力後、UMS Clientの操作をロックします。
再度選択すると管理者パスワード入力後、ロックが解除されます。
- 終了 : 選択するとUMS Clientを終了します。

10-5-3. デジタル PTZ

- ・全画面表示中ビデオウィンドウ上でマウスのスクロールを回すとデジタルズームを行います。



デジタルズームを行うと左下にズームを行っている範囲が表示されます。
デジタルズーム中にドラックしながらマウスを動かすと画面上表示箇所を動かす事が出来ます。

10-6. 録画データのバックアップ

- ・DVRに保存された映像をパソコン上にバックアップすることができます。

9. バックアップを行う日付をカレンダーで選択します。

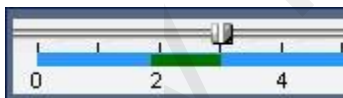
10. タイムバー上のスライダーを動かし、バックアップ開始時刻に合せMark inボタンを選択します。



11. 再度スライダーを動かし、バックアップ終了時刻に合せMark outボタンを選択します。



12. Mark outボタンを押すと選択した範囲が緑色に変わります。

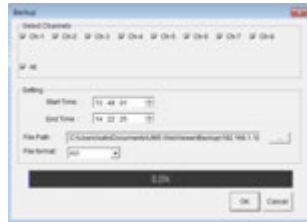


13. バックアップ範囲選択後Backupボタンを選択します。



14. Backupボタン選択後、Backupウィンドウが表示されます。

15. バックアップウィンドウ上で、バックアップを行うチャンネル及び詳細な時間、バックアップファイルの保存先を選択します。



- チャンネル選択：バックアップを行うチャンネルを選択します。
- 開始点 / 終了点：バックアップする開始/終了時間を変更することができます。
- 保存場所：バックアップファイルの保存先を選択できます。
- ファイル形式：バックアップするファイル形式を選択します。

AVI：Windows Media Player等のプレイヤーで再生が可能な形式です。

NSF：専用プレイヤー「HD PLAYER」で再生可能な形式です。

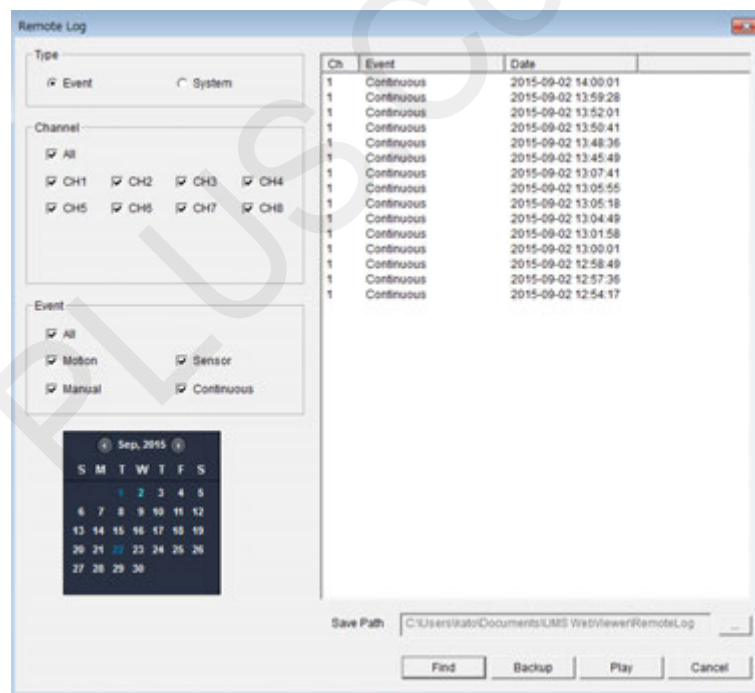
EXE：HD PLAYERと動画データを合わせた実行ファイル形式です。

16. 入力後、OKボタンを押すとバックアップを開始します。

17. 終了後、メッセージが表示されます。OKボタンを押して終了します。

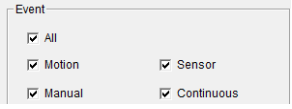
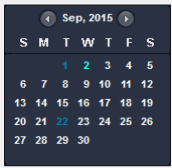

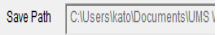

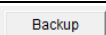


10-7. Remote log

- Remote Logボタンを押すと録画機の各イベントログの検索が行えます。



各名称及び機能説明

<p>Type</p> <p><input checked="" type="radio"/> Event <input type="radio"/> System</p>	Type	検索するログタイプを各種イベントまたはシステムイベントから選択します。
<p>Channel</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> All</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> CH1 <input checked="" type="checkbox"/> CH2 <input checked="" type="checkbox"/> CH3 <input checked="" type="checkbox"/> CH4</p>	Channel	検索するチャンネルを選択します。

	Event	TypeでEventを選択した場合のみ選択します。 検索するイベントタイプを選択します。
	カレンダー	検索する日付をカレンダーより選択します。
	リストウインドウ	検索結果をリストウインドウに表示します。
	Save Path	ログファイルの保存先を変更できます。
	Findボタン	選択すると設定条件で検索を行います。
	Backupボタン	リストウインドウに表示されたログを指定した保存先へバックアップします。
	Playボタン	リストウインドウでイベントを選択すると選択したイベントの録画データを再生します。
	Cancelボタン	Remote Logウインドウを終了します。

11. UMS Multi Clientの特徴

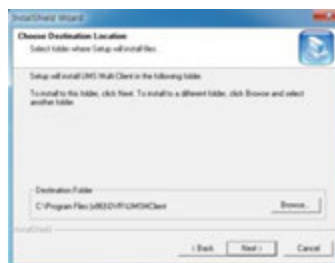
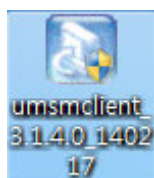
- ・最大16台までのDVRの表示
- ・最大256台までのカメラ映像の表示
- ・パソコン上への録画データバックアップ及び、スナップショットの保存
- ・PTZカメラ制御
- ・音声出力及び、ライブ音声、録音データの再生
- ・録画状態及び、アラーム状態の表示

11-1. UMS Multi Clientのインストールと起動

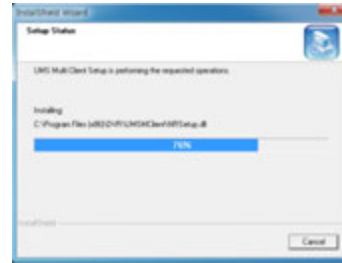
- ・USM Multi Clientは付属のCDからインストールします。

11-1-1. UMS Multi Clientのインストール

1. 付属CDより "umsmclient_x.x.x.x_x.exe" ファイルを選択し、起動します。
2. ソフトウェアのインストール先フォルダを指定し、 "Next"ボタンを選択します。



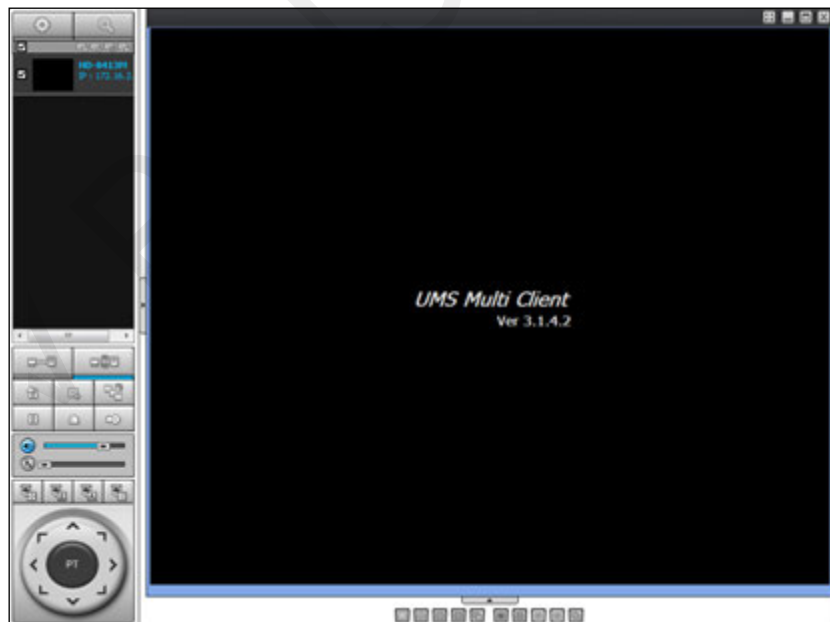
3. インストールするプログラム名を確認し、 "Next"を選択します。
"Next"を選択するとインストールが開始されます。



4. インストール完了後、デスクトップにショートカットアイコンが自動的に作成されます。

11-1-2. UMS Multi Clientの起動

- ・ デスクトップに作成されたアイコン  を選択し、起動します。

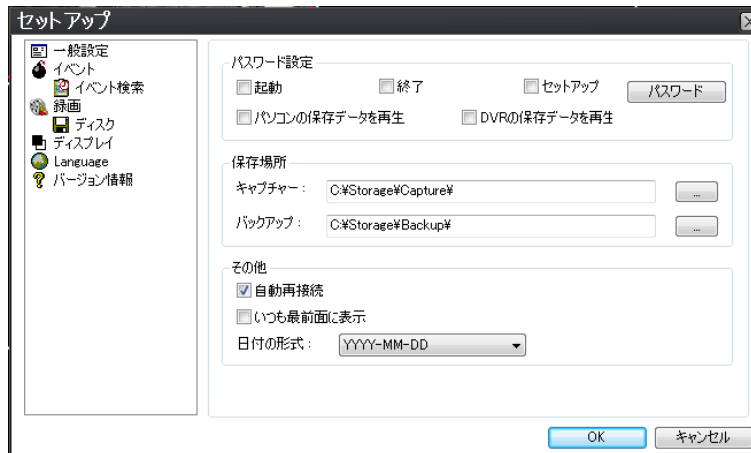


[UMS Multi Client 起動画面]

11-2. UMS Multi Clientの設定

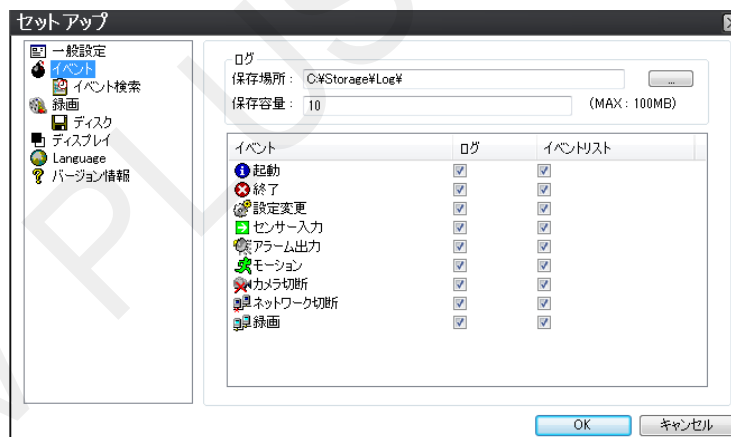
- ・  ボタンを選択するとUMS Multi Clientの設定メニューが表示されます。

1. 一般設定

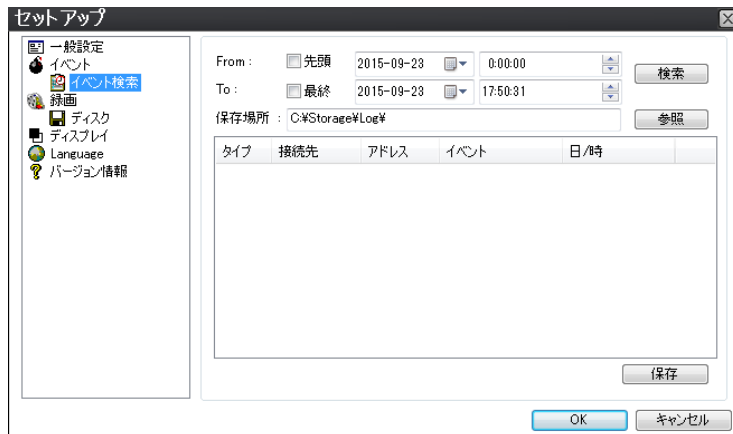


- ・ **パスワード設定**：選択するとUMS Clientの各機能を使用する際のパスワードを設定できます。
パスワードボタンを押すとパスワードが設定できます。
- ・ **保存場所**：UMS Clientで静止画及び録画データの保存先を選択できます。
- ・ **その他**：選択すると起動後、選択された動作を行います。
自動再接続：接続が切れた場合に、自動的に再接続を行います。
いつも最前面に表示：選択すると常に最前面に表示を行います。

2. イベント

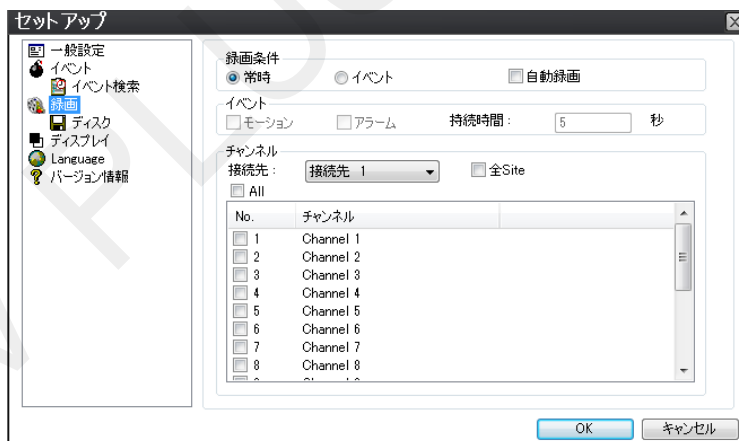


- ・ **ログ**：UMS Clientのログを保存する場合に設定します。
保存場所：ログデータの保存先を選択します。
保存容量：ログデータの保存容量を選択します。(初期値では設定されていません。)
 - ・ **イベント**：選択したイベント発生時の動作を選択できます。
ログ：選択すると選択したイベント発生時にログに保存します。
イベントリスト：選択するとイベント発生時にイベントリストに保存します。
- ### 3. イベント検索



- ・ イベント項目でイベントリストを選択している場合、イベント検索を行います。
- ・ From : 検索開始日時を入力します。
先頭を選択すると保存されている一番古い日時から検索します。
- ・ To : 検索終了日時を入力します。
最終を選択すると最新のイベント発生日時までを検索します。

4. 録画



- ・ 録画条件 : 設定条件で録画を行います。 (本体の録画設定が常時・モーション・センサー時のみ有効)
常時 : 録画Onボタンを押すと常時録画を行います。
イベント : 録画Onボタンを押すとイベント発生時に録画を行います。
自動録画 : 選択すると選択した録画条件で起動後、自動的に録画を行います。
- ・ イベント : 録画条件で「イベント時」を選択時、設定できます。
モーション : モーション検知時に録画を行います。
アラーム : アラーム入力時に録画を行います。

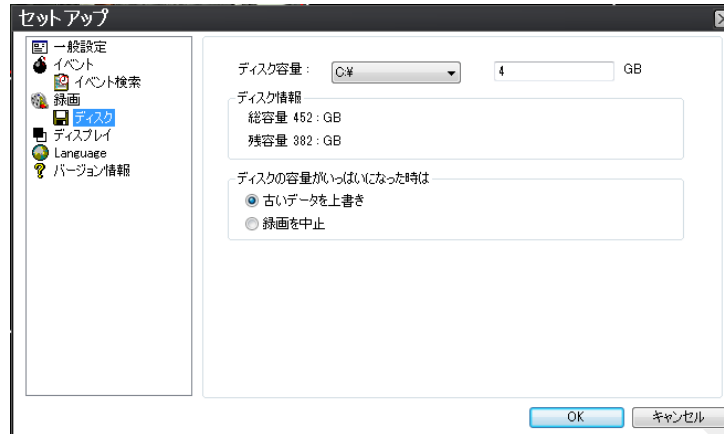
持続時間：イベント時の録画時間を設定します。

- ・チャンネル：UMS Multi Clientで録画するDVRとチャンネルを設定します。

接続先：録画を行う接続先を選択します。「全Site」を選択すると全てのDVRを指定します。

注意：録画条件はDVR本体で設定した録画モードに合わせてください。

5. ディスク

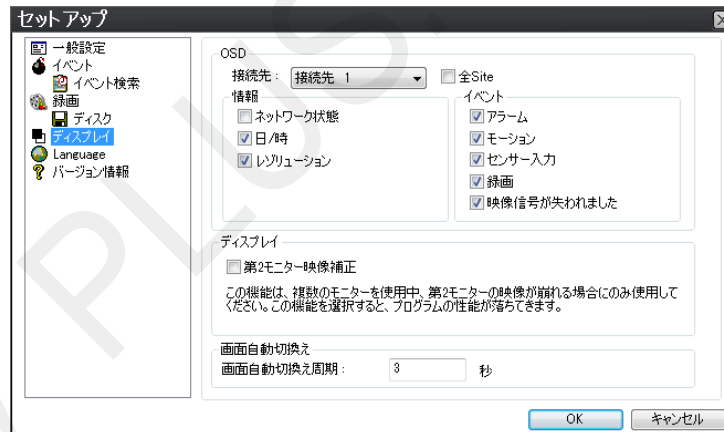


- ・ディスク容量：保存先のハードディスクと使用するハードディスク容量を設定します。
- ・ディスク情報：選択したハードディスクの総容量と残容量を表示します。
- ・ディスクの容量がいっぱいになった時は：設定した容量上限に達した際の動作を設定します。

古いデータを上書き：一番古いデータから上書きし録画を継続します。

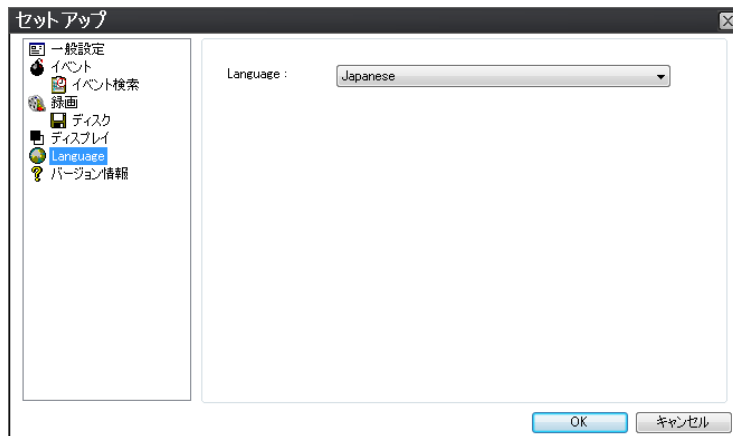
録画を中止：録画を停止します。

6. ディスプレイ



- ・OSD：ビデオウインドウ上に表示する情報を設定します。
 - 接続先：選択した接続先の設定を行います。
 - 全Site：選択すると全ての接続先を選択します。
- ・情報：選択した情報を表示します。※ネットワーク状態と日/時は同時に使用できません。
- ・イベント：選択したイベント発生時にビデオウインドウ上にアイコン表示を行います。
- ・ディスプレイ：マルチモニター時、映像表示が乱れる場合に選択します。
- ・画面自動切換え：シーケンス表示の切替え時間を設定します。

7. Language



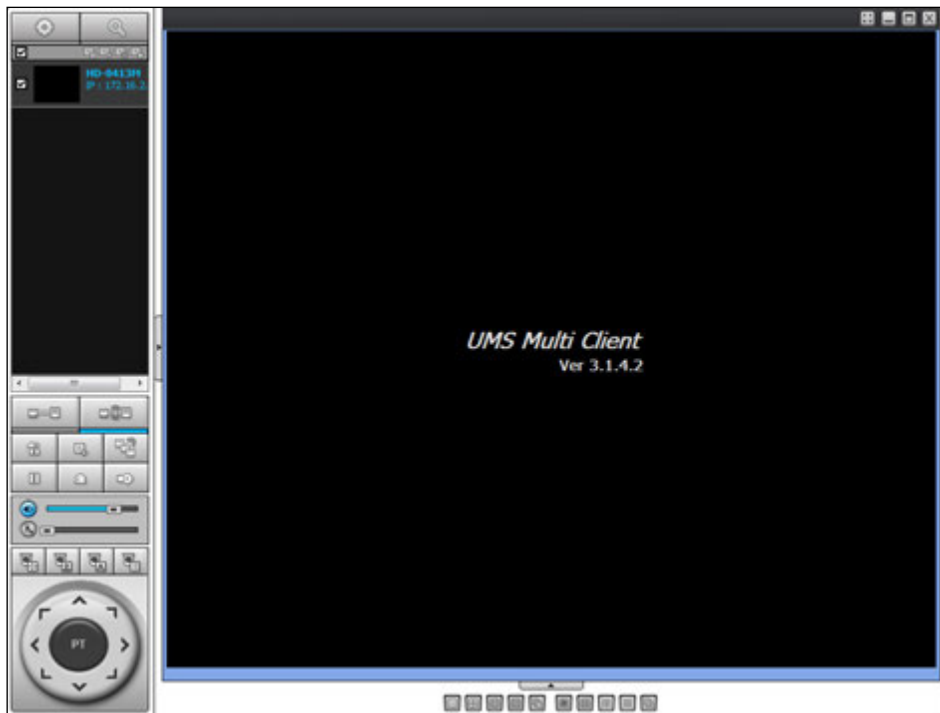
・ UMS Multi Clientの表示言語を選択します。

8. バージョン情報



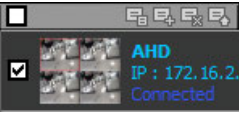









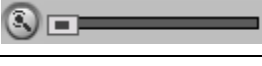
・ UMS Multi Clientのバージョン情報を表示します。

11-3. UMS Multi Clientの基本操作




11-3-1 操作ボタン

メニュー	説明	
	ローカル検索ボタン	検索モードを起動し、パソコン上に録画したデータを検索します。
	遠隔検索ボタン	検索モードを起動し、選択したDVRの録画データを検索します。
	DVR情報の管理 及び、リストウ インドウ	UMS Multi ClientにDVR情報の登録や修正、削除  ・リストに表示するサムネイルを更新します。  ・DVR情報登録ウインドウを表示します。  ・登録しているDVR情報を削除します。  ・登録しているDVR情報の修正を行います。 <input type="checkbox"/> ・リスト上のすべてのDVRを選択または選択解除します。
	接続ボタン	選択したDVRへ接続します。
	切断ボタン	選択した接続されているDVRとの接続を終了します。
	設定ボタン	設定メニューを表示します。

	<p>キャプチャーボタン</p>	<p>選択したDVRの静止画を保存します。</p>  <p>保存場所：保存先フォルダを選択できます。 ファイル名：保存するファイルの名前を入力できます。 ファイル形式：BITMAPまたはJPEGから選択します。 注意：分割表示中は分割画面のまま保存されます。</p>
	<p>イベントリストボタン</p>	<p>UMS Multi Client起動後からのイベントを表示します。</p>
	<p>一時停止ボタン</p>	<p>選択しているDVRの映像を一時停止します。 再度選択すると解除します。</p>
	<p>アラーム出力ボタン</p>	<p>選択すると選択されているDVRのアラーム出力に接続された機器へアラーム出力を行います。再度選択すると解除します。</p>
	<p>録画ボタン</p>	<p>選択するとパソコン上で録画を行います。 録画画質はポップアップメニューで設定した画質となります。 録画したデータは録画検索モードから再生することが可能です。 ※録画を行うには設定メニューで予め設定が必要です。</p>
	<p>スピーカー音量</p>	<p>出力するスピーカー音量を調節します。</p>
	<p>マイク音量</p>	<p>入力するマイク音量を調節します。</p>
	<p>PTZ操作ボタン</p>	<p>各アイコンを選択とPTZ制御ボタンが切替わり操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">  ・プリセット登録やプリセット動作を行います。  ・スキャンの開始または停止を行います。  ・登録されているツアーの開始または停止を行います。  ・カメラのOSDメニューを表示し設定を行います。
	<p>PTZ制御ボタン</p>	<p>PTZカメラが接続されている場合、カメラの操作を行います。 PT表示時はカメラの向きを矢印の方向に変更します。 PT操作時に真中のボタンを押すとレンズ調整を操作するZFモードに切替わります。 ZFモード時に真中のボタンを押すとPTモードに切替わります。</p>
	<p>カメラ表示ボタン</p>	<p>選択したDVR内の画面分割またはシーケンスを行います。</p>
	<p>DVR表示ボタン</p>	<p>ビデオウィンドウの画面分割またはシーケンスを行います。</p>

11-3-2. DVR 情報の登録方法

左側上端アイコン中  ボタンを押せばサイト登録窓が現われます。



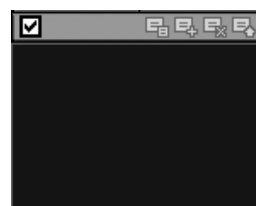
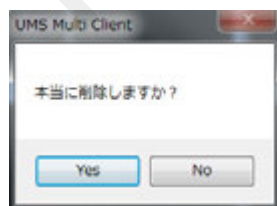
- ・モデル：DVR / NVRまたはN Series / HD DVRを選択します。
- ・接続先名：リスト表示の際の識別用に名称を入力します。
- ・接続先アドレス：
DVRに設定したIPアドレスまたはDDNSアドレスを入力します。
- ・ポート番号：DVRに設定したポート番号を入力します。
(初期値:5445)
- ・ID：使用するユーザー名を入力します。
- ・パスワード：ユーザー名に設定されているパスワードを入力します
- ・ENS(Enhanced Network Service)：チェックを入れることで高画質低ビットレート転送機能を使用します。
- ・P2P：DVRとP2P接続を行う際にチェックします。
チェック後、ポート番号が「5445」から「0」に変わります。
P2P接続を行うには「接続先アドレス」にレコーダーのMACアドレス(000269から始まる12桁の英数字)を半角大文字で入力します。(:は不要です。)
- ・HighQuality：チェックを入れることで接続時より高画質設定でレコーダーと接続を行います。
- ・情報入力後、OKボタンを押すとUMS Multi Clientのリスト上に表示されます。

11-3-3. DVR 情報の削除方法


リスト上で削除を行うDVRをリスト上で選択します。



選択後  削除ボタンを選択すると登録情報を削除します。



11-3-4. DVR 情報の修正とローカル検索

 ボタンを選択すると下図のネット検索ウィンドウが表示されます。



- ・接続先追加：接続先追加ウィンドウを表示します。
- ・接続先変更：選択した情報を修正します。
- ・接続先削除：選択した接続先を削除します。
- ・検索：ローカル上のDVRを検索し、リスト表示します。
- ・IP変更：使用しません。
- ・終了：ウィンドウを閉じます。

11-3-5. ポップアップメニュー

・ビデオウィンドウ上でマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。

切断 : 選択するとDVRとの接続を終了します。

High Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を最高設定へ変更します。

Normal Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を標準設定へ変更します。

1フレームのみ伝送 ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの表示を1フレームのみの表示へ変更します。

フルスクリーン : ビデオウィンドウをフルスクリーン表示します。

再度選択するか、キーボードのESCボタンを押すと終了します。

セットアップ : 選択するとUMS Clientの設定メニューを表示します。

遠隔設定 : 選択するとWEB SETUP画面を開きます。(WEBポートの設定が必要です。)

IP Camera Setup : IPカメラの設定の際に使用します。(通常は使用しません。)

サムネイル 非表示 : リストのサムネイルを非表示します。再度選択すると表示します。

Aspect Ratio ▶ : 映像のアスペクト比を変更します。(FIT Screen、WIDE Screen)

ロック : 選択すると管理者パスワード入力後、UMS Clientの操作をロックします。

再度選択すると管理者パスワード入力後、ロックが解除されます。

接続先情報 : 選択すると選択したDVRの情報を表示します。

接続先検索 : リスト内から接続先を検索します。

プリント : 選択すると選択されたチャンネルの映像をプリントします。



メモ : 入力すると画像に合わせてプリントされます。

リロード : 画像を再読み込みします。

プリント : プリンターへ出力します。

注意 : 画質はポップアップメニューで設定した画質と分割表示が反映されます。

終了 : 選択するとUMS Multi Clientを終了します。

11-3-6. デジタル PTZ



・全画面表示中ビデオウィンドウ上でマウスのスクロールを回すとデジタルズームを行います。

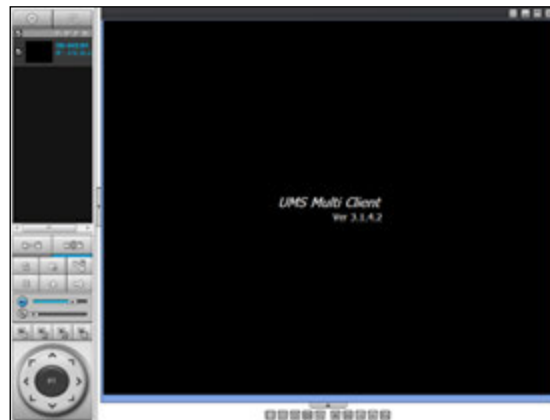


デジタルズームを行うと左下にズームを行っている範囲が表示されます。



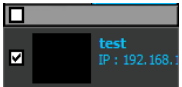



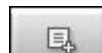





デジタルズーム中にドラックしながらマウスを動かすと画面上表示箇所を動かす事が出来ます。

11-4. 録画検索モード操作方法

 または  ボタンを選択すると録画検索モードを起動します。
録画検索モードは選択したDVR1台またはパソコン上に録画したデータを検索再生します。



11-4-1. 操作ボタン

メニュー	説明	
	ローカル検索ボタン	パソコン上に録画したデータを検索します。
	遠隔検索ボタン	選択したDVRの録画データを検索します。
	リストウインドウ	検索するDVRをリストから検索します。
	接続ボタン	選択したDVRへ接続します。
	切断ボタン	選択した接続されているDVRとの接続を終了します。
	設定ボタン	設定メニューを表示します。
	キャプチャーボタン	<p>選択したDVRの静止画を保存します。</p>  <p>保存場所：保存先フォルダを選択できます。 ファイル名：保存するファイルの名前を入力できます。 ファイル形式：BITMAPまたはJPEGから選択します。 注意：分割表示中は分割画面のまま保存されます。</p>
	イベントリストボタン	UMS Multi Client起動後からのイベントを表示します。
	開始点ボタン	選択すると現在の時刻をバックアップの開始時刻に選択します。
	終了点ボタン	選択すると現在の時刻をバックアップの終了時刻に選択します。
	バックアップボタン	<p>選択するとバックアップを行います。 バックアップボタン選択前にMark in/outボタンでバックアップの選択範囲を行って下さい。</p>

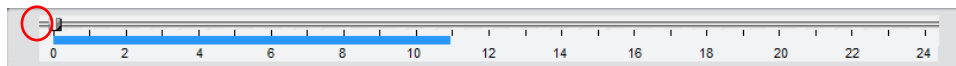
	スピーカー音量	出力するスピーカー音量を調節します。
	カメラ表示ボタン	選択したボタンに対応した画面分割表示に切替えます。
	DVR表示ボタン	表示するDVRの表示数を選択します。 ※パソコン上の録画データの再生のみ
	チャンネルボタン	選択したチャンネルを全画面表示します。
	カレンダー	カレンダー上から検索する日付を選択します。 録画データが保存されている場合、青色で表示されます。
	チャンネル選択	タイムバーに表示するチャンネルを選択できます。
	タイムバー	0時から24時までの時間、分を選択できます。 録画されている時間は青色で表示されます。
	タイムバー表示切替え	選択するとタイムバーの表示間隔を24時間表示または60分表示に切替えます。
	Remote Logボタン	選択すると接続しているDVRのログ検索画面を表示します。
	再生コントロールボタン	再生及び巻き戻し、早送り等を行います。
	GO BACKボタン	選択すると時刻選択ウィンドウが表示されます。 入力後、OKボタンを押すと入力時刻のデータを再生します。
	Quick Search ボタン	サムネイル上から検索を行います。 選択するとビデオウィンドウ上に選択した日付の録画データを1時間ごとの映像をサムネイル表示します。 1時間毎に表示されたサムネイルをダブルクリックすると2分30秒ごとにサムネイル表示を行います。 表示されたサムネイルをダブルクリックすると再生を行います。

11-4-2. 録画データの検索・再生方法・バックアップ

7. 映像検索を行う日付をカレンダーから選択します。
8. 日付を選択するとタイムバー上に録画されている時間が青色で表示されます。











スライダーを動かし、再生を行う時刻に移動させます。(表示切替で分表示に切替えが行えます。)



9. 時刻設定後、再生ボタンを押すと、指定された時刻の映像が再生されます。再生時は再生コントロールボタンで操作を行います。

再生コントロールボタン

	巻戻しボタン	選択すると巻戻を行います。 巻戻し中に再度押すと、倍速が変更されます。 (x1/x2/x4/x8/x16/x32 x32は1画面表示中のみ)
	1分戻しボタン	選択すると現在の時刻から1分前に戻します。
	1フレーム戻しボタン	選択すると一時停止を行い、1フレーム戻します。
 	再生ボタン 一時停止ボタン	再生以外の操作時に押すと標準倍速再生を行います。 再生中は一時停止ボタンに切替わります。
	1フレーム進みボタン	選択すると一時停止を行い、1フレーム進めます。
	1分進みボタン	選択すると現在の時刻から1分前に戻します。
	早送りボタン	選択すると早送りをを行います。 早送り中に再度押すと、倍速が変更されます。 (x2/x4/x8/x16/x32 x32は1画面表示中のみ) ※パソコン上の録画データ再生時はx16まで

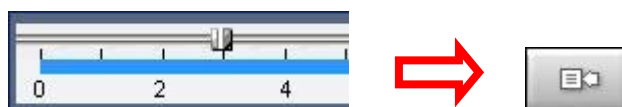
11-4-3. 録画データの検索と再生方法

・DVRに保存された映像をパソコン上にバックアップすることができます。

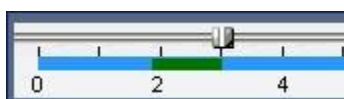
1. バックアップを行う日付をカレンダーで選択します。
2. タイムバー上のスライダーを動かし、バックアップ開始時刻に合せMark inボタンを選択します。



3. 再度スライダーを動かし、バックアップ終了時刻に合せMark outボタンを選択します。



4. Mark outボタンを押すと選択した範囲が緑色に変わります。



5. バックアップ範囲選択後Backupボタンを選択します。



6. Backupボタン選択後、Backupウィンドウが表示されます。

7. バックアップウィンドウ上で、バックアップを行うチャンネル及び詳細な時間、バックアップファイルの保存先を選択します。



- チャンネル選択：バックアップを行うチャンネルを選択します。
- 開始点 / 終了点：バックアップする開始/終了時間を変更することができます。
- 保存場所：バックアップファイルの保存先を選択できます。
- ファイル形式：バックアップするファイル形式を選択します。

AVI：Windows Media Player等のプレイヤーで再生が可能な形式です。

NSF：専用プレイヤー「HD PLAYER」で再生可能な形式です。

8. 情報入力後、OKボタンを押すとバックアップを開始します。
9. 終了後メッセージが表示されます。OKボタンを押すと終了します。

11-4-4. ポップアップメニュー

- ・ビデオウインドウ上でマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューを表示します。

切断 : 選択するとDVRとの接続を終了します。

High Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を最高設定へ変更します。

Normal Quality ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの解像度と画質を標準設定へ変更します。

1フレームのみ伝送 ▶ : 「全てのチャンネル」を選択すると全チャンネルを「選択したチャンネルのみ」を選択すると選択したチャンネルの表示を1フレームのみの表示へ変更します。

フルスクリーン : ビデオウインドウをフルスクリーン表示します。
再度選択するか、キーボードのESCボタンを押すと終了します。

セットアップ : 選択するとUMS Clientの設定メニューを表示します。

遠隔設定 : 選択するとWEB SETUP画面を開きます。(WEBポートの設定が必要です。)

IP Camera Setup : IPカメラの設定の際に使用します。(通常は使用しません。)

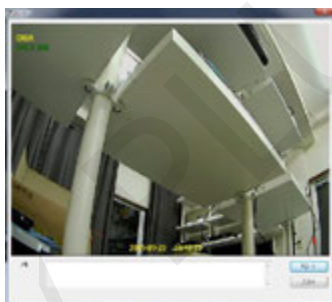
サムネイル 非表示 : リストのサムネイルを非表示します。再度選択すると表示します。

Aspect Ratio ▶ : 映像のアスペクト比を変更します。(FIT Screen、WIDE Screen)

ロック : 選択すると管理者パスワード入力後、UMS Clientの操作をロックします。
再度選択すると管理者パスワード入力後、ロックが解除されます。

接続先検索 : リスト内から接続先を検索します。

プリント : 選択すると選択されたチャンネルの映像をプリントします。



メモ : 入力すると画像に合わせてプリントされます。

リロード : 画像を再読み込みします。

プリント : プリンターへ出力します。

注意 : 画質はポップアップメニューで設定した画質が反映されます。

終了 : 選択するとUMS Multi Clientを終了します。

11-4-5. デジタルPTZ

- ・全画面表示中ビデオウインドウ上でマウスのスクロールを回すとデジタルズームを行います。

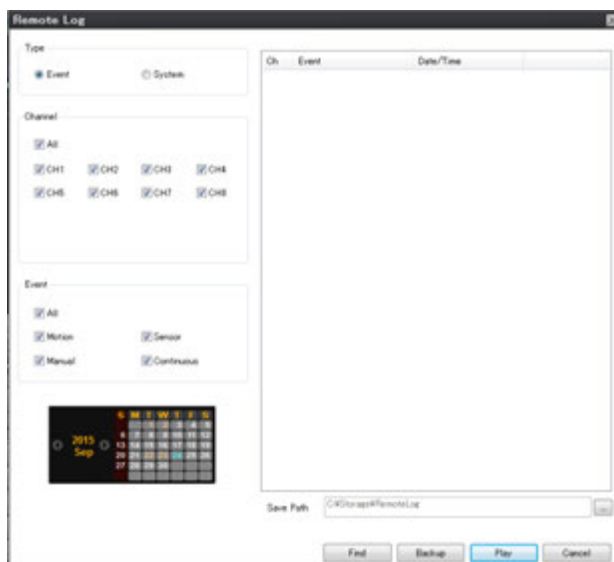


デジタルズームを行うと左下にズームを行っている範囲が表示されます。

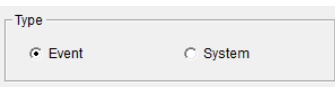
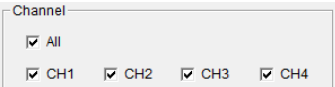


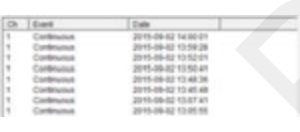
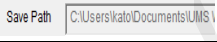
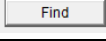
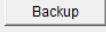
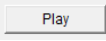
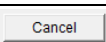
デジタルズーム中にドラックしながらマウスを動かすと画面上表示箇所を動かす事が出来ます。

11-5. Remote Log

Remote Log ボタンを押すと録画機の各イベントログの検索が行えます



各名称及び機能説明

	Type	検索するログタイプを各種イベントまたはシステムイベントから選択します。
	Channel	検索するチャンネルを選択します。
	Event	TypeでEventを選択した場合のみ選択します。検索するイベントタイプを選択します。
	カレンダー	検索する日付をカレンダーより選択します。
	リストウィンドウ	検索結果をリストウィンドウに表示します。
	Save Path	ログファイルの保存先を変更できます。
	Findボタン	選択すると設定条件で検索を行います。
	Backupボタン	リストウィンドウに表示されたログを指定した保存先へバックアップします。
	Playボタン	リストウィンドウでイベントを選択すると選択したイベントの録画データを再生します。
	Cancelボタン	Remote Logウィンドウを終了します。

12. Android端末からの接続

1. Google Play ストアを開きます。




2. Google Play Store で "iUMS"を検索し、インストールを行います。



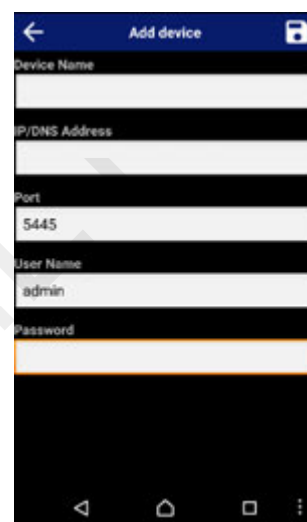
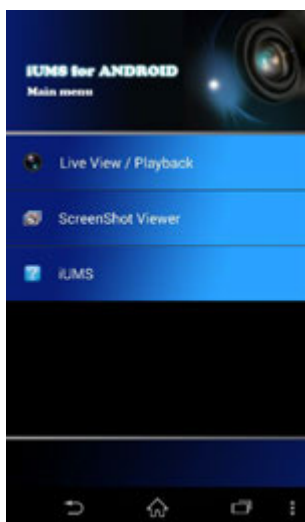
12-1. iUMSへの登録、ライブ接続方法

1. インストール後、iUMSを開きます。

2. Live View / Playbackをタップします。

3. タップ後、右上の  をタップし、表示されたメニューより「IP/DNS」を選択します。


QRコードで登録を行う場合には「P2P」を選択しQRコード読取画面を表示します。



4. 情報登録欄に登録するDVRの情報を入力します。

QRコードの場合、パスワード以外の項目は自動で入力されます。



- Device Name : リストに登録する名称を入力します。
- IP/DNS Address :
DVRのIPアドレスまたはDDNSアドレスを入力します。
- Port : DVRのポート番号を入力します。(初期値:5445)
- User Name : 登録するユーザー名を入力します。
- Password : 登録するユーザー名のパスワードを入力します。
-  ボタン : 各項目入力後、タップすると登録情報をリストに登録します。
- Back : 前の画面に戻ります。

5. 情報を入力すると登録した登録情報がリスト登録されます。

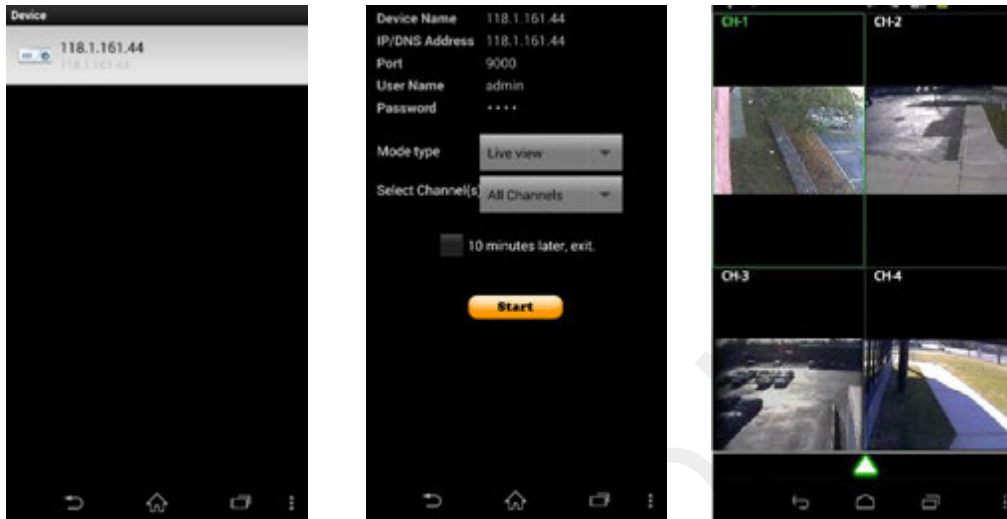
リストより接続するDVR情報をタップすると接続方法の選択画面が表示されます。

「Start」ボタンを押すとライブ映像を4分割表示します。


選択したチャンネルをダブルタップすると選択したチャンネルを全画面表示に切替えます。

8chや16chモデルを使用している場合は画面をスワイプさせることで表示チャンネルが切替わります。(4chずつの表示となります。)

※ 「10 minutes later, exit」にチェックを入れると接続後、10分で自動的に切断します。



6. ライブ画面表示時に、画面下部の▲ボタンをタップするとPTZ操作パネルを表示します。

また、PTZ操作パネル真中にある  アイコンをタップすると静止画保存を行います。

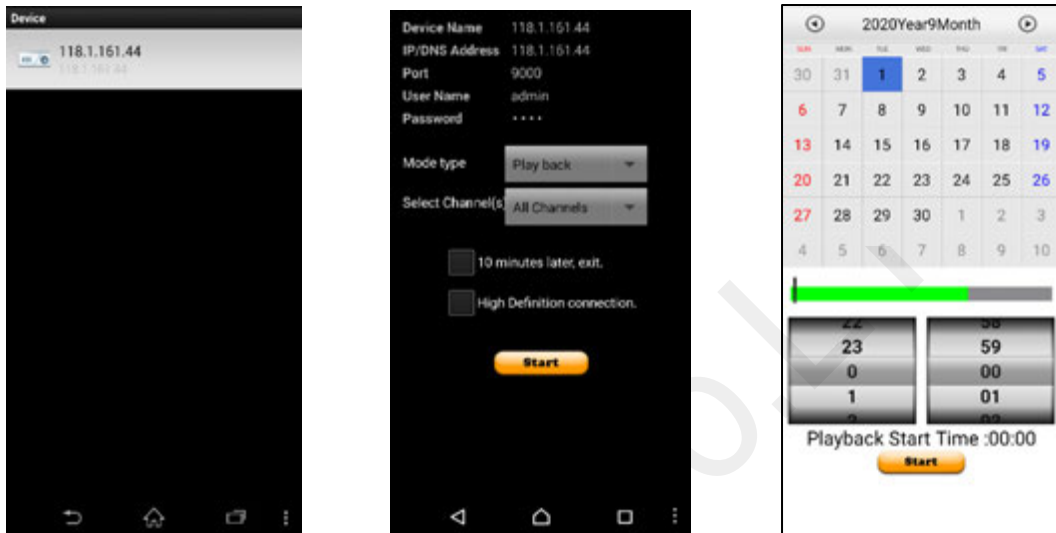


アイコン：選択するとAndroid端末からDVRに接続されたスピーカーへ音声を出力します。

※音声出力を行う場合にはネットワーク設定の音声ポート番号をルーター側で設定してください。

12-2. 録画検索及び再生方法

1. リストから録画再生を行うDVR情報を選択します。
2. 「Live View」をタップし、「Playback」へ変更し、「Start」ボタンをタップします。
「Start」ボタンをタップすると検索する日付の選択画面が表示され、
日付選択後、時間の選択画面が表示されます。Startボタンを押すと再生を開始します。
※「10 minutes later, exit」にチェックを入れると接続後、10分で自動的に切断します。
※High Definition connectionにチェックを入れると最大解像度で表示を行います。



映像表示後は4分割画面で表示します。

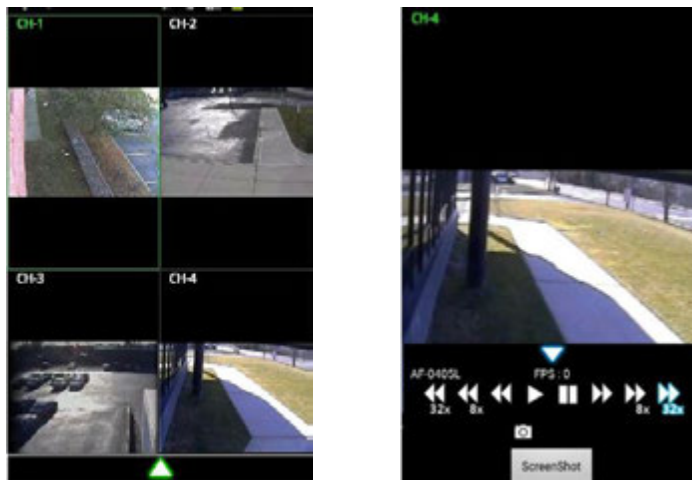
ダブルタップすると選択したチャンネルを全画面表示に切替えます。

8chや16chモデルを使用している場合は画面をスワイプさせることで表示チャンネルが切替わります。(4chずつの表示となります。)

再生中に画面下部の▲をタップすると再生コントロールパネルが表示されます。

また、Snapshotアイコンをタップすると静止画保存を行います。

Time Shiftingアイコンをタップすると日時の設定画面に切替わります。



13. iOS端末からの接続

1. iPhoneまたはiPadから App Storeを選択します。
2. App Storeで IUMSを検索し、インストールを行って下さい。

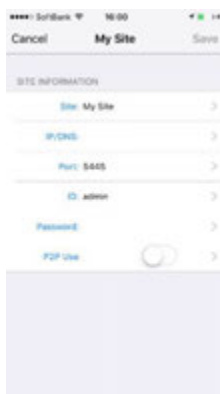


13-1. iUMSへの登録、ライブ接続方法

1. インストール後、iUMSを開きます。
2. 画面右上の+ボタンをタップし、情報入力欄を表示し、登録するDVR情報を入力します。
3. QRコードで登録を行う場合は「P2P Use」をONにすると「IP/DNS」欄の右側に



アイコンが表示されます。アイコンをタップすることでQRコード読取画面に移行します。QRコードを読取るとパスワード以外の項目が自動的に入力されます。



- Site : リストに登録する名称を入力します。
- IP/DNS : DVRのIPアドレスまたはDDNSアドレスを入力します。
- Port : DVRのポート番号を入力します。(初期値:5445)
- ID : 登録するユーザー名を入力します。
- Password : 登録するユーザー名のパスワードを入力します。
- P2P Use : QRコードで登録を行う場合はONへ変更します。
- Save : 各項目入力後ADDボタンを押すとリストに登録します。
- Cancel : 前の画面に戻ります。

4. 登録後、Device Listに登録したDVR情報をタップすると接続方法の選択画面が表示されます。「Live」を選択し、「Connect」ボタンを押すとライブ接続を行います。

表示後は使用しているモデルのチャンネル数の分割表示で表示します。

ダブルタップすると選択したチャンネルを全画面表示に切替えます。

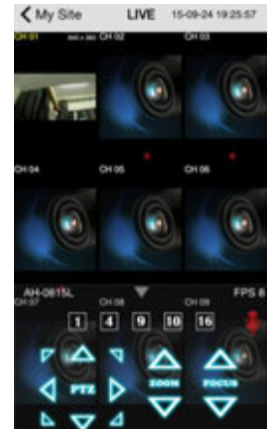
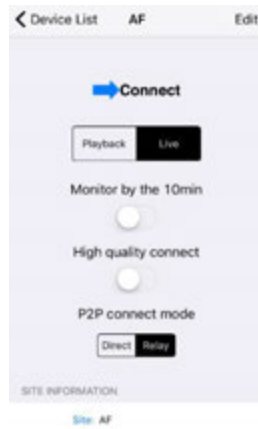
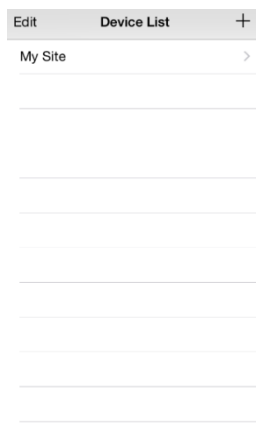
ライブ画面表示時に、画面下部の▲ボタンをタップすると操作パネルを表示します。

操作パネルの数字ボタンをタップするとタップした数字の分割表示に切替えます。

※1. 「10 minutes later, exit」をONにすると接続後、10分で自動的に切断します。

※2. High quality connectをONにすると最大解像度で表示を行います。

※3. P2P connect modeはQRコードで登録した場合のみ使用します「Direct」を選択します。



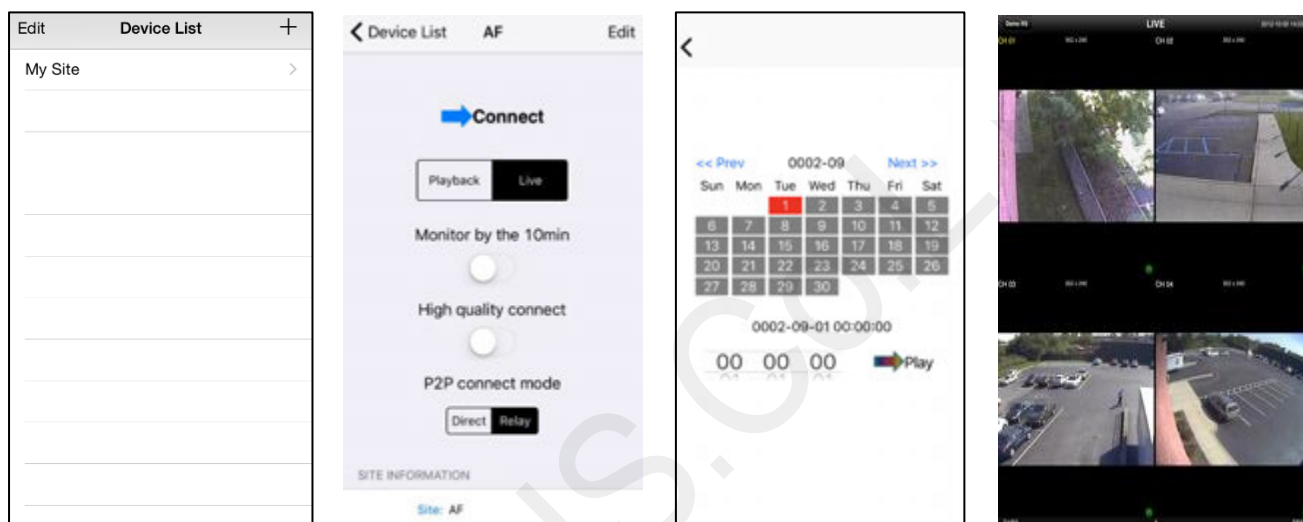


アイコン：選択するとAndroid端末からDVRに接続されたスピーカーへ音声を出力します。

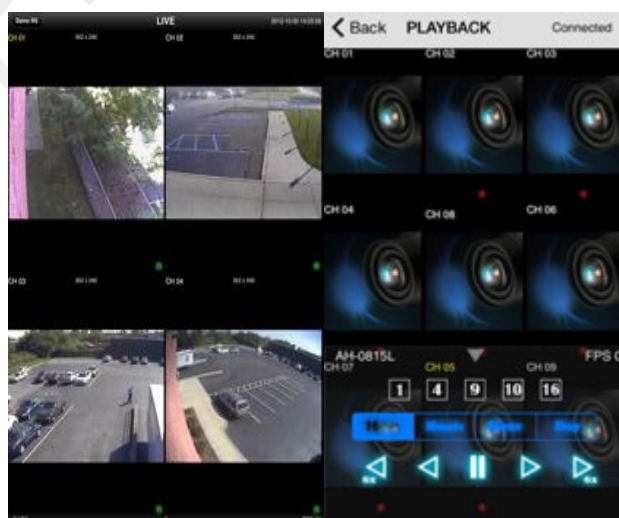
※音声出力を行う場合にはネットワーク設定の音声ポート番号をルーター側で設定してください。

13-2. 録画検索及び再生方法

1. リストから録画再生を行うDVR情報を選択します。
2. 「Playback」をタップし、「Connect」ボタンをタップします。
「Connect」ボタンをタップすると検索する日付の選択画面が表示され、日時の選択画面が表示されます。日時選択後、「Play」ボタンを押すと再生を開始します。
※「10 minutes later, exit」にチェックを入れると接続後、10分で自動的に切断します



1. 映像表示後は4分割画面で表示します。
2. ダブルタップすると選択したチャンネルを全画面表示に切替えます。
3. 再生中に画面下部の▲をタップすると再生コントロールパネルが表示されます。



✓ PLUS.CO.LI

✓ PLUS.CO.LI

付録 / 保証書

型番	VAP-0415R / VAP-0815R / VAP-1615L
ユーザーID	admin
パスワード	(初期値：1111)
IPアドレス	
DDNS	.okddns.com
ポート番号	(初期値：5445)

保証書

品番	製造番号	
お客様	お名前 様	
	ご住所 〒	
	電話番号	
お買い上げ日 (和暦) 年 月 日	販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買い上げ日から) 3年間		



本書はお買い上げの日から先、期間中故障が発生した場合、下記の保証規定内容で無料修理をお約束するものです。ご記入いただきました、個人情報の利用目的は弊社HPに記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

株式会社 V PLUS

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-32-1 やまかわビル3階
電話番号 03-5577-4292

保証規定

機器の仕様範囲内による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に無償交換または、無料修理を致します。保証期間中に故障が発生した場合には、商品に本書をそえて販売店へ修理をご依頼下さい。

●印欄にご記入のない場合は保証期間内でも有効とはなりませんので、必ず記入漏れがないかご確認ください。

本書は再発行致しませんので、大切に保管してください。修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間内でも次の場合には有料修理となります。

- ・機器の仕様範囲を超えた使用条件や環境による故障及び損傷
- ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- ・お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
- ・火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷

・本書にお買い上げ年月日、お客様ご氏名、ご住所、お電話番号、販売店名の記入のない場合、或いは字句が書換えられた場合
・各部の点検又は定期保守に要する費用

■修理後の保証について

修理完了品のご返却後、製品の元々の保証期間または、ご返却後6か月間のどちらか長い期間を修理ご返却後の保証期間とし期間中に故障が発生した場合には無償にて再修理致します。

■ネットワークに関して※1

本製品以外の他社製品、ネットワーク環境によるネットワークトラブルに関しましては、メーカー、販売会社、販売店はいかなる責任も負いかねます。修理、設定は有料になる場合があります。

※1ネットワークカメラ及びデジタルレコーダーに関連する商品に限ります。

■逸失利益等の補償

・商品の使用、または故障等により使用出来なかった事により発生した逸失利益等について、メーカー、販売会社、販売店は一切の補償は致しません。

・動作停止期間、逸失利益、記録した映像・音声の消失や破損などの間接的損害について弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■本書は日本国内においてのみ有効です。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものです。

したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の処理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

サポートダイヤル：03-5577-4292

受付時間：平日9時～18時

✓ PLUS.CO.LI